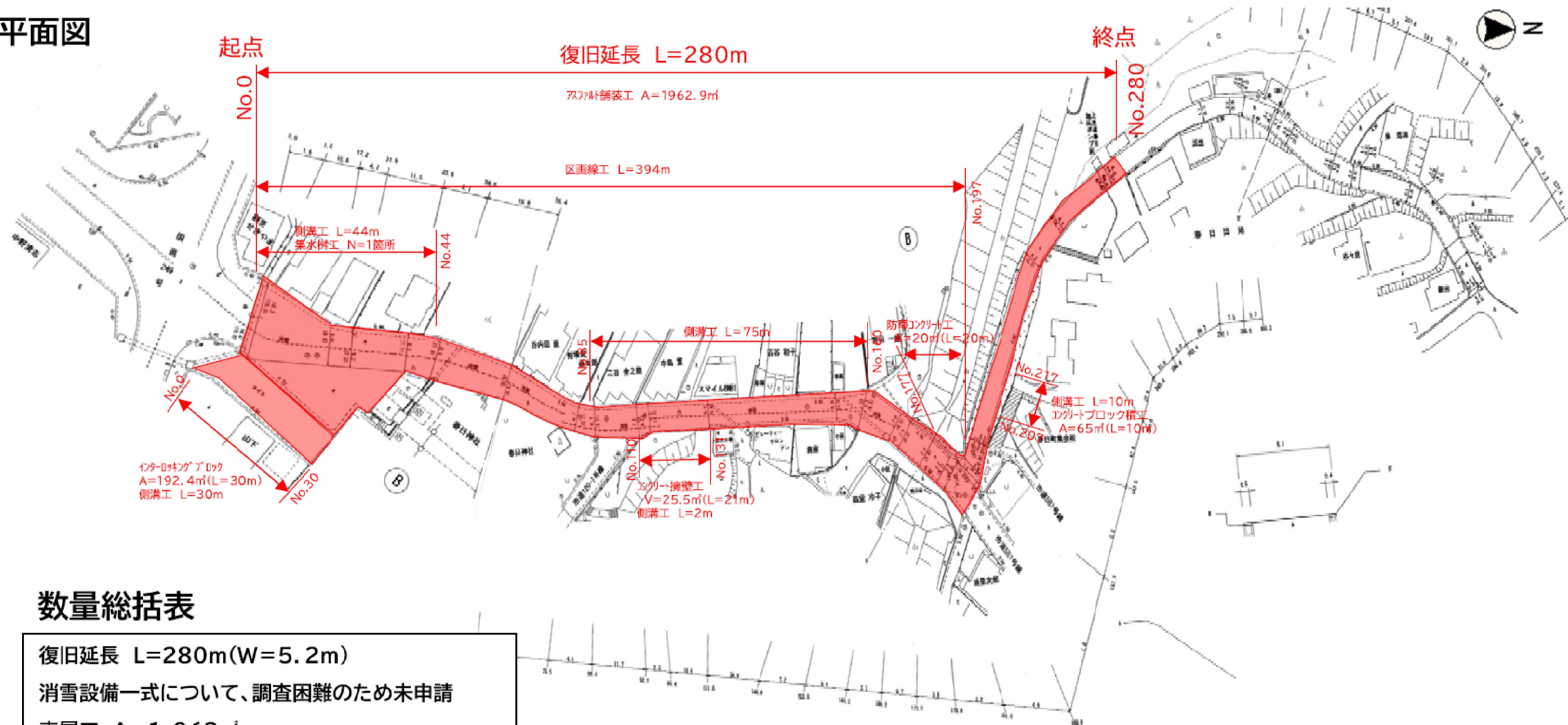


平面図

6災3961号

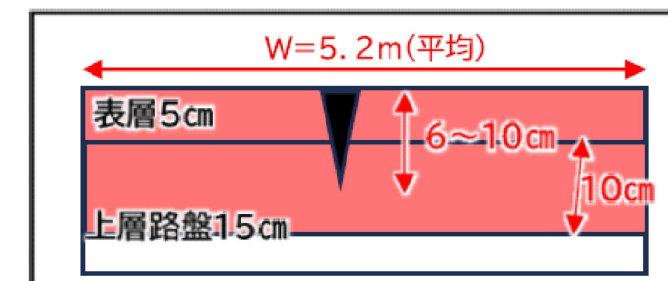
平面図



数量総括表

復旧延長 L=280m(W=5.2m)
 消雪設備一式について、調査困難のため未申請
 表層工 A=1,963㎡
 上層路盤工 A=1,960㎡
 インターlockingブロック工 A=192㎡
 防草コンクリート工 A=20㎡
 側溝工 L=161m
 集水柵工 N=1箇所
 コンクリート擁壁工 V=26㎡
 コンクリートブロック積工 A=65㎡
 区画線工 L=394m

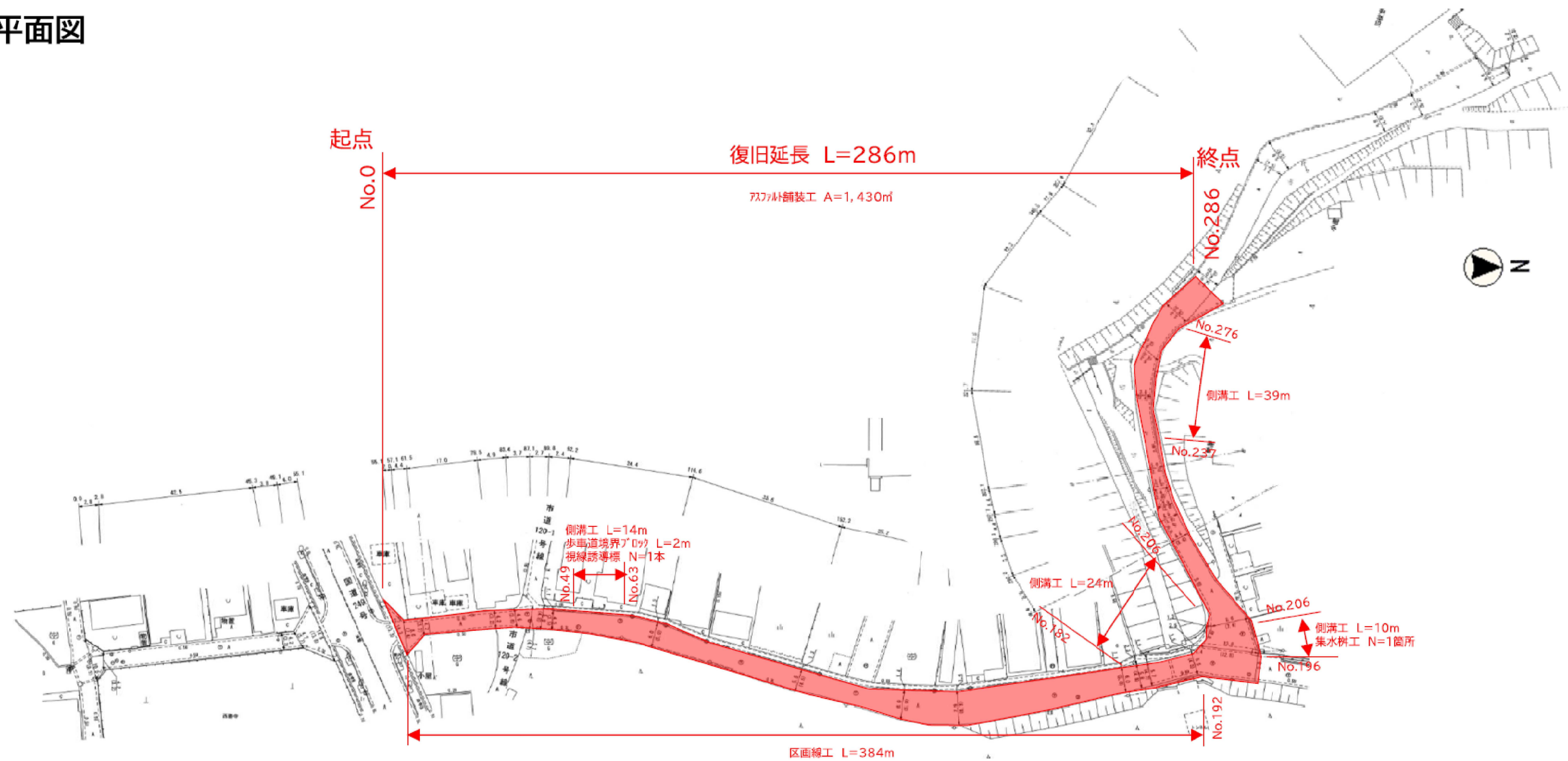
標準断面図



工事名	
路線名	6災3961号
箇所	珠洲市上戸町地内
図名	平面図
縮尺	—
図面番号	
珠洲市	

平面図
6災3962号

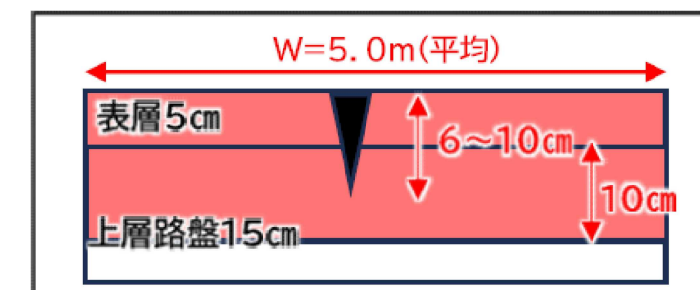
平面図



数量総括表

復旧延長 L=286m(W=5.0m)	
表層工 A=1,430㎡	側溝工 L=87m
上層路盤工 A=1,425㎡	集水樹工 N=1箇所
歩車道境界工 L=2m	区画線工 L=384m
視線誘導標 N=1本	

標準断面図

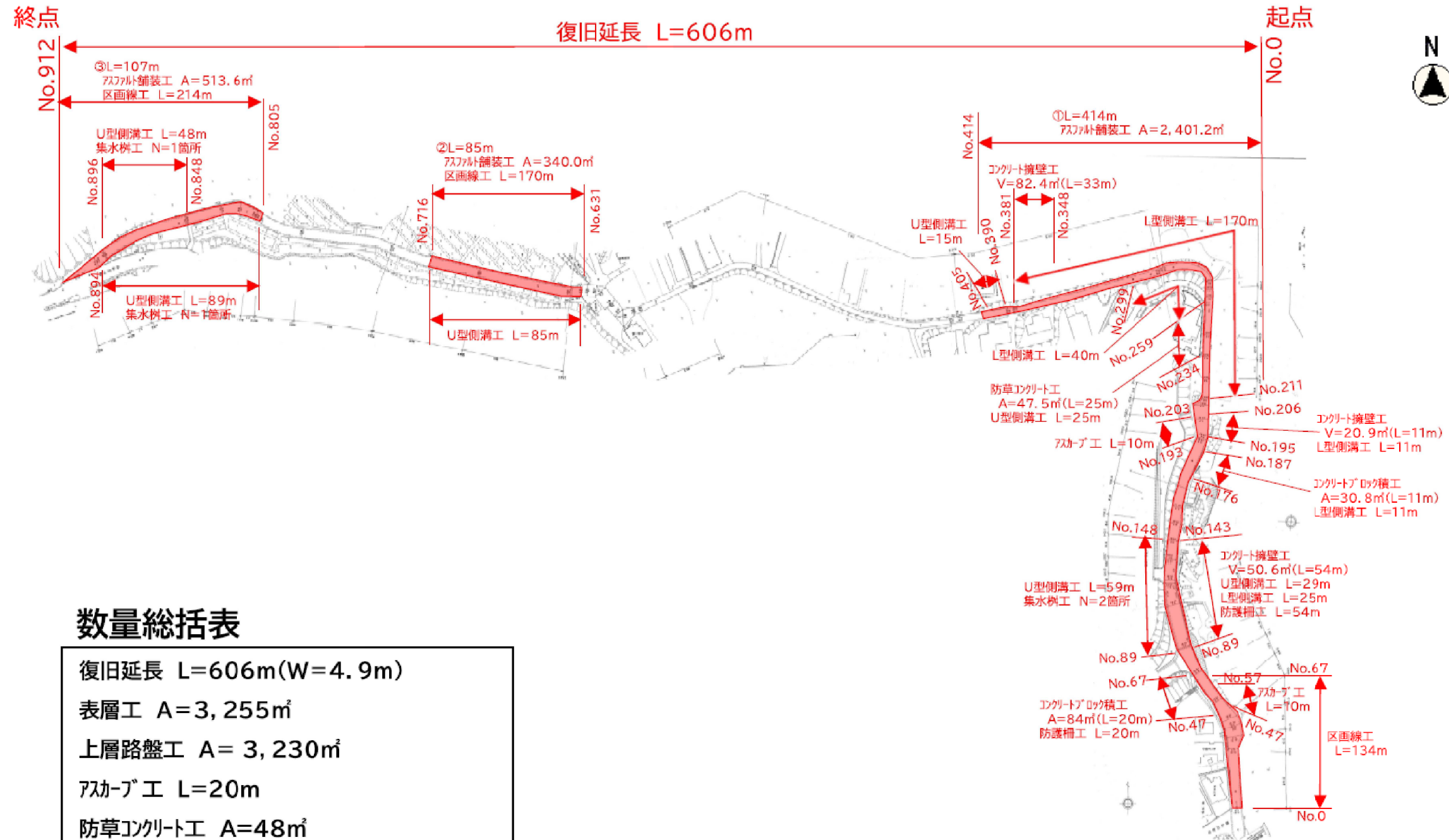


工事名	
路線名	6災3962号
箇所	珠洲市飯田町地内
図名	平面図
縮尺	—
図面番号	
珠洲市	

平面図

6災3963号

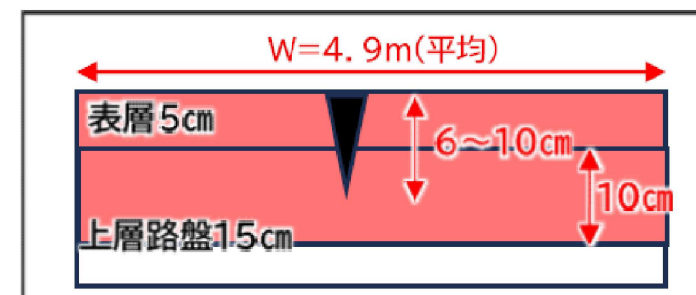
平面図



数量総括表

復旧延長 L=606m(W=4.9m)
 表層工 A=3,255m²
 上層路盤工 A=3,230m²
 アスファ工 L=20m
 防草コンクリート工 A=48m²
 側溝工 L=607m
 集水桝工 N=4箇所
 コンクリート擁壁工 V=154m³
 コンクリートブロック積工 A=115m²
 防護柵工 L=74m
 区画線工 L=518m

標準断面図

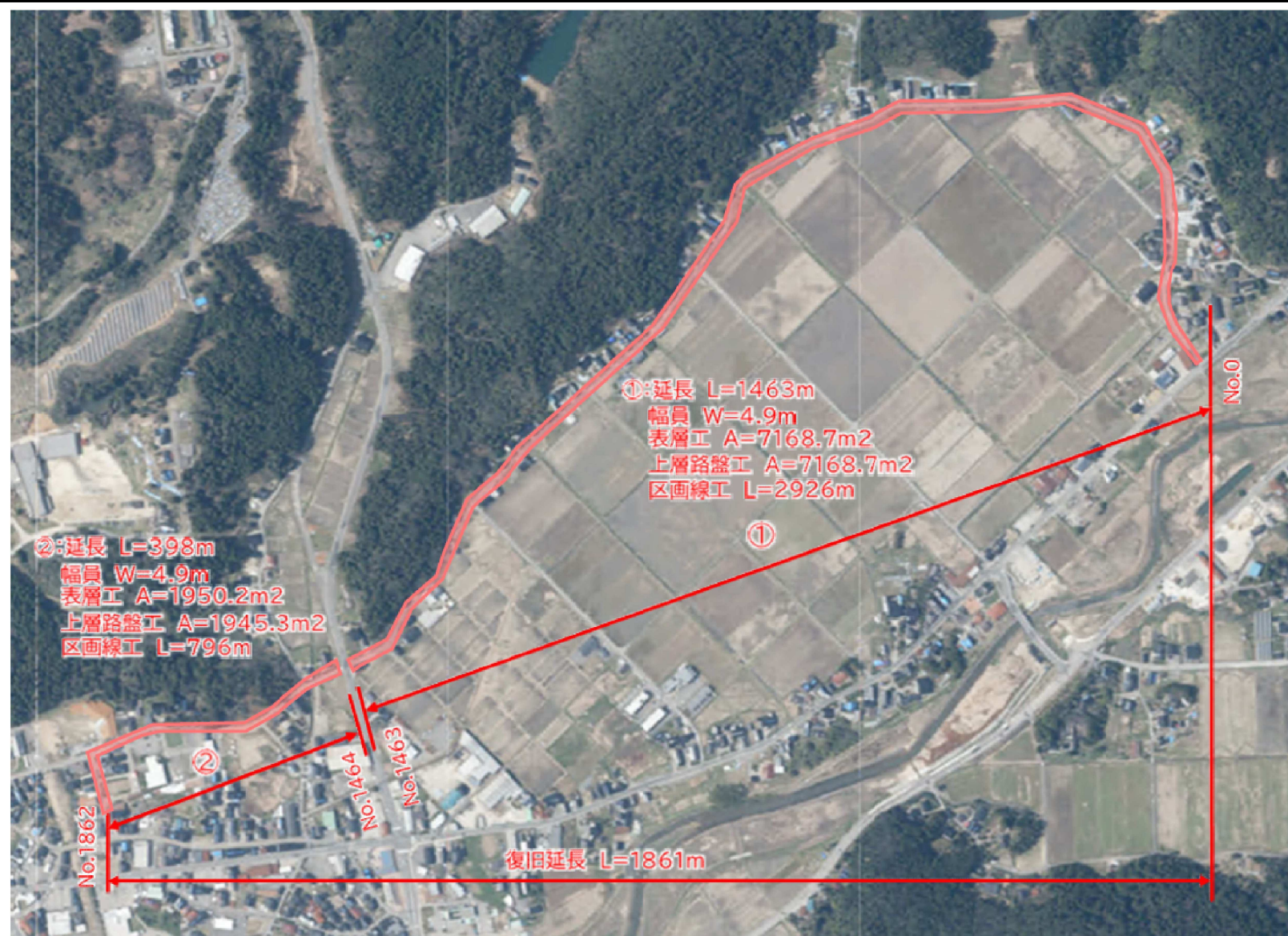


工事名	
路線名	6災3963号
箇所	珠洲市飯田町地内
図名	平面図
縮尺	—
図面番号	
珠洲市	

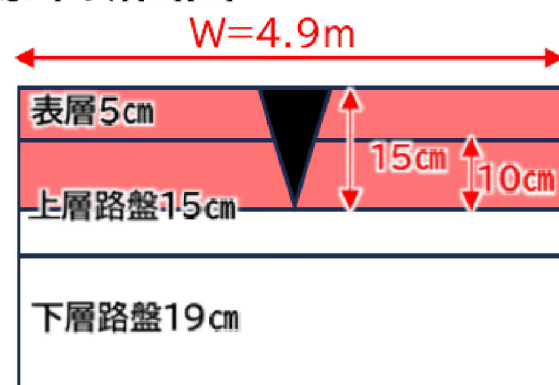
平面図

6災3996号

平面図



標準断面図



復旧延長 L=1861m(W=4.9m)
法面工・消雪施設・擁壁工・側溝工・集水桝工・歩車道境界ブロック・道路附属物設置工一式について調査困難なため未申請。

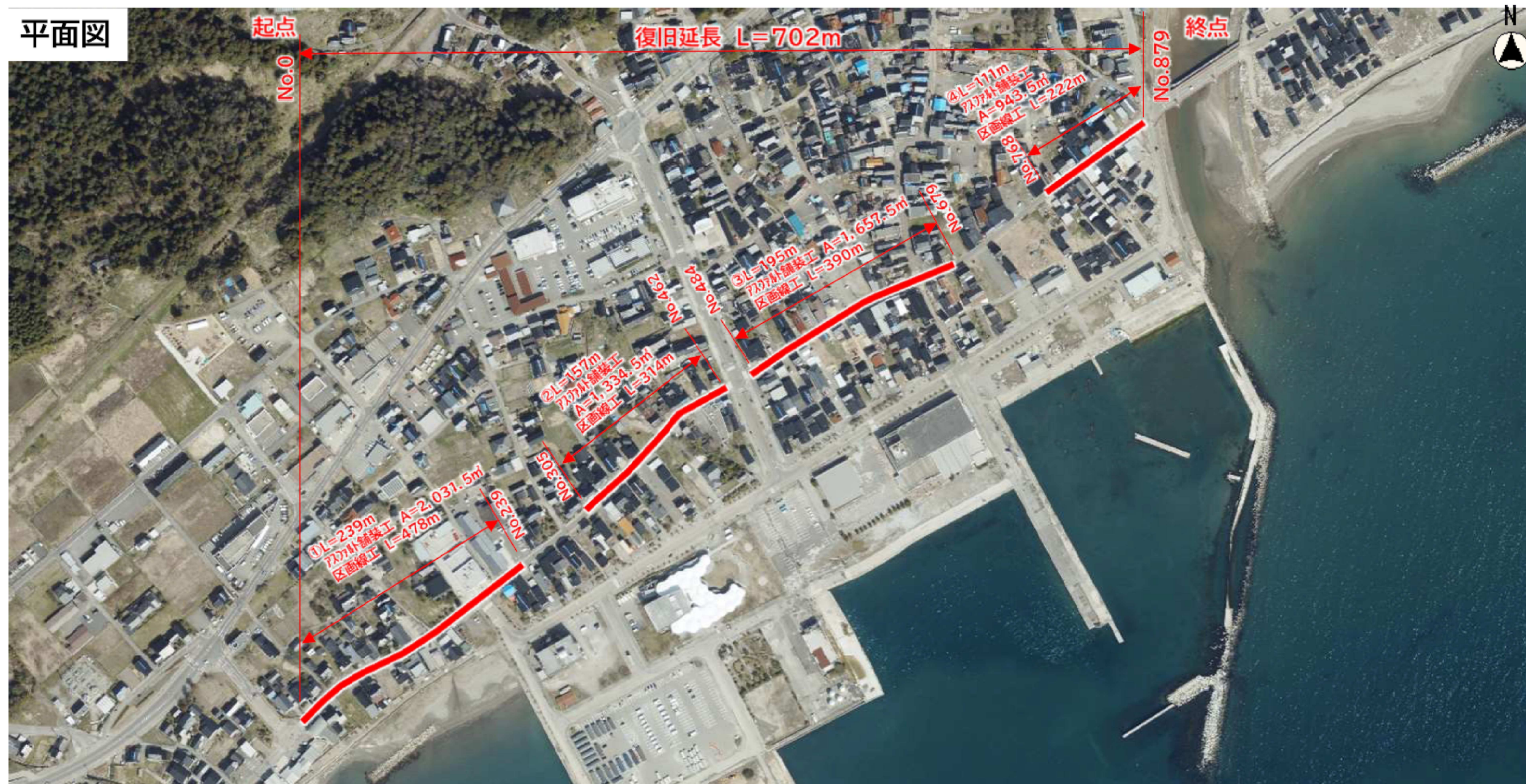
表層工 A=9,119m²
上層路盤工 A=9,114m²
区画線工 L=3,722m

工事名	
路線名	6災3996号
箇所	珠洲市飯田町～若山町出田地内
図名	平面図
縮尺	—
図面番号	
珠洲市	

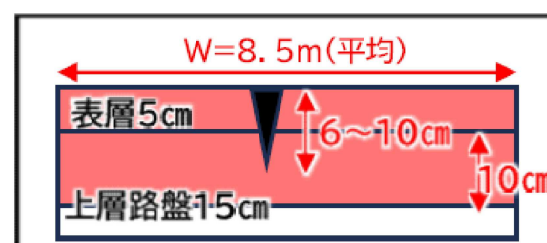
平面図

6災3998号

平面図



標準断面図



数量総括表

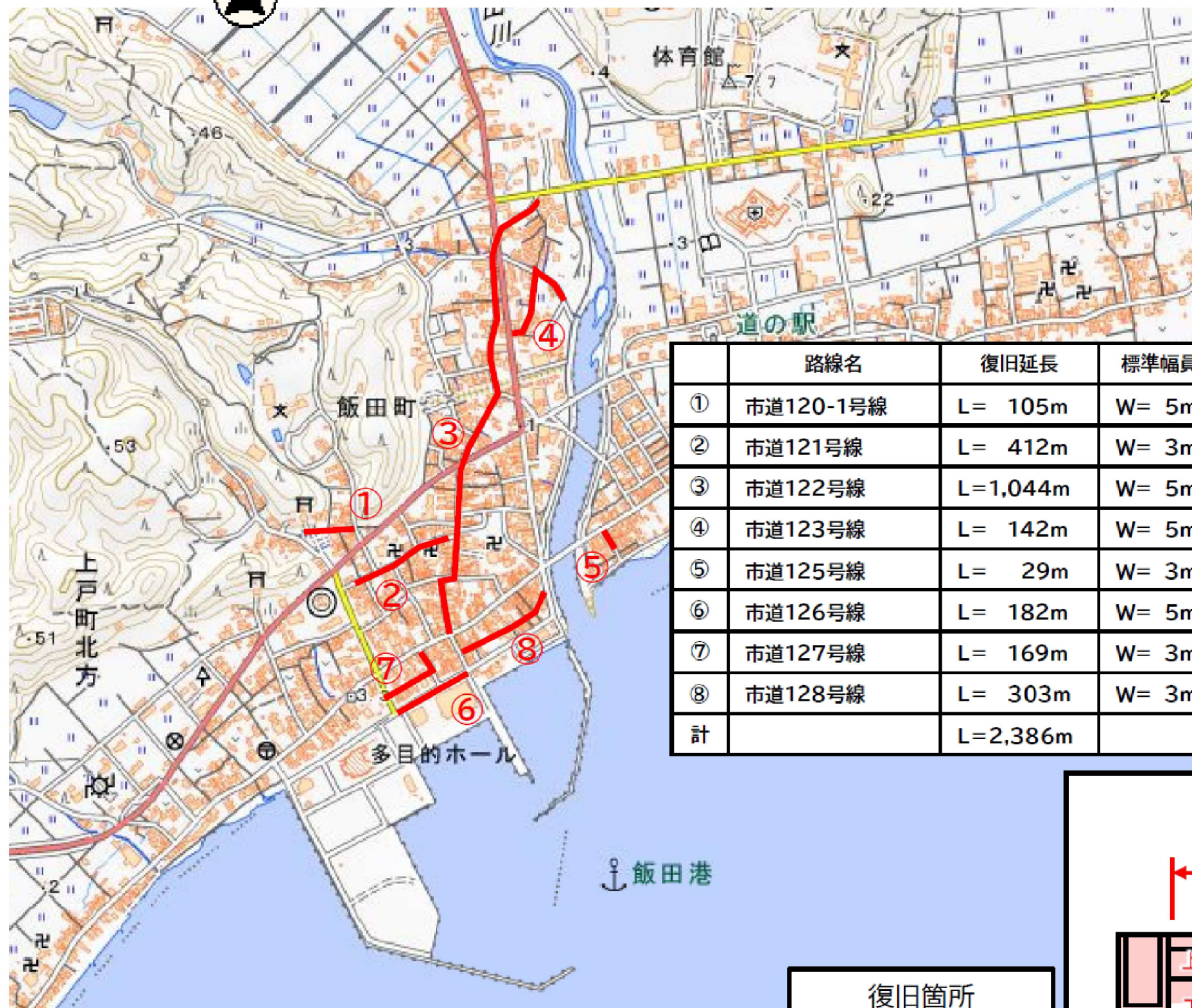
復旧延長 L=702m(W=8.5m)
 側溝工、集水桝工、照明設備、消雪設備一式
 について、調査困難のため未申請
 表層工 A=5,967㎡
 上層路盤工 A=5,933㎡
 区画線工 L=1,404m

工事名	
路線名	6災3998号
箇所	珠洲市上戸町北方～飯田町地内
図名	平面図
縮尺	—
図面番号	
珠洲市	

平面図

6災4036号

平面図



復旧延長 L=2,386m(W=4.2m)

調査不可能箇所について未申請

表層工 A=10,104m²

上層路盤工 A=10,104m²

区画線工 L=4,772m

側溝工 L=256m

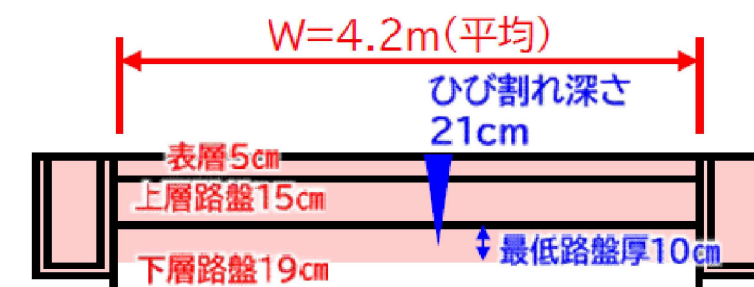
集水桝 N=9箇所

コンクリート擁壁 V=5m³

縁石工 L=15m

	路線名	復旧延長	標準幅員	復旧面積	備考
①	市道120-1号線	L= 105m	W= 5m	A= 525m ²	
②	市道121号線	L= 412m	W= 3m	A= 1,236m ²	
③	市道122号線	L=1,044m	W= 5m	A= 5,220m ²	
④	市道123号線	L= 142m	W= 5m	A= 710m ²	
⑤	市道125号線	L= 29m	W= 3m	A= 87m ²	※調査不可能有
⑥	市道126号線	L= 182m	W= 5m	A= 910m ²	
⑦	市道127号線	L= 169m	W= 3m	A= 507m ²	
⑧	市道128号線	L= 303m	W= 3m	A= 909m ²	※調査不可能有
計		L=2,386m		A=10,104m ²	

標準断面図

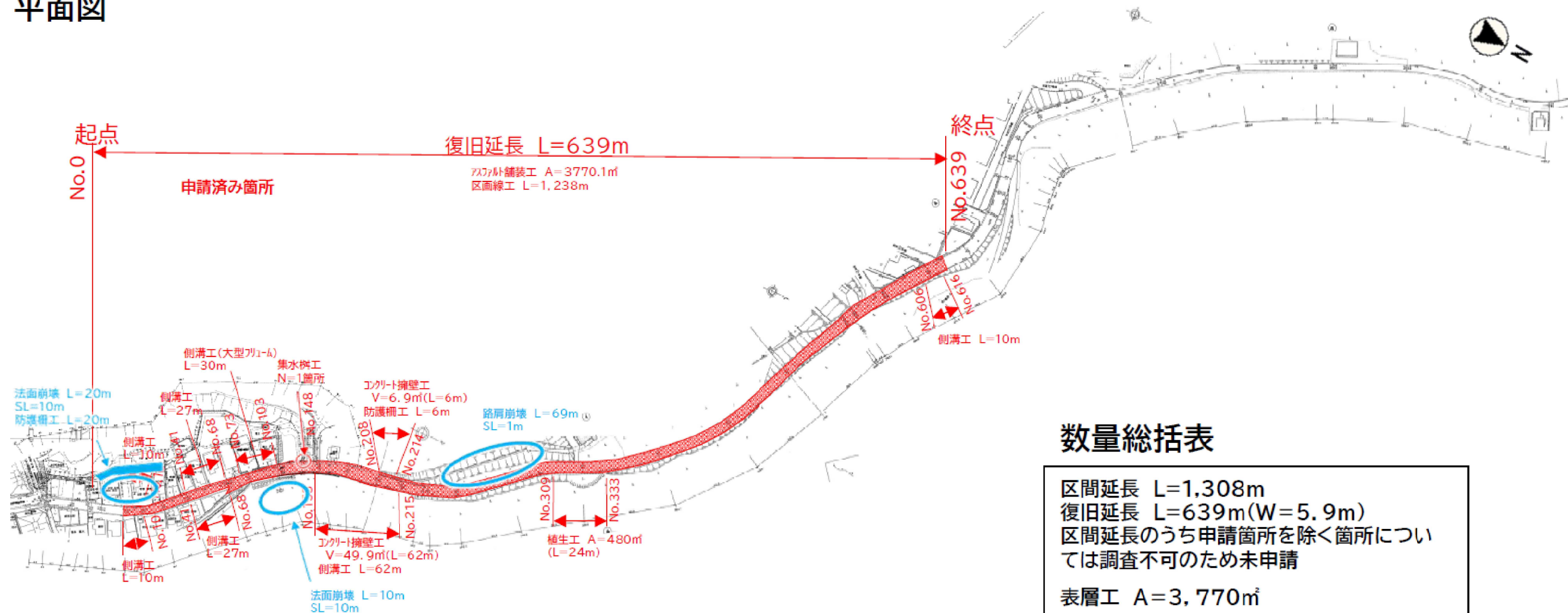


復旧箇所

工事名	
路線名	6災4036号
箇所	珠州市飯田町地内
図名	平面図
縮尺	—
図面番号	
	珠州市

平面図
6災4170号

平面図

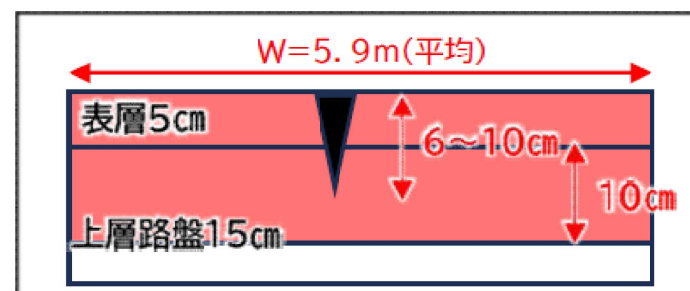


数量総括表

区間延長 L=1,308m
復旧延長 L=639m(W=5.9m)
区間延長のうち申請箇所を除く箇所については調査不可のため未申請

表層工 A=3,770m²
上層路盤工 A=3,758m²
路床盛土 V=69m³
側溝工 L=176m
集水桝工 N=1箇所
植生工 A=480m²
コンクリート擁壁工 V=57m³
防護柵工 L=26m
区画線工 L=1,238m
吹付砕工 A=300m²
鉄筋挿入工 N=75箇所

標準断面図



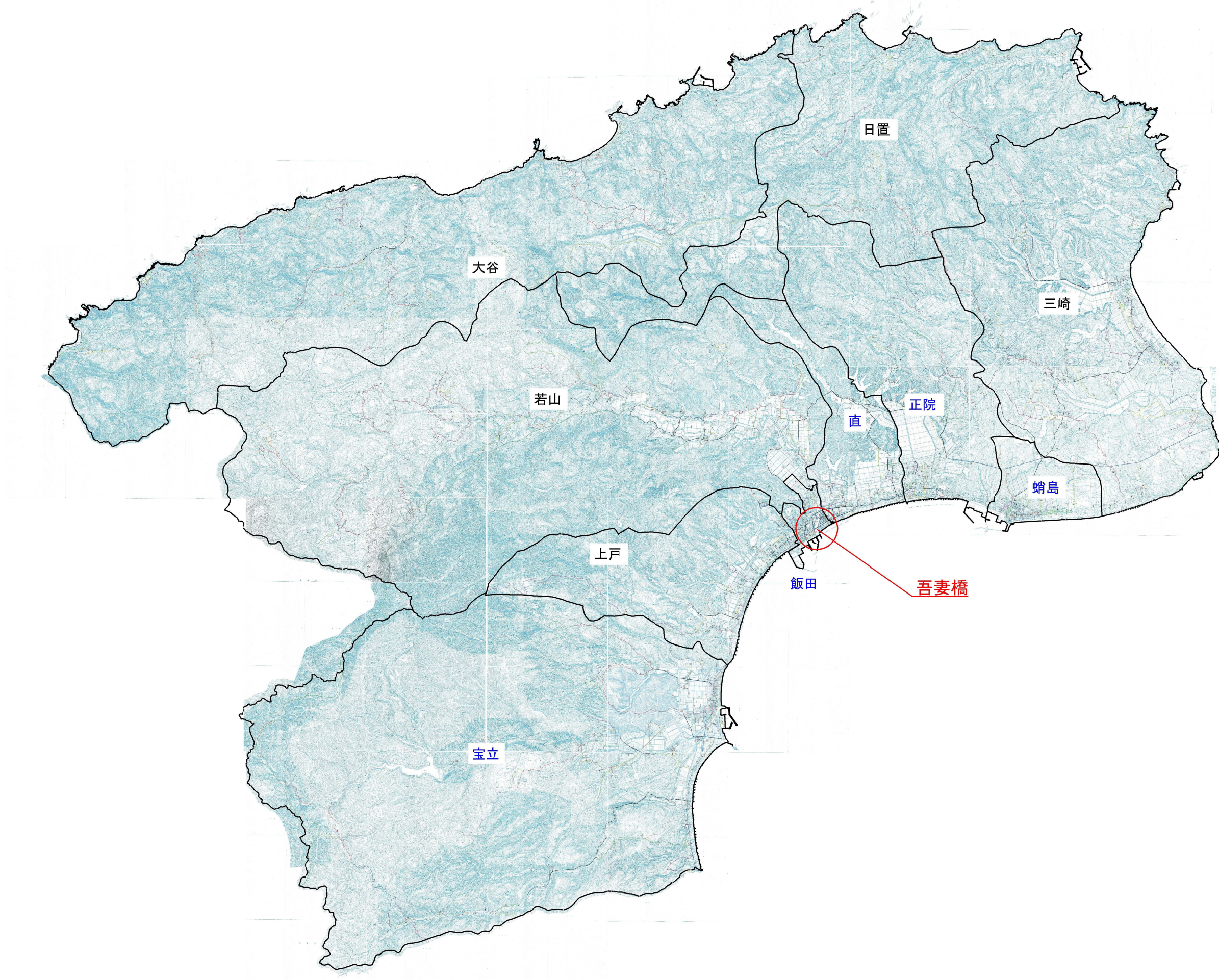
工事名	
路線名	6災4170号
箇所	珠洲市飯田町地内
図名	平面図
縮尺	—
図面番号	
珠洲市	

工事発注図面

6災4012号 市道2号線 吾妻橋

位置図

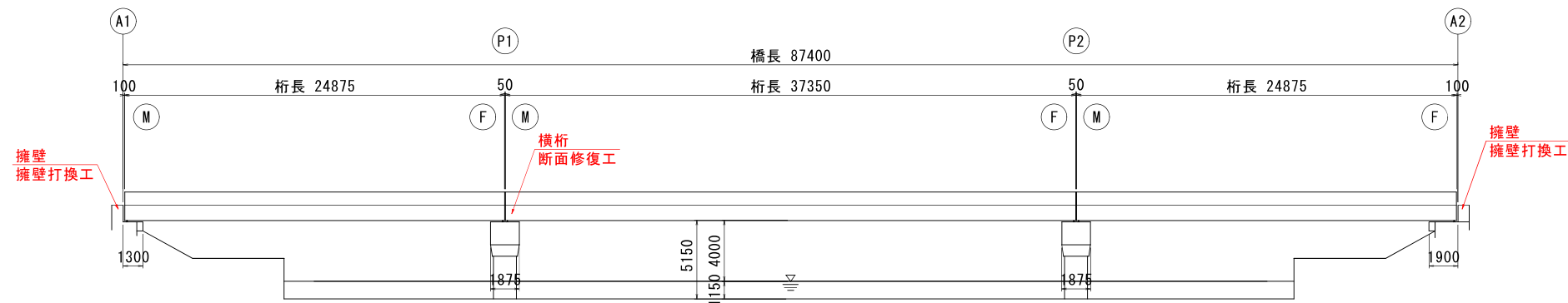
S=1:40000



吾妻橋 補修計画一般図

側面図

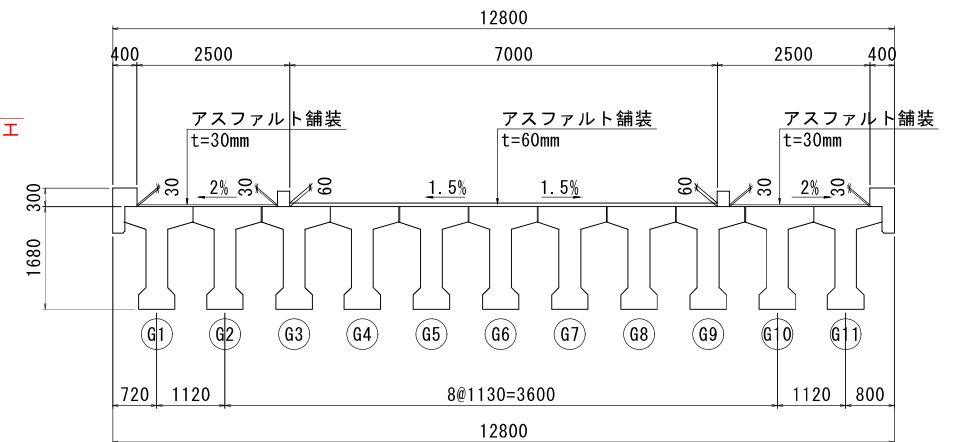
S=1:200



断面図

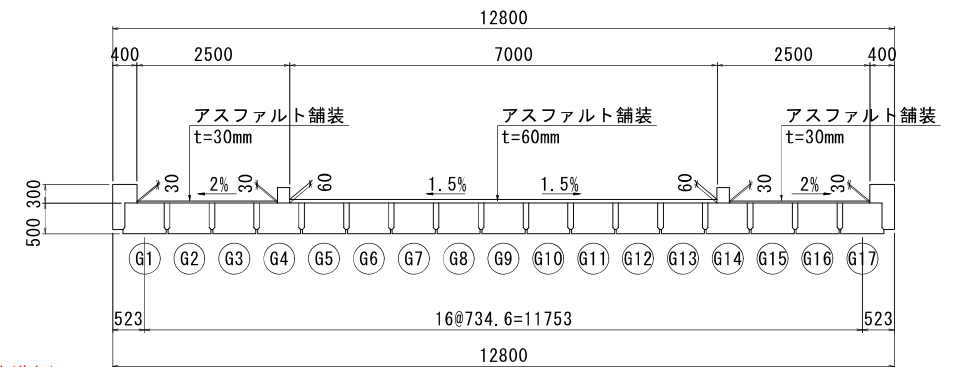
S=1:60

P1-P2



← 若山川

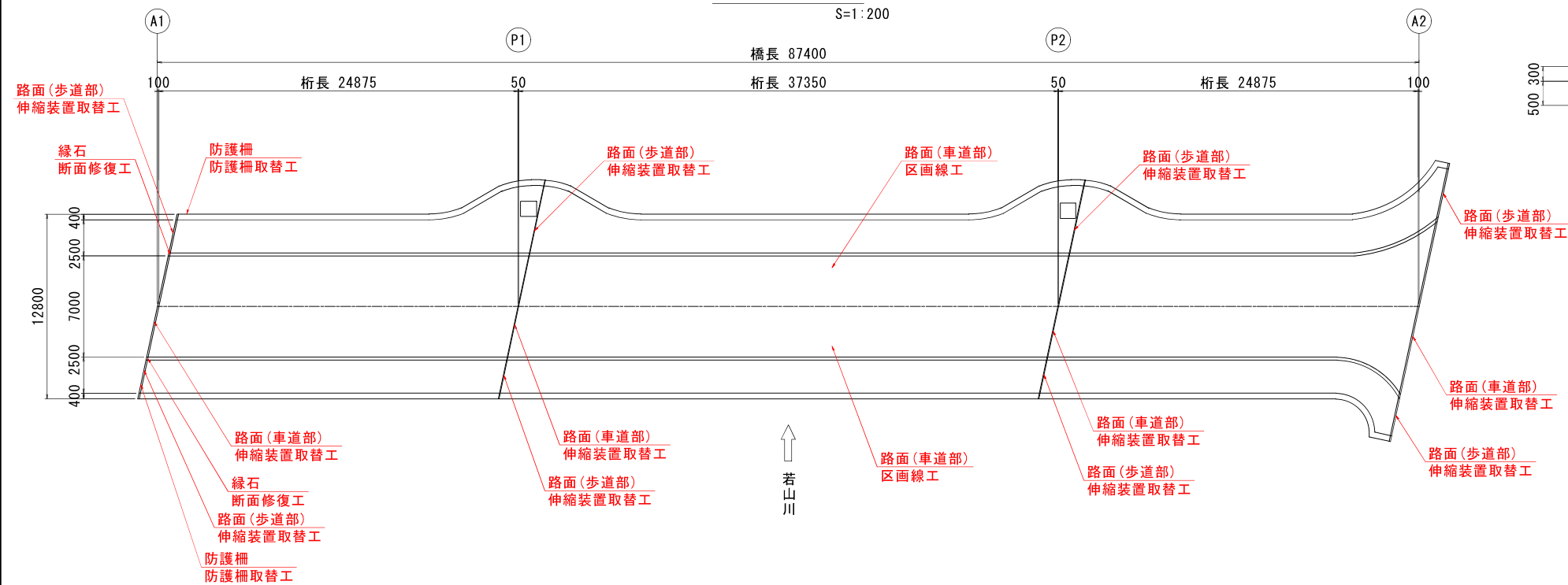
A1-P1・P2-A2



← 若山川

平面図

S=1:200



補修工法一覧表

補修工種	適用箇所
断面修復工(左官工法)	横桁, 緑石
擁壁打換工	擁壁(A1, A2)
伸縮装置取替工	A1, P1, P2, A2
防護柵取替工	A1(上流, 下流)
区画線工	橋面全範囲

注記

1. 施工前に必ず現地寸法を確認し、補修範囲及び数量調査を協議のうえ施工すること。
2. 各補修工法に関する注意事項は、補修工詳細図を確認すること。

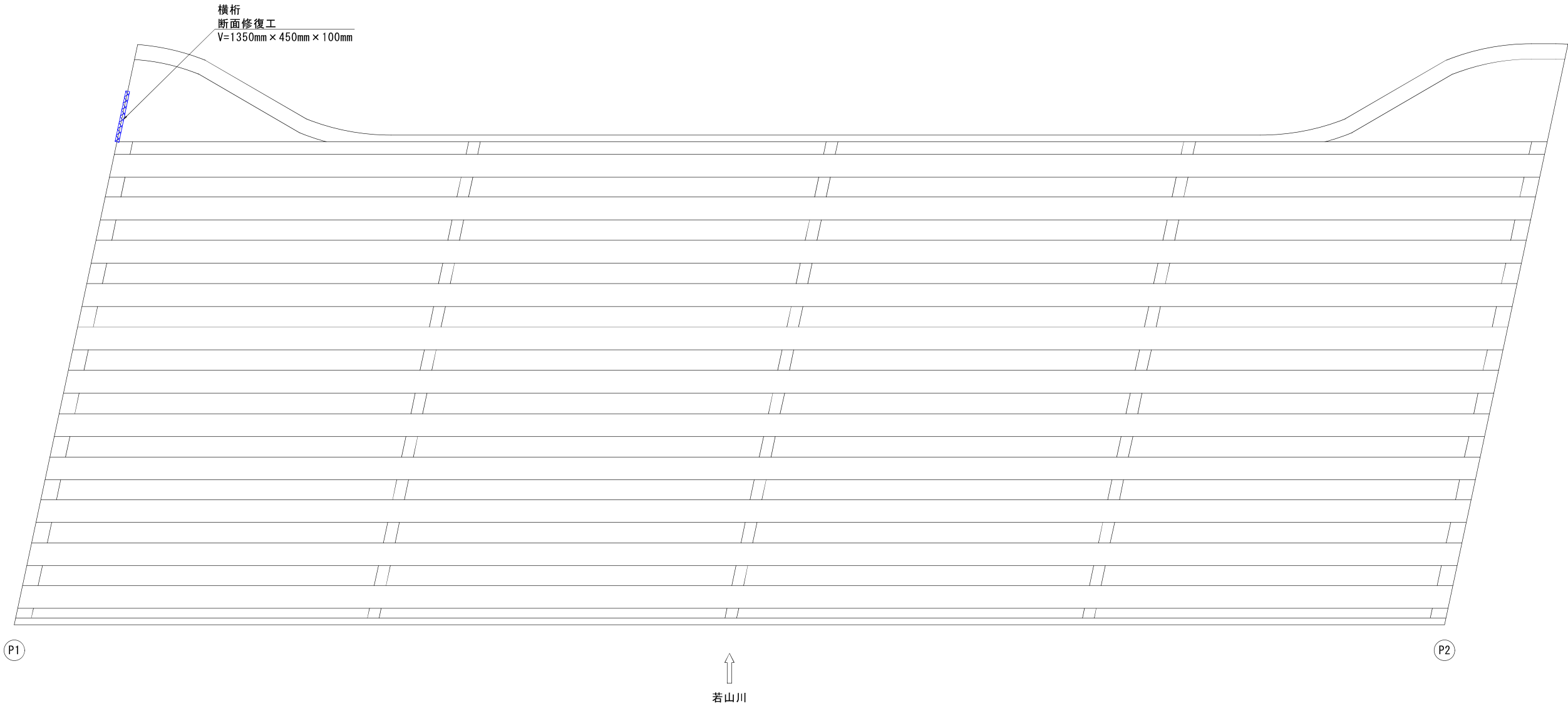
令和	年度
工事名	市道2号線
路線名	珠洲市飯田町
箇所	吾妻橋 補修計画一般図
図面	図示
縮尺	/ 枚の内
図面番号	珠 洲 市

吾妻橋 上部工補修図

P1-P2

S=1:40

床版下面



補修数量表

表 示	補修の種類	単位	数 量
	断面修復工(左官工法)	m3	0.0608

注記
1. 施工前に必ず現地寸法を確認し、補修範囲及び数量調査を協議のうえ施工すること。
2. 各補修工法に関する注意事項は、補修工詳細図を確認すること。
3. うき、鉄筋露出箇所は、鉄筋裏側まで研った上で断面修復すること。

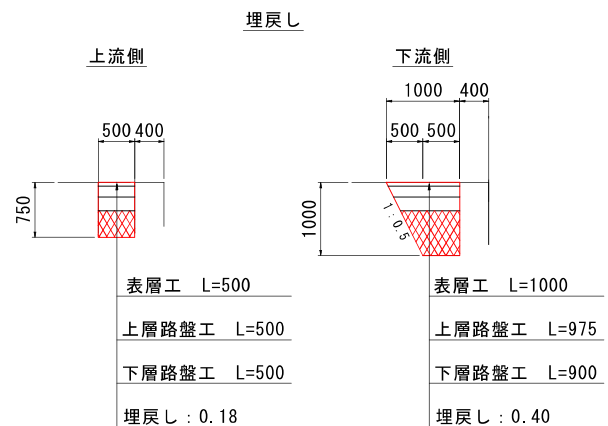
令和	年度
工 事 名	
路 線 名	市道2号線
箇 所	珠洲市飯田町
図 面	吾妻橋 上部工補修図
縮 尺	S=1:40
図面番号	/ 枚の内
珠 洲 市	

吾妻橋 擁壁補修図(1)

防護柵取替工(参考図)

正面图

擁壁打換工
断面図



単位 mm		
表層工	密粒度アスファルト混合物 (20F)	50
上層路盤工	粒調碎石 M-40	150
下層路盤工	再生クラッシャーラン RC-40	190

Plan view diagram of a road construction site showing the layout of guardrails and their replacement work. The diagram includes dimensions for the guardrails and labels for the replacement work. A north arrow points towards the top of the page.

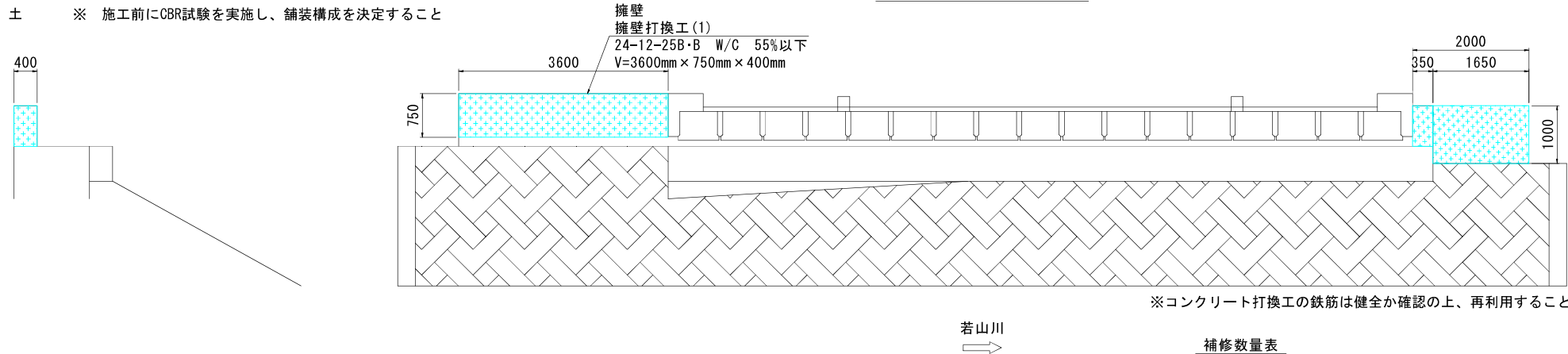
Dimensions and labels for the guardrails:

- Top guardrail: 1000 (width), 400 (height), 2000 (length). Label: 防護柵 防護柵取替工 L-2.0m.
- Bottom guardrail: 3600 (length), 500 (width), 400 (height). Label: 防護柵 防護柵取替工 L-3.6m.

Other labels and features:

- Point A1 is marked at the bottom left corner of the road area.
- Point P1 is marked at the bottom right corner of the road area.
- A north arrow points towards the top of the page, labeled 若山川 (Wakayama River).

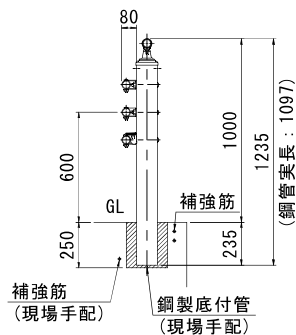
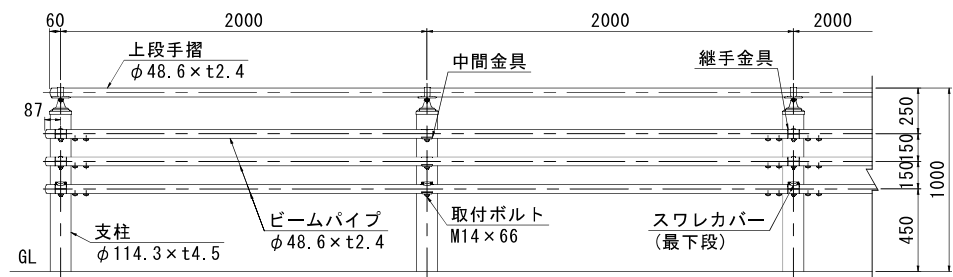
A1橋台正面図



補修数量表

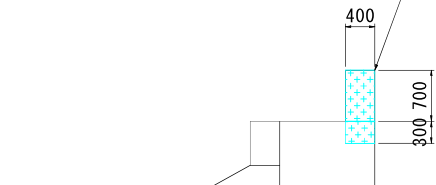
注記

1. 施工前に必ず現地寸法を確認し、補修範囲及び数量調査を協議のうえ施工すること。
2. 各補修工法に関する注意事項は、補修工詳細図を確認すること。



擁壁
擁壁打換工(2)

24-12-25B・B W/C 55%以下
V=700mm×400mm×350mm
V=1000mm×400mm×1650mm

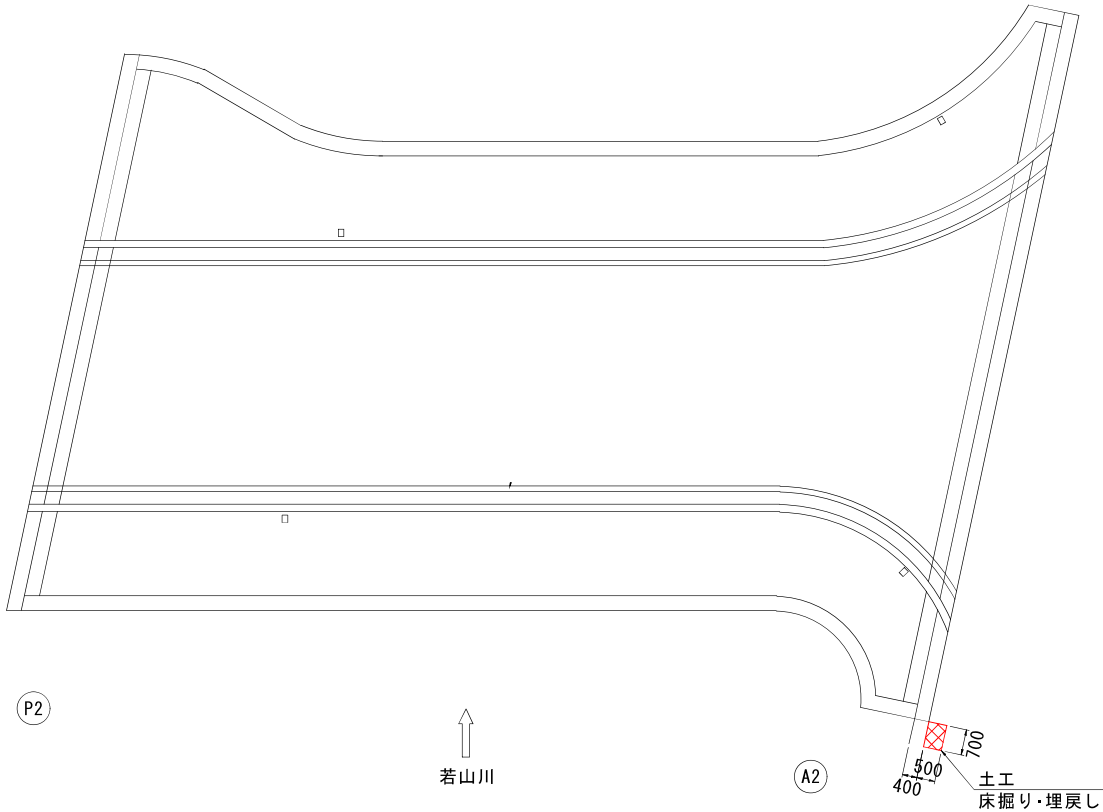


令和	年度	
工 事 名		
路 線 名	市道2号線	
箇 所	珠洲市飯田町	
図 面	吾妻橋 擁壁補修図(1)	
縮 尺	S=1:50	
図面番号	/ 枚の内	
珠 洲 市		

吾妻橋 擁壁補修図(2)

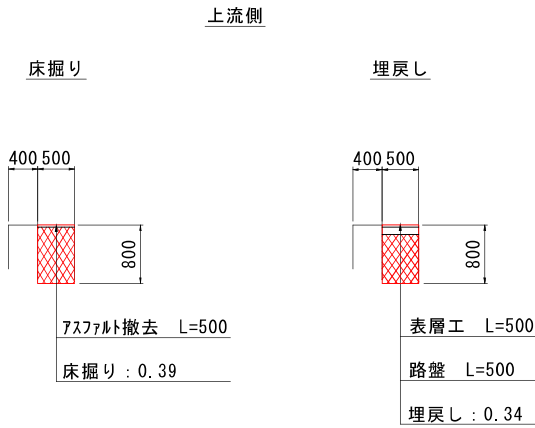
S=1:50

P2-A2平面図



※ 埋設管が設置されているため、現地確認の上、十分に注意して施工すること

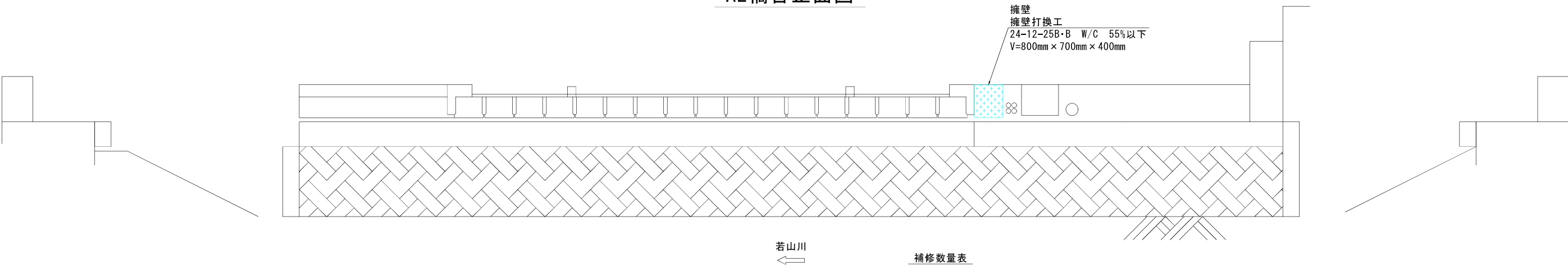
土工詳細図



舗装構成

単位 mm		
表層工	密粒度アスファルト混合物 (13) カラー舗装	30
路盤	再生クラッシュラン RC-40	100

A2橋台正面図



補修数量表

表 示	補修の種類	単位	数 量
	擁壁打換工	m3	0.224
	土工(床掘り)	m3	0.27
	土工(埋戻し)	m3	0.24

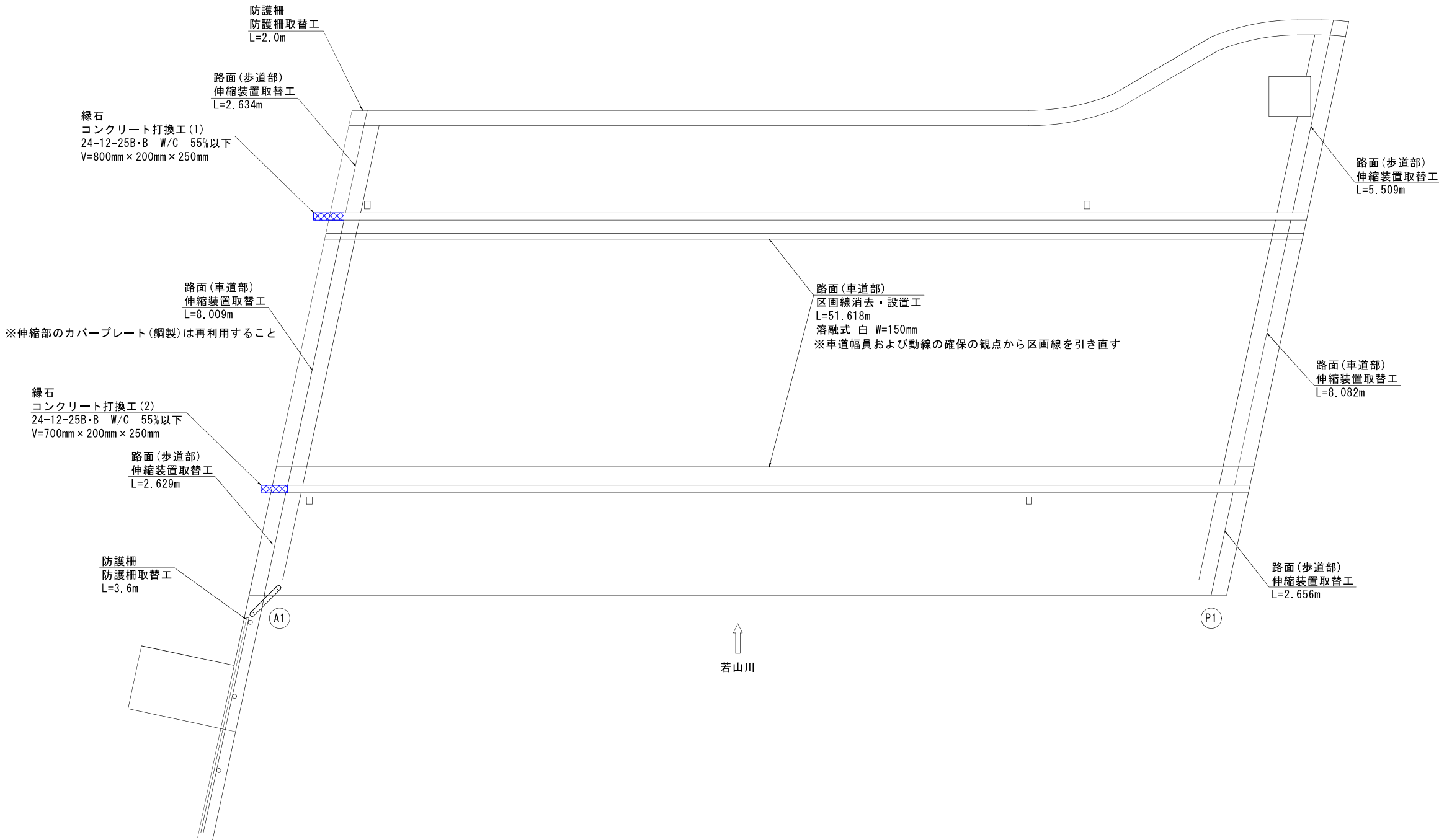
注記
1. 施工前に必ず現地寸法を確認し、補修範囲及び数量調査を協議のうえ施工すること。
2. 各補修工法に関する注意事項は、補修工詳細図を確認すること。
3. うき、鉄筋露出箇所は、鉄筋裏側まで所った上で断面修復すること。

令和	年度
工 事 名	
路 線 名	市道2号線
箇 所	珠洲市飯田町
図 面	吾妻橋 擁壁補修図(2)
縮 尺	S=1:50
図面番号	/ 枚の内
珠 洲 市	

吾妻橋 橋面補修図(1)

A1-P1

S=1:60



補修数量表

表 示	補修の種類			単位	数 量
	コンクリート打換工			m3	0.0750
	伸縮装置取替工	車道用	ゴムジョイント(表面銅製)-30用	m	16.091
		歩道用	ゴムジョイント(表面銅製)-30用	m	13.428
	防護柵取替工			m	5.6
	区画線消去・設置工			m	51.618

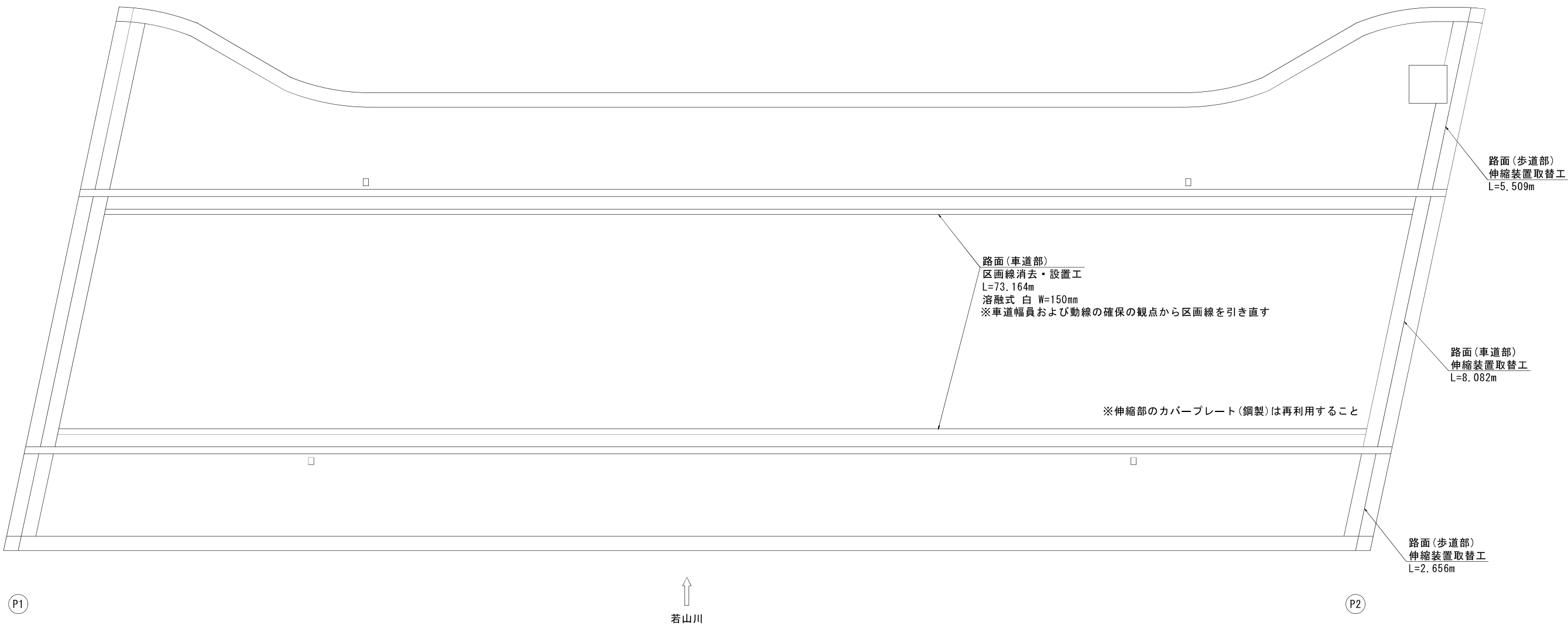
注記
1. 施工前に必ず現地寸法を確認し、補修範囲及び数量調査を協議のうえ施工すること。
2. 各補修工法に関する注意事項は、補修工詳細図を確認すること。
3. うき、鉄筋露出箇所は、鉄筋裏側まで研った上で断面修復すること。

令和	年度
工 事 名	市道2号線
路 線 名	市道2号線
箇 所	珠洲市飯田町
図 面	吾妻橋 橋面補修図(1)
縮 尺	S=1:60
図面番号	/ 枚の内
珠 洲 市	

吾妻橋 橋面補修図(2)

P1-P2

S=1:60



補修数量表

表 示		補修の種類		単位	数 量
	伸縮装置取替工	車道用	ゴムジョイント(表面鋼製)-30用	m	8.082
		歩道用	ゴムジョイント(表面鋼製)-30用	m	8.165
	区画線消去・設置工			m	73.164

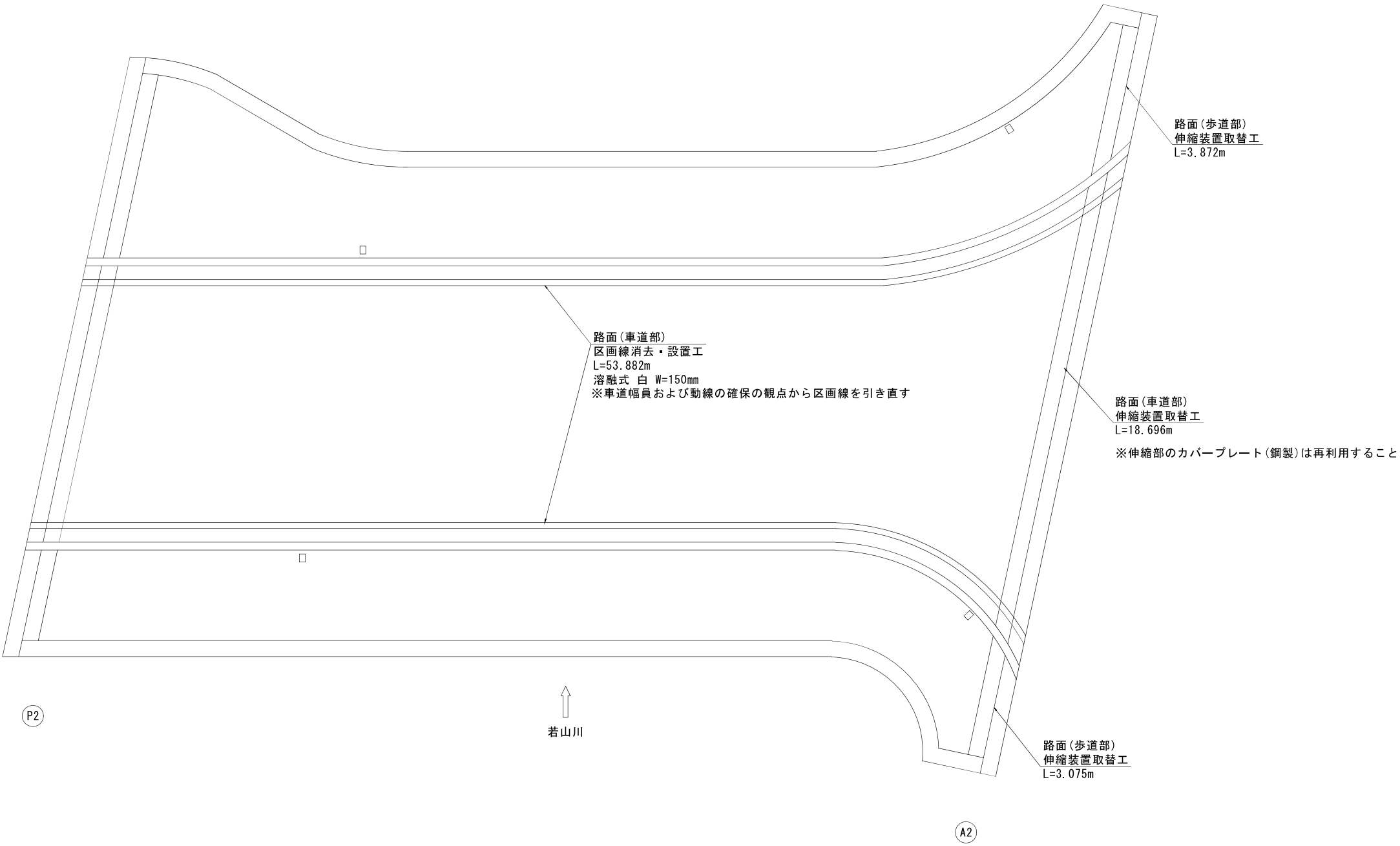
注記
1. 施工前に必ず現地寸法を確認し、補修範囲及び数量調査を協議のうえ施工すること。
2. 各補修工法に関する注意事項は、補修工詳細図を確認すること。

令和	年度
工 事 名	
路 線 名	市道2号線
箇 所	珠洲市飯田町
図 面	吾妻橋 橋面補修図(2)
縮 尺	S=1:60
図面番号	/ 枚の内
珠 洲 市	

吾妻橋 橋面補修図(3)

P2-A2

S=1:60



補修数量表

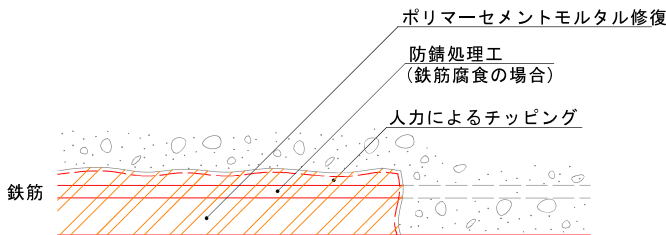
表 示	補修の種類		単位	数 量
	伸縮装置取替工			
	車道用	ゴムジョイント(表面鋼製)~30用	m	18.696
	歩道用	ゴムジョイント(表面鋼製)~30用	m	6.947
	区画線消去・設置工		m	53.882

注記
1. 施工前に必ず現地寸法を確認し、補修範囲及び数量調査を協議のうえ施工すること。
2. 各補修工法に関する注意事項は、補修工詳細図を確認すること。

令和	年度
工 事 名	
路 線 名	市道2号線
箇 所	珠洲市飯田町
図 面	吾妻橋 橋面補修図(3)
縮 尺	S=1:60
図面番号	/ 枚の内
珠 洲 市	

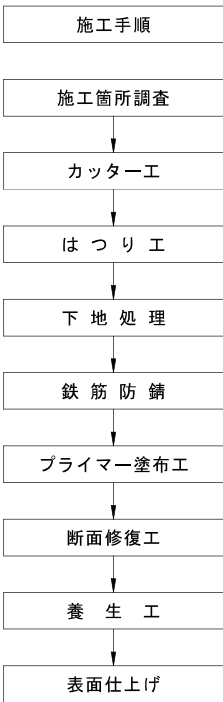
吾妻橋 補修工詳細図

断面修復工（左官工法） ポリマーセメントモルタル



注記

- 断面修復工のカッター工は現地確認の上、作業の有無を決定すること。
再劣化防止のために、既設鉄筋の背面2cmまではつること。
- コンクリートはつり部分の既設鉄筋には防錆処理を行うこと。
防錆処理は既設鉄筋をワイヤーブラシでケレンし、防錆剤を塗布すること。
防錆剤の種類はポリマーセメント系とし、鉄筋の節部が残るように塗膜し、断面修復材との付着に影響を与えないこと。
- 断面修復工で重ね塗りをを行う場合は重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを考慮して行うこと。
- 断面修復工は損傷箇所から100mm程度ずつ余裕を確保した断面で実施すること。
- 断面補修時、左官工法による左官作業は既設コンクリート面（はつり面）にプライマーを塗布し、空けきを残さないように施工すること。
なお、かぶり不足箇所は厚塗りをするなど、かぶりを確認すること。
- 使用する断面修復材は、横桁部で設計基準強度30N/mm2以上の強度の修復材を使用すること。
- 鉄筋が腐食している場合の補修では、次の点を特に注意すること。
 - 腐食した鉄筋のさびを完全に除去し、防錆剤を塗布すること。
 - 鉄筋の断面欠損が著しい場合には、新たに鉄筋（添え筋）を追加すること。
 - 損傷箇所近くの損傷していない箇所の鉄筋も腐食している場合は、この部分も含めて補修すること。



断面修復工法の主要性能と断面修復材の性能範囲

施工方法		左 官			吹付け
硬化性		普通		速硬	普通
軽量性		普通	軽量		
単位容積重量 (kg/l)		1.8～2.2	1.3～1.6	1.8～2.1	1.5～2.2
フロー		120～160	110～150	120～160	140～250
硬化時間 (h)		3～8	3～10	0.5～2	3～8
圧縮強度 (N/mm2)	材 齢 3h	－	－	3～15	－
	材 齢 1d	5～25	3～25	10～30	5～15
	材 齢 7d	20～40	5～30	20～40	20～40
	材 齢 28d	25～60	10～35	25～40	30～60
付着強度 (N/mm2)	標準	1.8～3.4	1.8～2.6	2.0～2.8	2.0～3.5
	温冷繰返し				
弾性係数 (kN/mm2)		16～21	12～15	13～21	14～21
引張強度 (N/mm2)		3～6			
収縮率 (×10-6)		200～1000			
熱膨張率 (×10-6/℃)		8～17	9～13	10～15	9～17

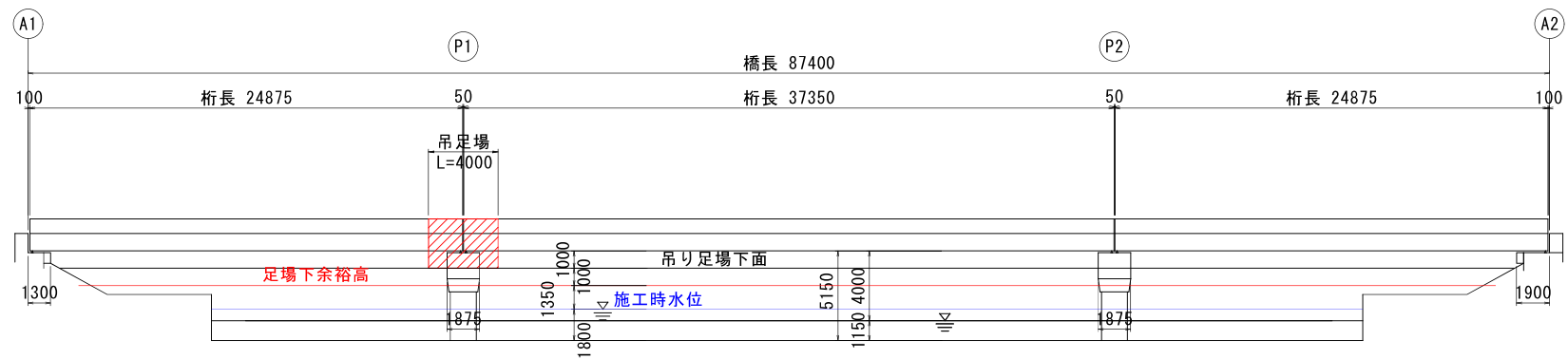
引用文献：表面保護工法 設計施工指針（案） [工種別マニュアル編]

令和	年度	
工 事 名		
路 線 名	市道2号線	
箇 所	珠洲市飯田町	
図 面	吾妻橋 補修工詳細図	
縮 尺	NO SCALE	
図面番号	/	枚の内
珠	洲	市

吾妻橋 仮設計画図(参考図)

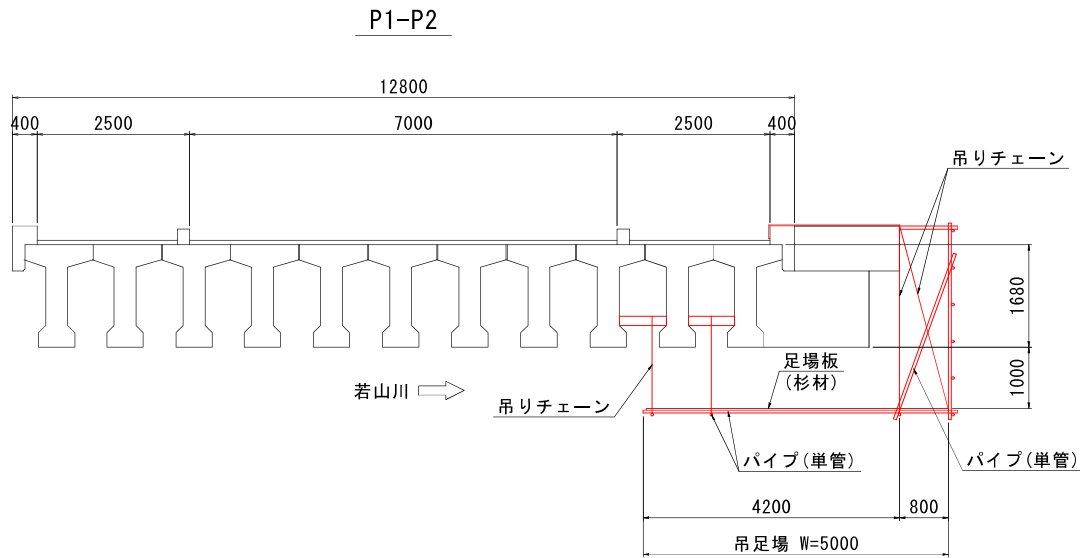
側面図

S=1:200



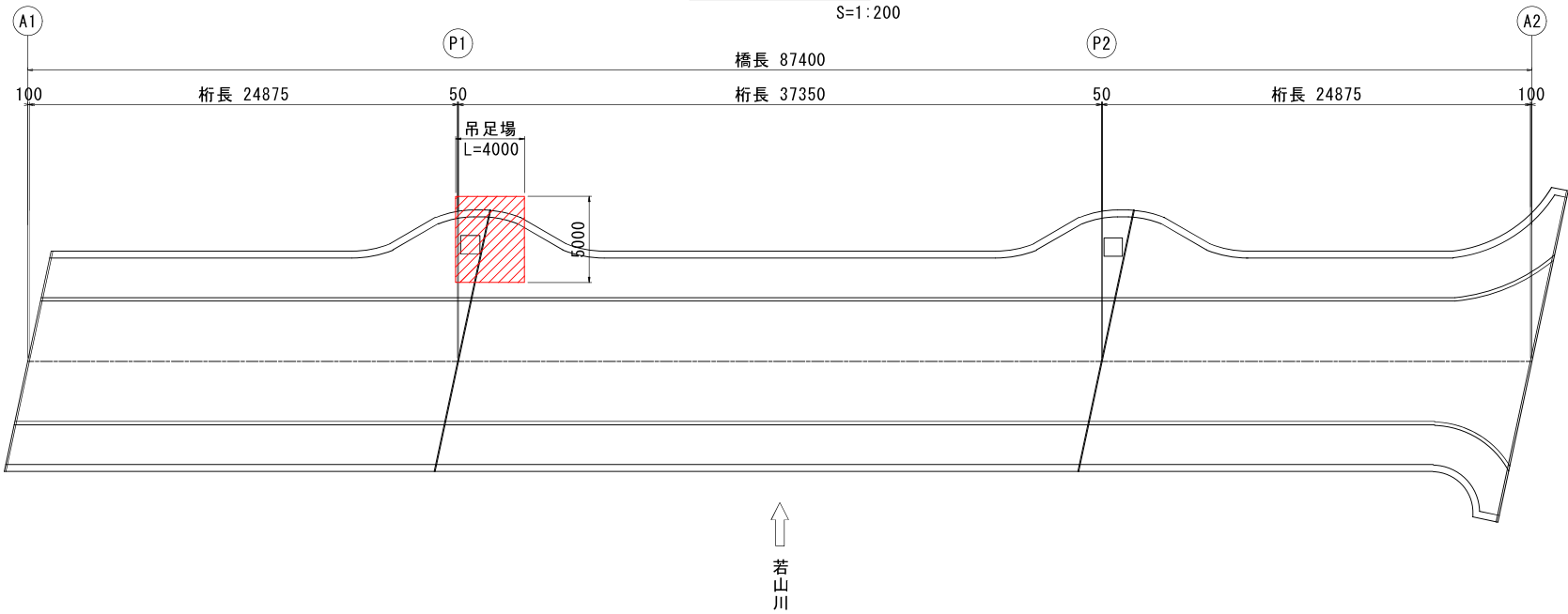
断面図

S=1:60



平面図

S=1:200



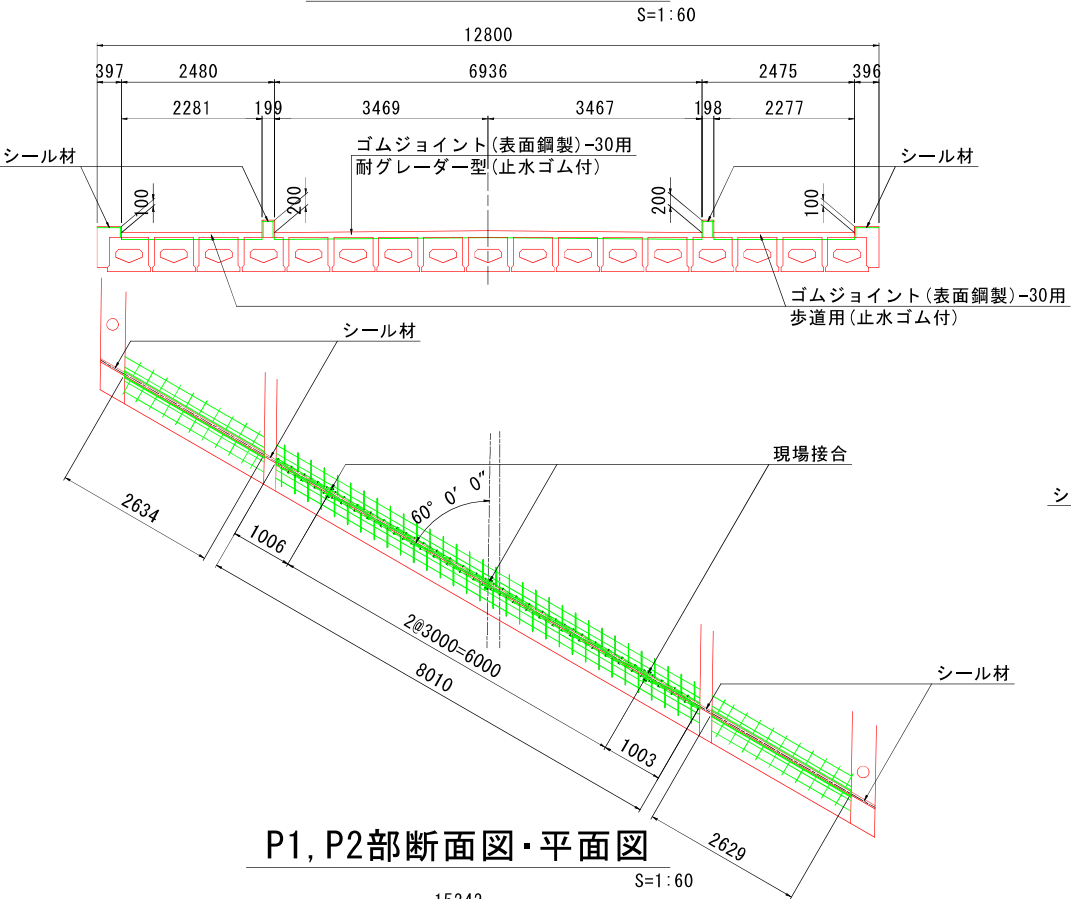
補修数量表

表示	補修の種類	単位	数量
	吊足場	m2	20.0

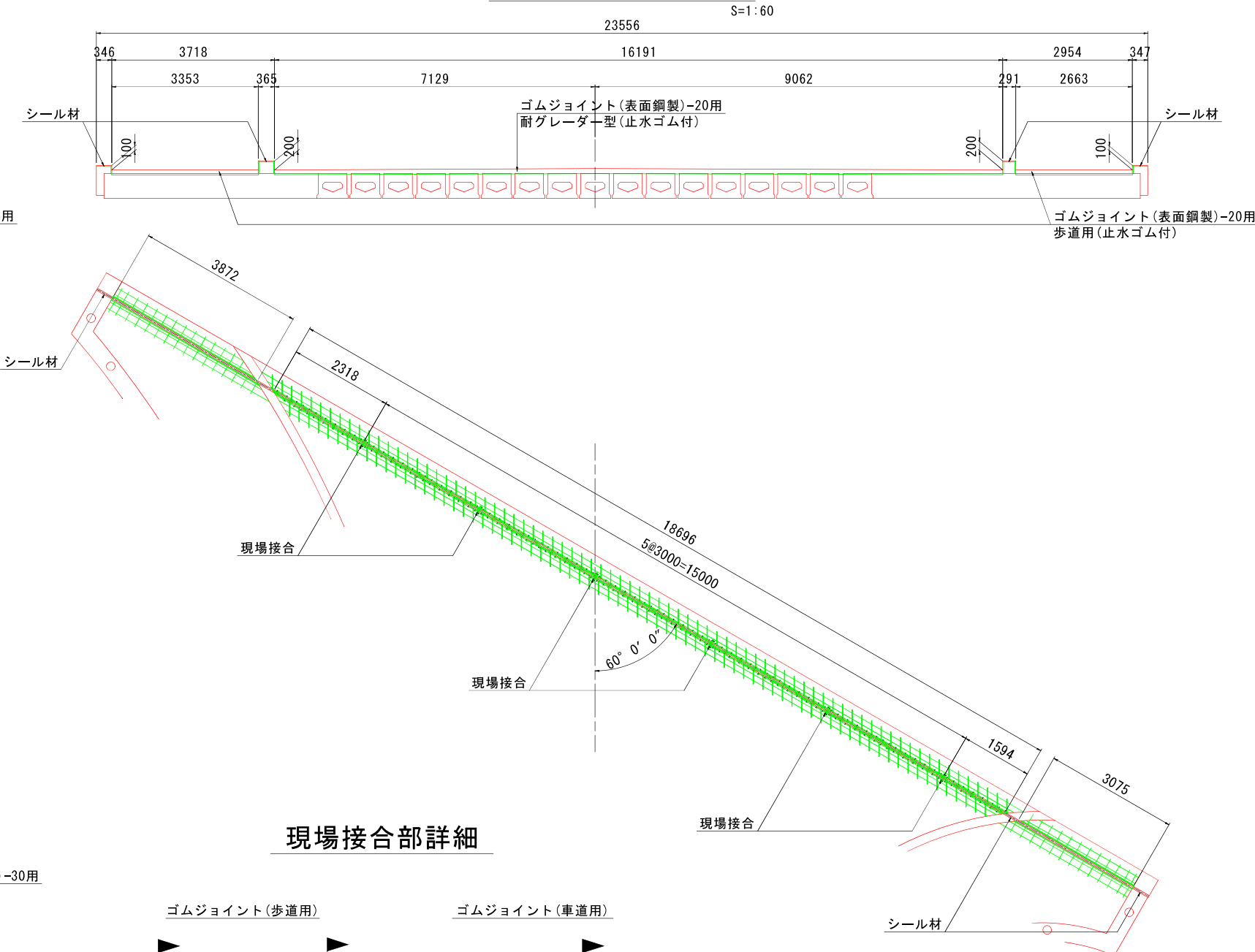
令和	年度
工事名	市道2号線
路線名	珠洲市飯田町
箇所	吾妻橋 仮設計画図(参考図)
図面	図示
縮尺	/ 枚の内
図面番号	珠洲市

吾妻橋 伸縮継手詳細図その1 (参考図)

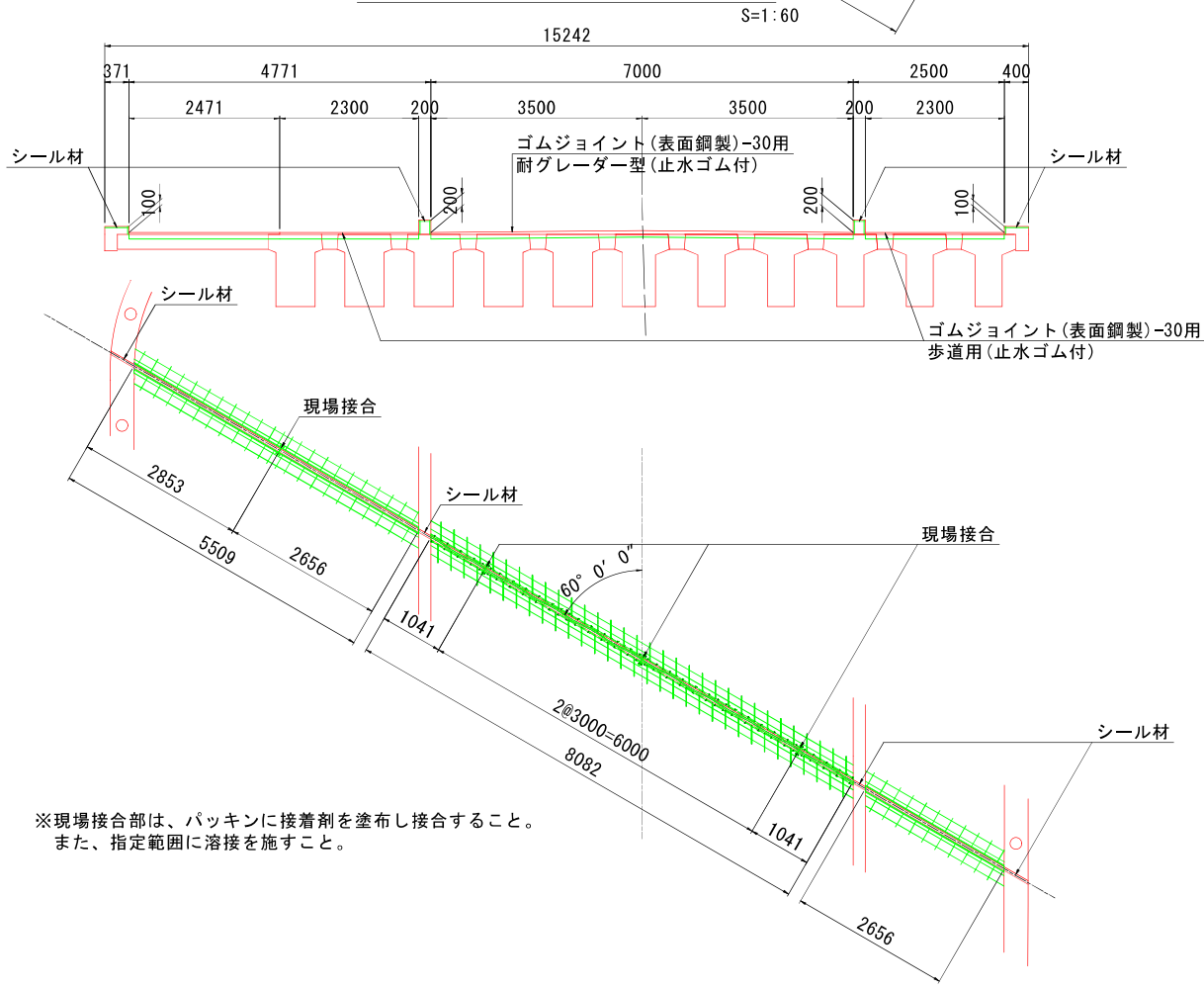
A1部断面図・平面図



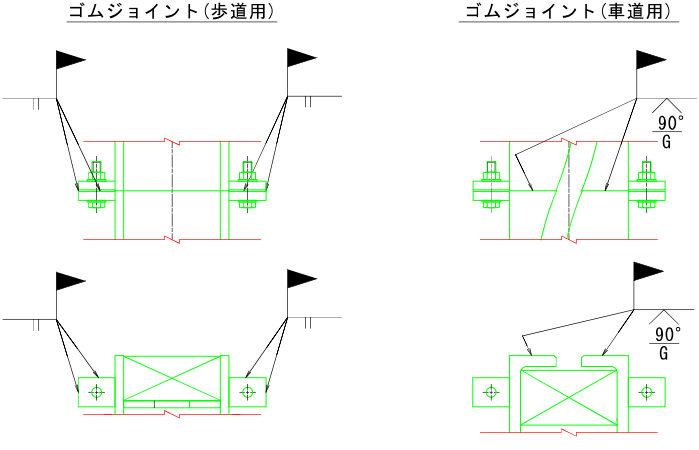
A2部断面図・平面図



P1, P2部断面図・平面図

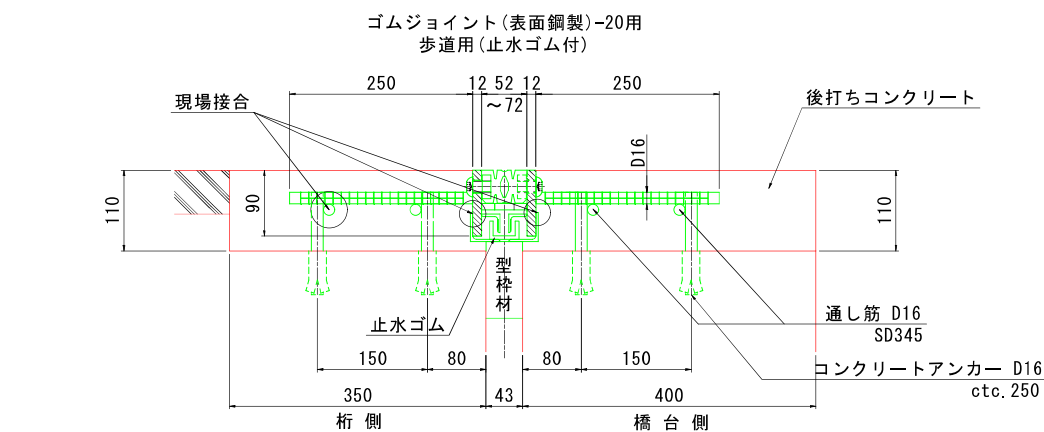
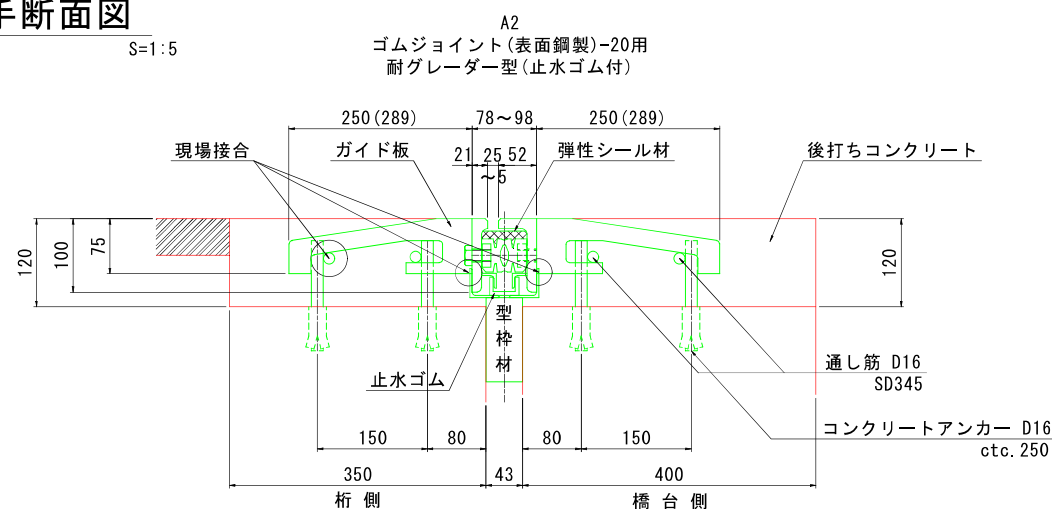


現場接合部詳細



※現場接合部は、パッキンに接着剤を塗布し接合すること。
また、指定範囲に溶接を施すこと。

令和	年度
工事名	市道2号線
路線名	珠洲市飯田町
箇所	吾妻橋 伸縮継手詳細図その1 (参考図)
図面	図示
縮尺	/ 枚の内
図面番号	
珠洲市	

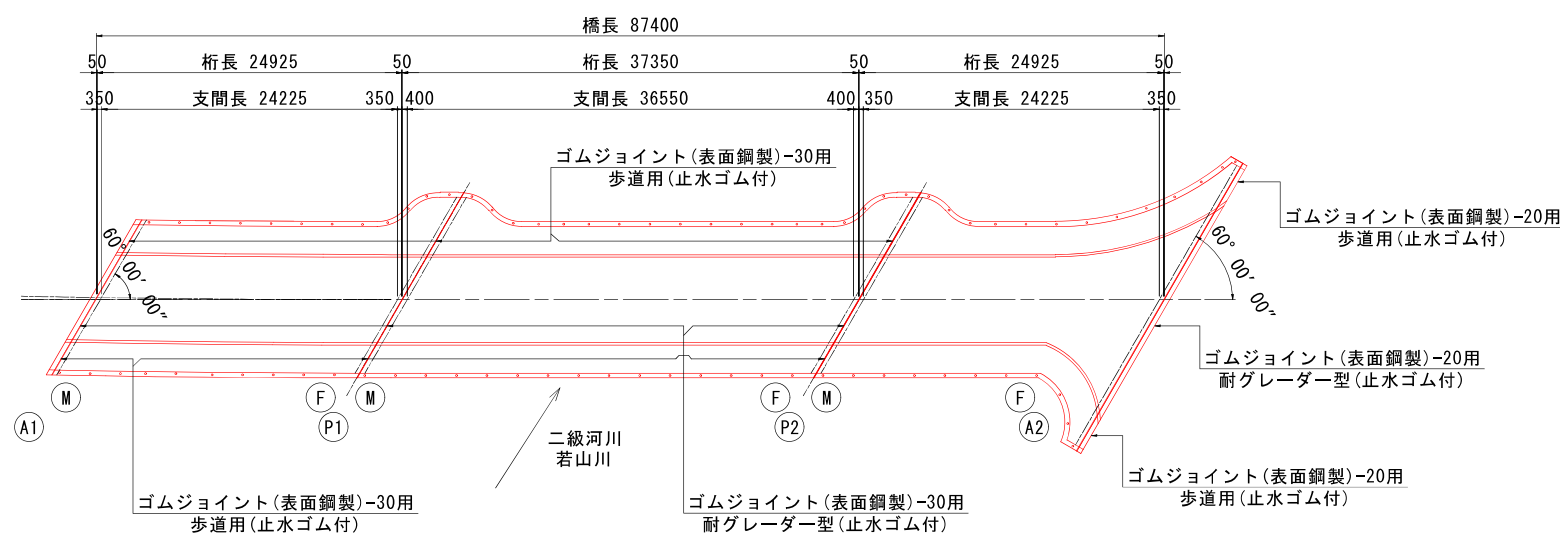
$$S=1:5$$


※＜＞内はP1、P2を示す。

名 称	材 質	A1数量	P1数量	P2数量	A2数量	合計数量	備 考
ゴムジョイント(表面銅製)-30用	SS400 合成ゴム 弾性シール	8.009 m	8.082 m	8.082 m		24.173 m	耐グレーダー型(止水ゴム付)
ゴムジョイント(表面銅製)-20用	SS400 合成ゴム 弾性シール				18.696 m	18.696 m	耐グレーダー型(止水ゴム付)
ゴムジョイント(表面銅製)-30用	SS400 合成ゴム SD345	5.263 m	8.165 m	8.165 m		21.593 m	歩道用(止水ゴム付)
ゴムジョイント(表面銅製)-20用	SS400 合成ゴム SD345				6.947 m	6.947 m	歩道用(止水ゴム付)
シール材	シリコン系	2.04リットル	2.02リットル	2.02リットル	2.20リットル	8.28リットル	
後打ちコンクリート		1.155 m ³	1.308 m ³	1.308 m ³	2.256 m ³	6.027 m ³	超速硬コンクリート
通し筋	SD345	4 本				4 本	D16×13272
〃	〃		4 本	4 本		8 本	D16×16247
〃	〃				4 本	4 本	D16×25643
コンクリートアンカー		216 本	264 本	264 本	416 本	1160本	
排水パイプ	ステンレス	4 本	4 本	4 本	4 本	16 本	15A×5000
GDx型現場接合部接着剤		1 式	1 式	1 式	1 式	4 式	20・30用
Nx型現場接合部接着剤			1 式	1 式		2 式	30用

※排水パイプは、現地測量のうえ決定する事。現地状況により設置困難な場合は、
施主と相談の上設置の有無を決定する事。

S=1:300



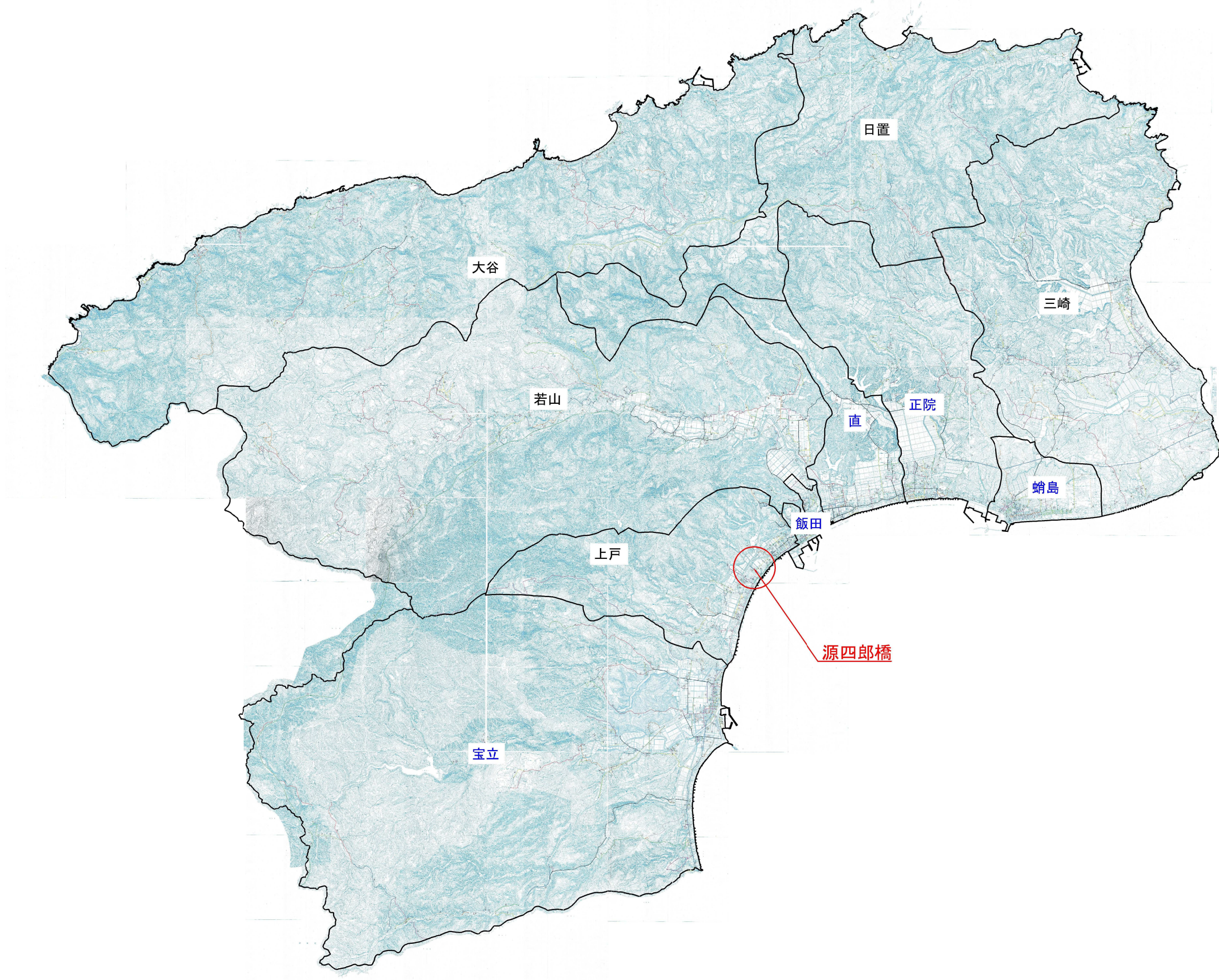
令和	年度
工事名	
路線名	市道2号線
箇所	珠州市飯田町
図面	吾妻橋 伸縮継手詳細図その2(参考図)
縮尺	図示
図面番号	/ 枚の内
珠 洲 市	

工事発注図面

6災3853号 市道113号線 源四郎橋

位置図

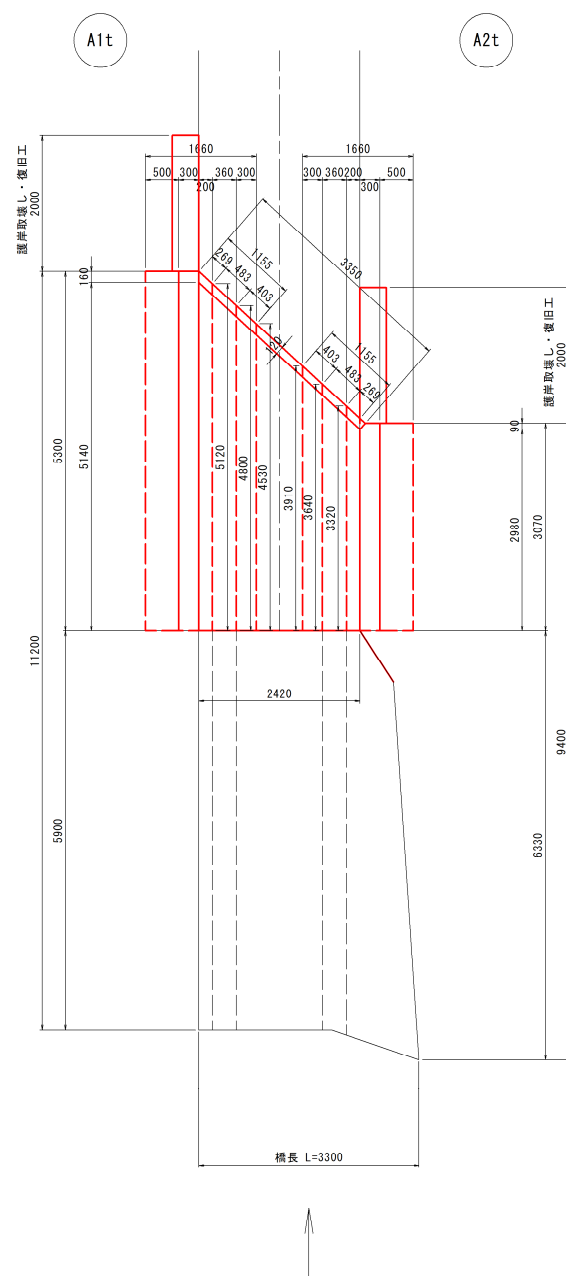
S=1:40000



源四郎橋構造図

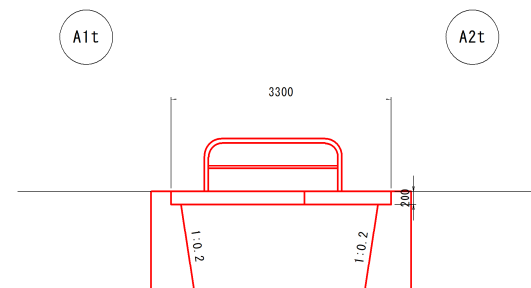
S=1:50

平面图

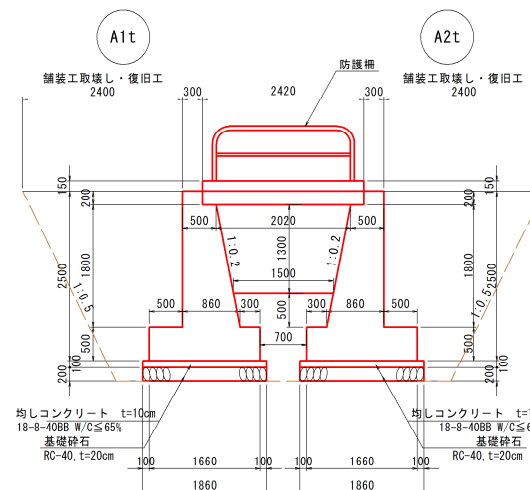


断面図

上流側

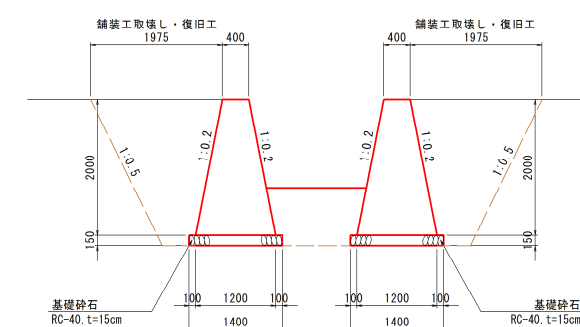


下 流 側



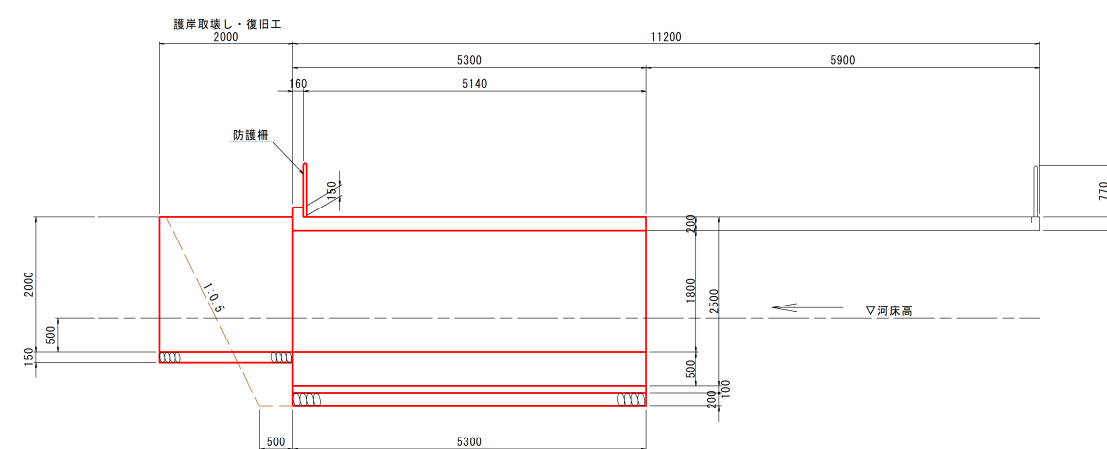
護 岸 工

GW19

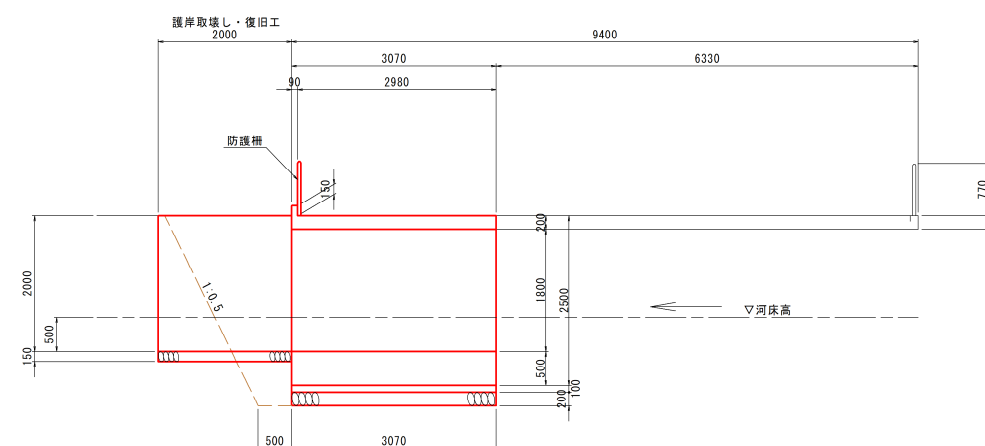


正 面 图

A1橋台



A2橋台

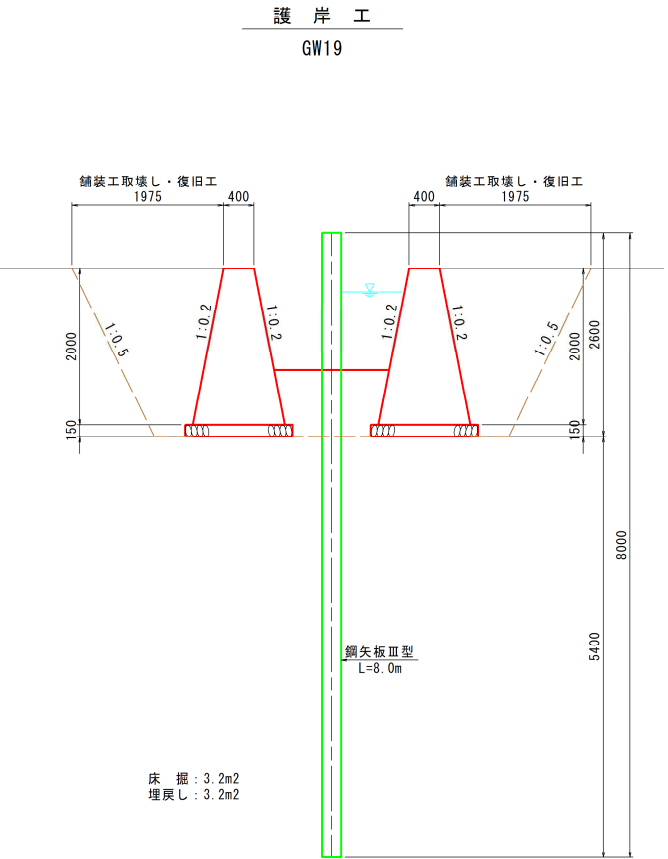
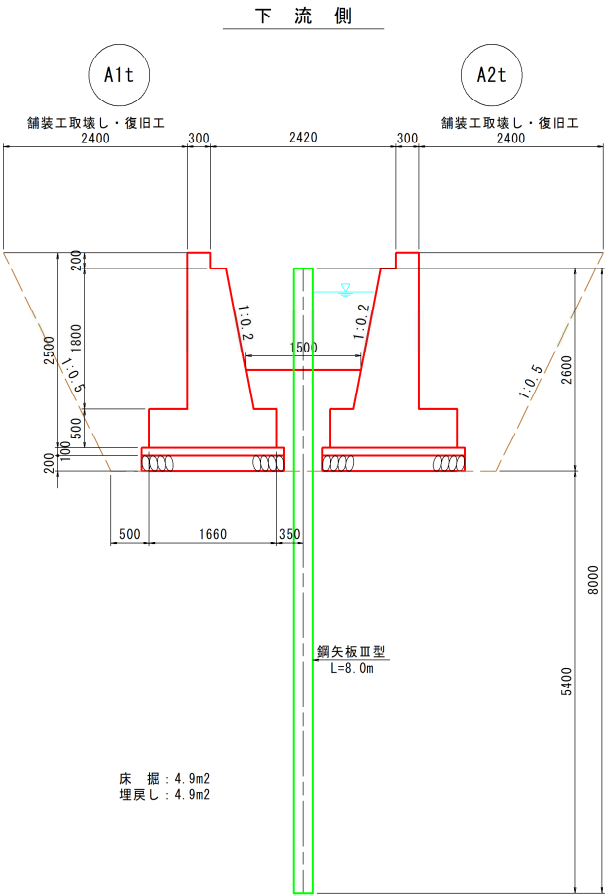
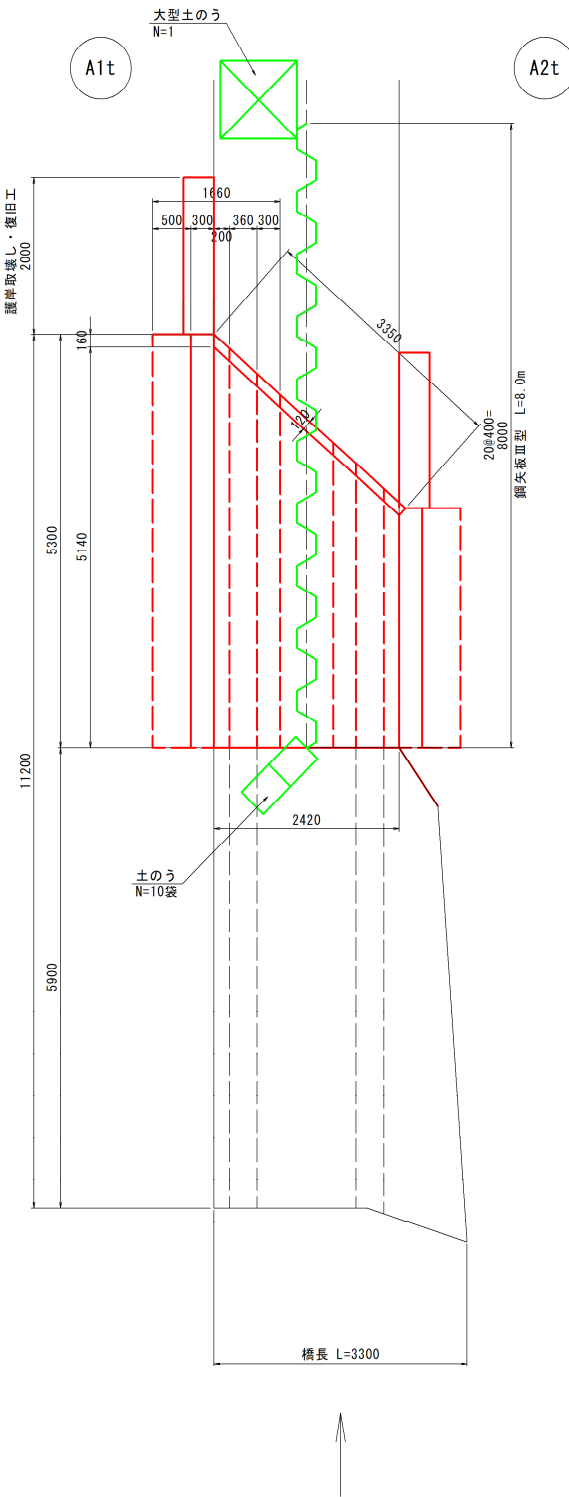


※ 構造寸法は推定である為、現地確認の上
取壊し、復旧をすること。

源四郎橋仮設図(1) S=1:50
A1橋台施工時

平面図

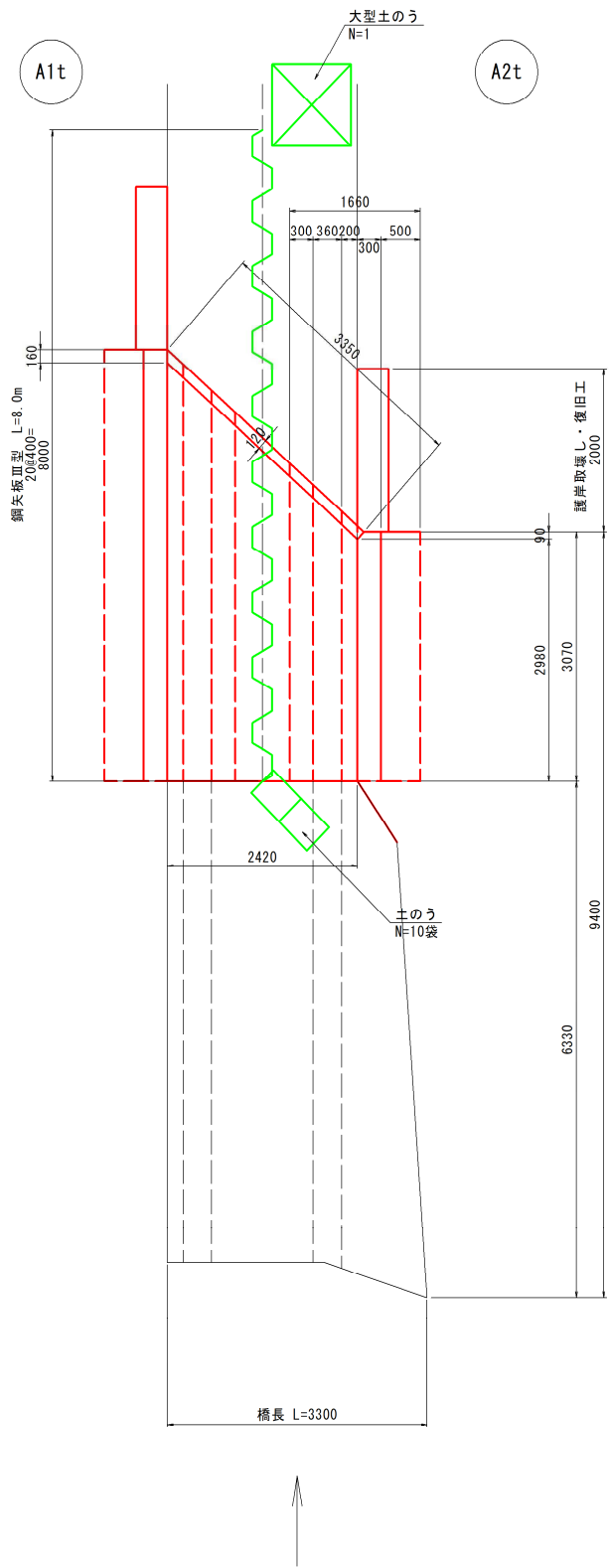
断面図



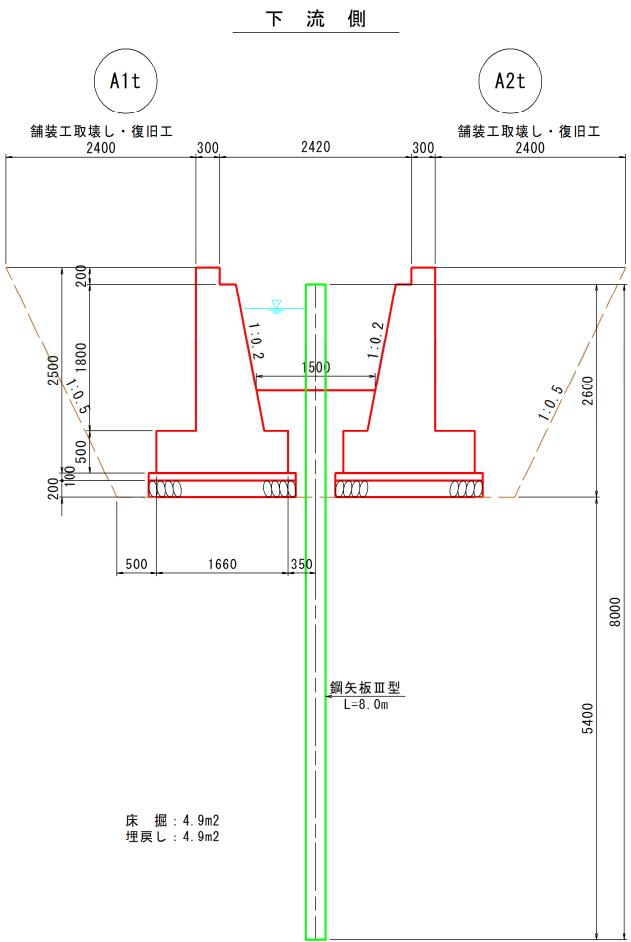
源四郎橋仮設図(2)
A2橋台施工時

S=1:50

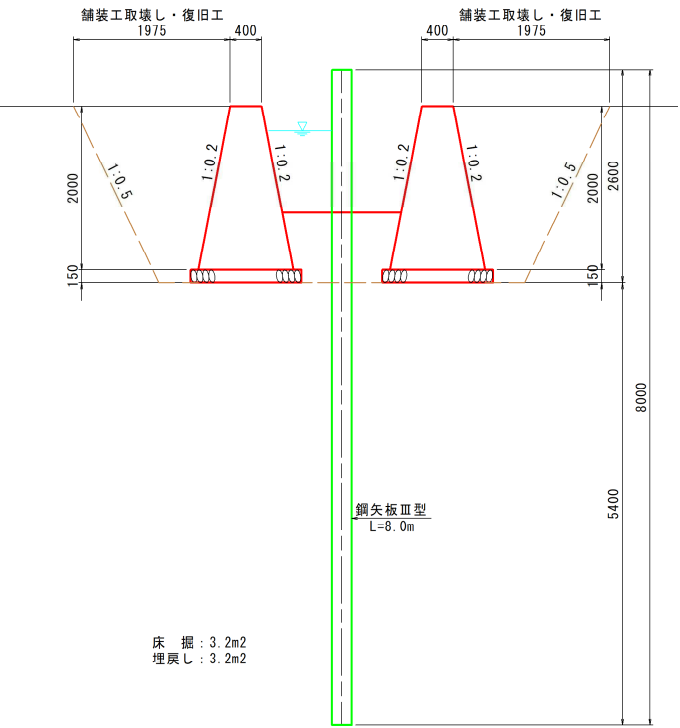
平面図



断面図



護岸工
GW19

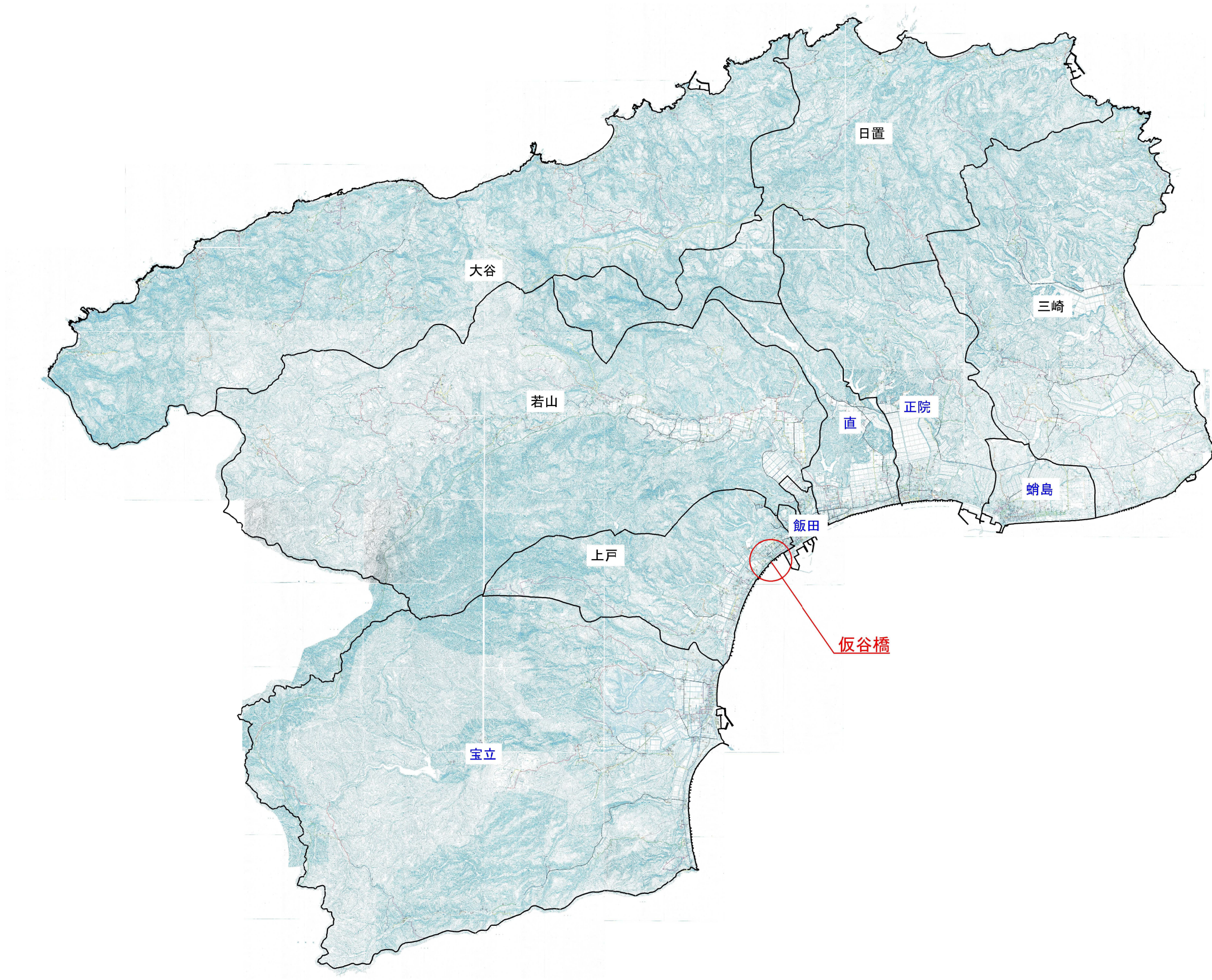


工事発注図面

6災4051号 市道740号線 仮谷橋

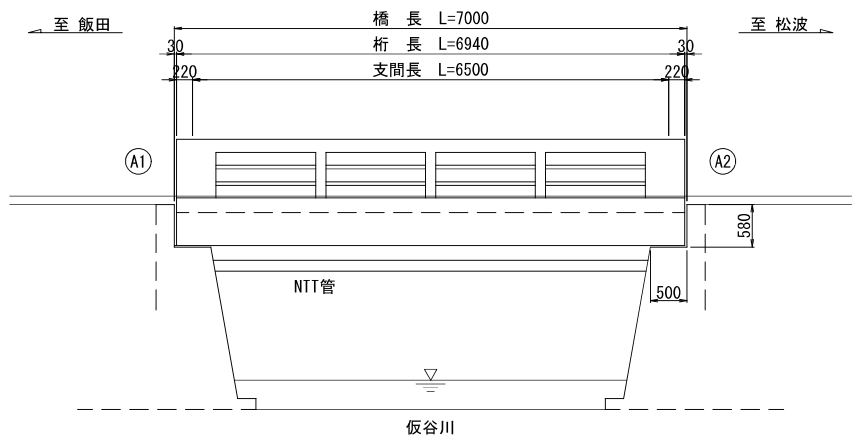
位置図

S=1:40000

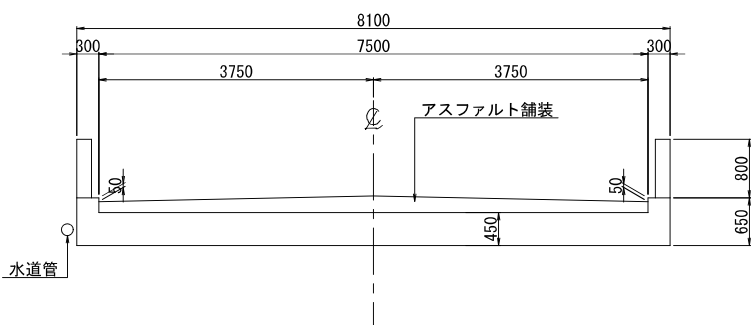


仮谷橋 現況一般図

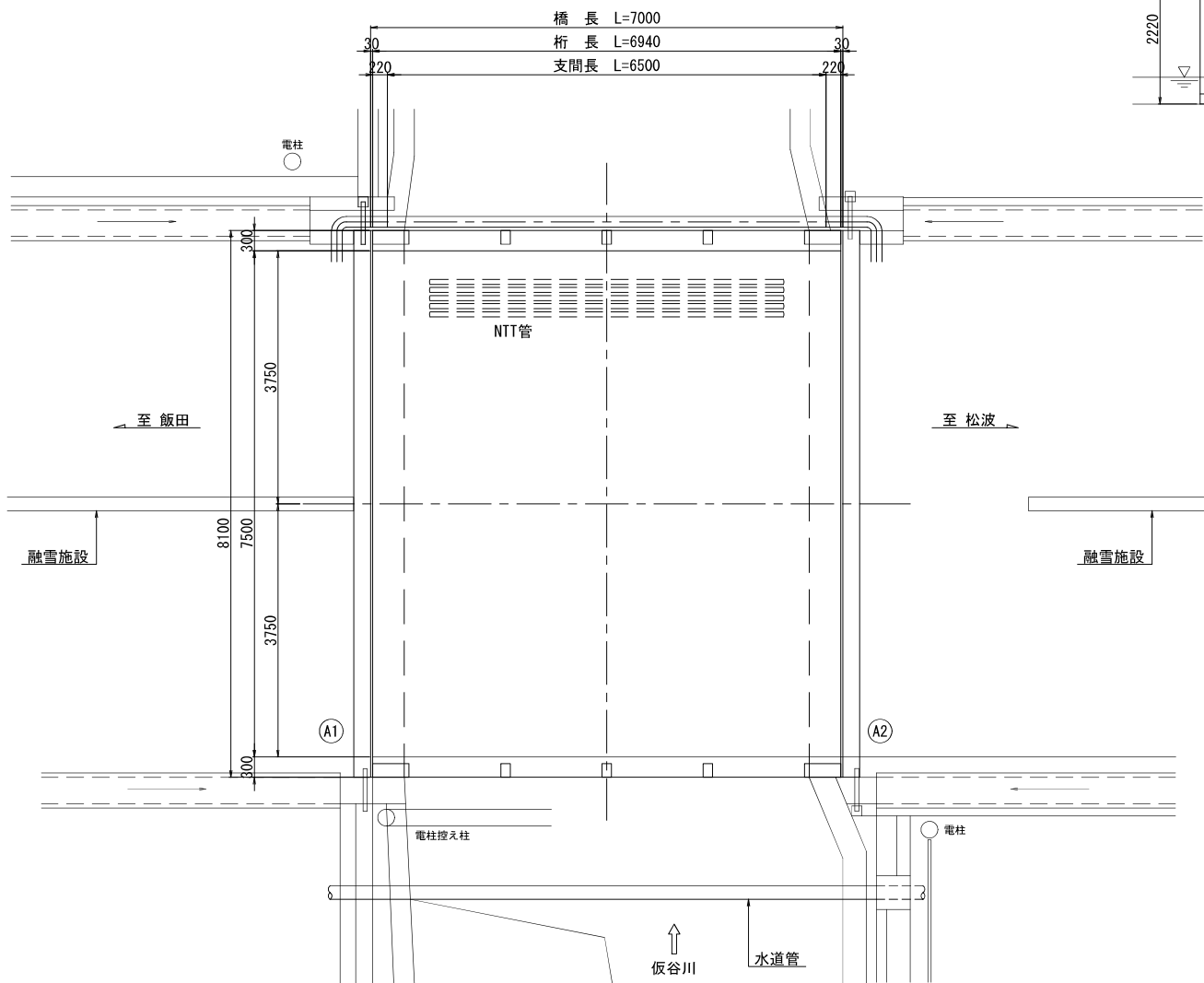
側面図 S=1:50



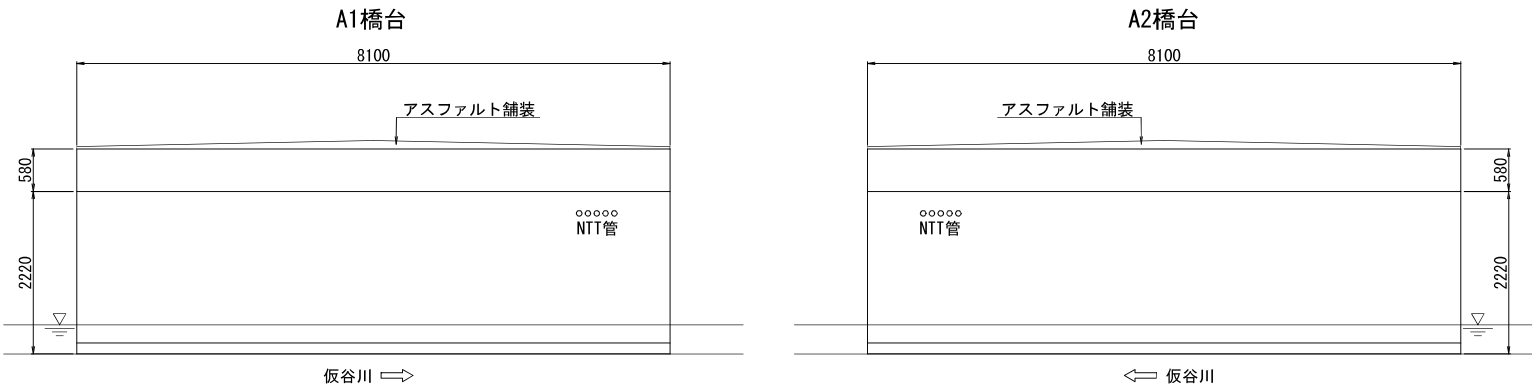
断面図 S=1:50



平面図 S=1:50



下部工正面図 S=1:50



橋梁諸元

橋梁名	仮谷橋（かりやばし）
路線名	市道740号線
所在地	珠州市上戸町北方
橋長	7.0m
全幅員	8.1m
有効幅員	7.5m
径間数	1径間
設計基準	昭和39年 鉄筋コンクリート道路橋設計示方書
設計荷重	不明
型式	上部工 RC中実床版
	躯体：重力式橋台 基礎：直接基礎
交差物件	普通河川 仮谷川
供用年月	1967年

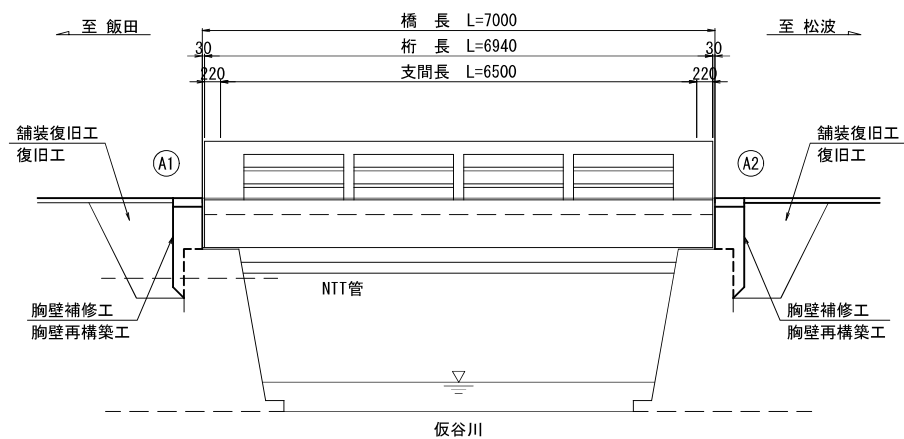


注記)
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

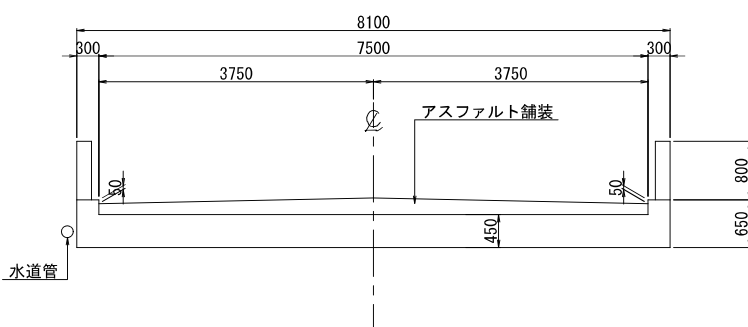
令和	年度
工 事 名	
路 線 名	市道740号線
箇 所	珠州市上戸町北方
図 面	仮谷橋 現況一般図
縮 尺	図 示
図面番号	1 / 16 枚の内
珠 洲 市	

仮谷橋 補修一般図

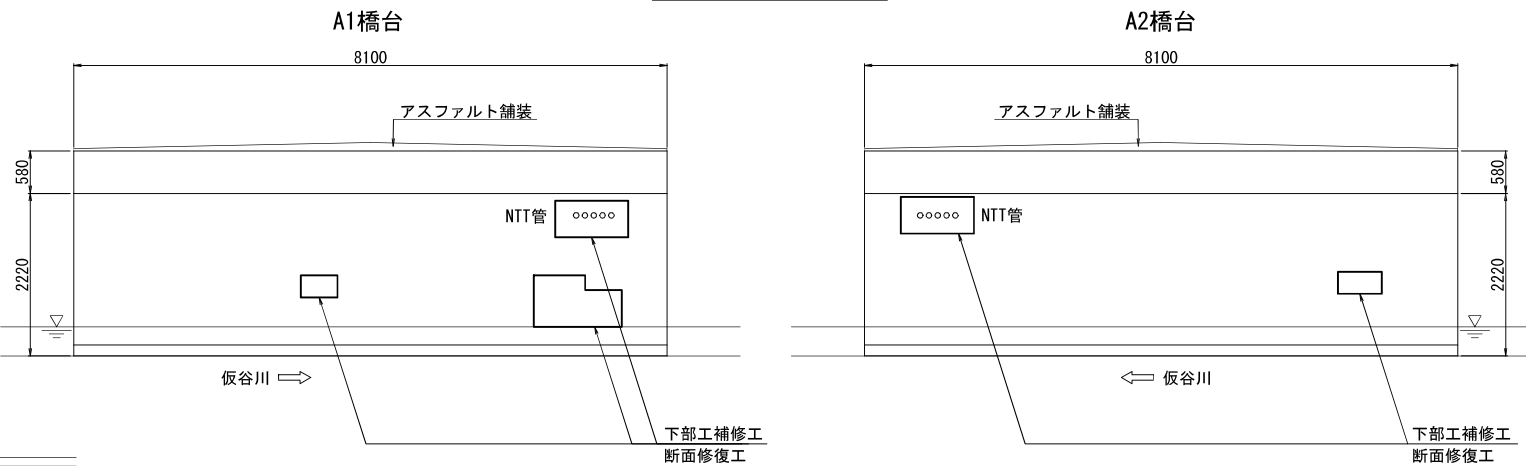
側面図 S=1:50



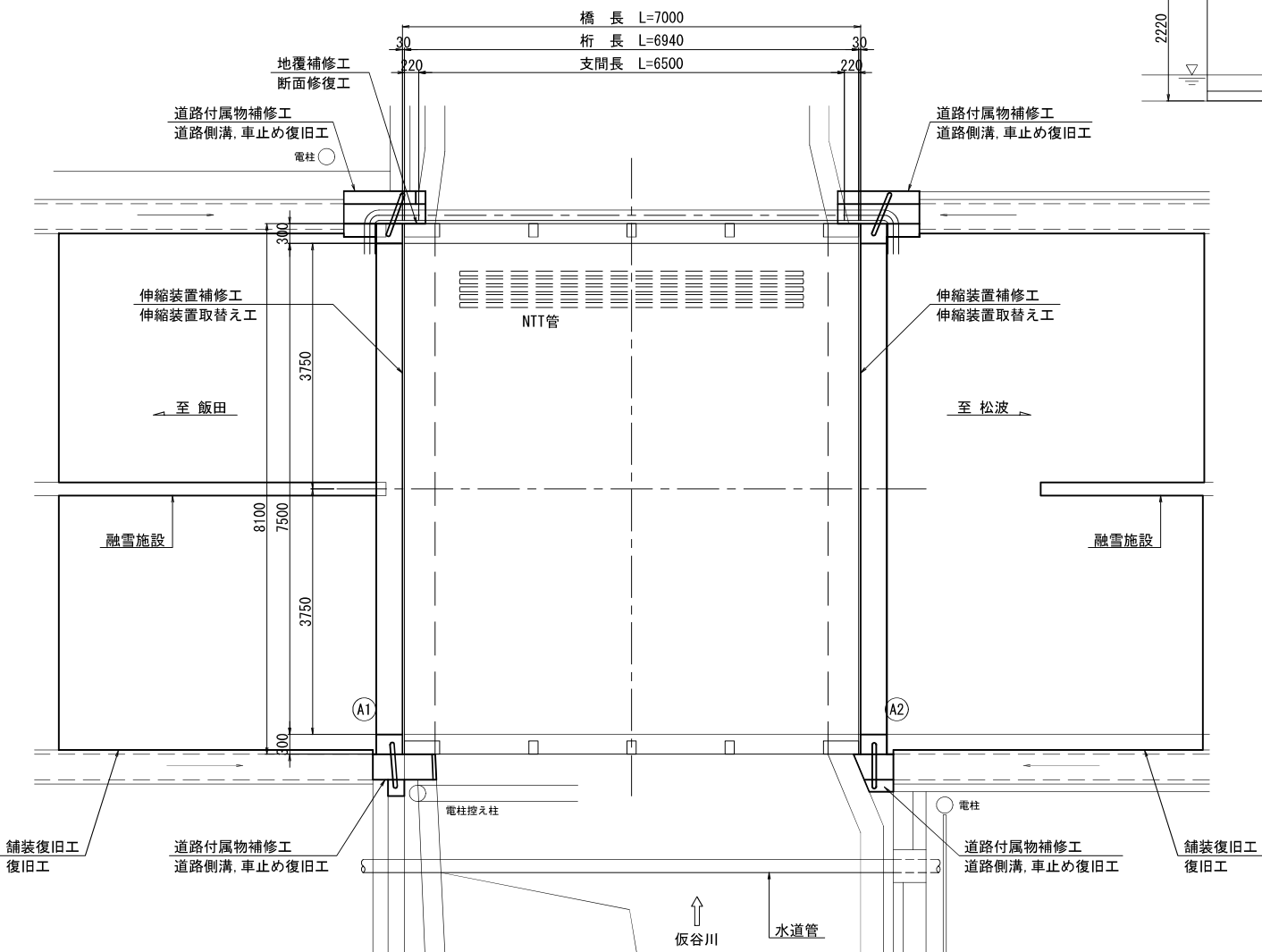
断面図 S=1:50



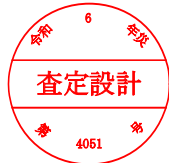
下部工正面図 S=1:50



平面図 S=1:50



補修項目	補修工法
下部工補修工	断面修復工（左官工法：ポリマーセメントモルタル） 断面修復工（型枠・充填工法）
胸壁補修工	胸壁再構築工：A1、A2胸壁
地覆補修工	断面修復工（左官工法：ポリマーセメントモルタル）
伸縮装置補修工	伸縮装置取替え工：A1、A2伸縮装置
舗装復旧工	復旧工（胸壁再構築に伴う橋台背面範囲）
道路付属物補修工	道路側溝、車止め復旧工



注記）
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

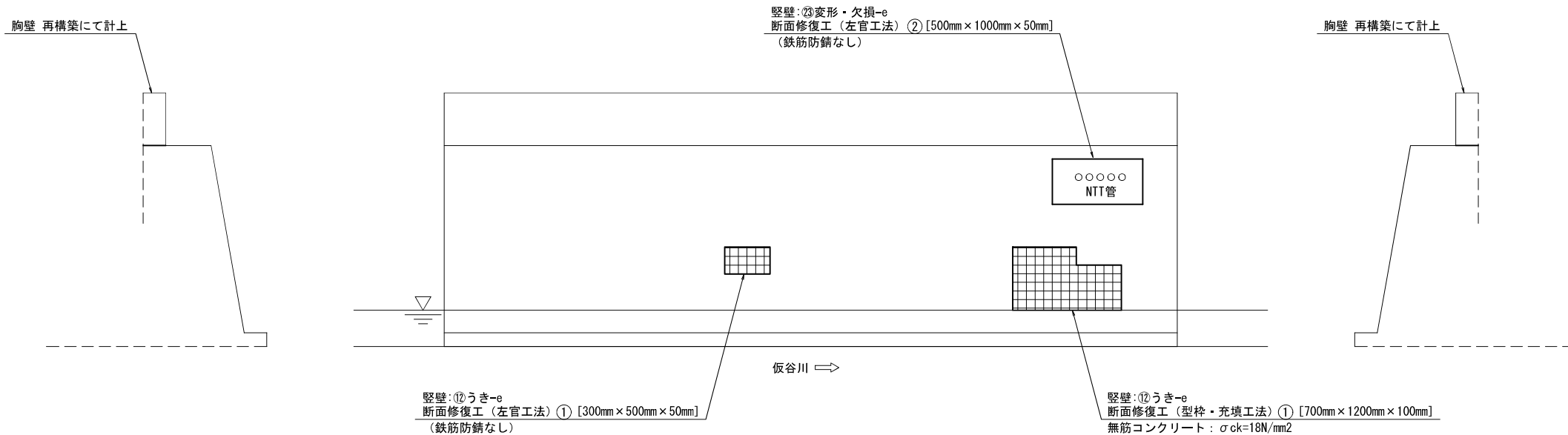
令和	年度
工事名	
路線名	市道740号線
箇所	珠州市上戸町北方
図面	仮谷橋 補修一般図
縮尺	図示
図面番号	2 / 16 枚の内
珠	洲
市	

仮谷橋 下部工補修図(その1)

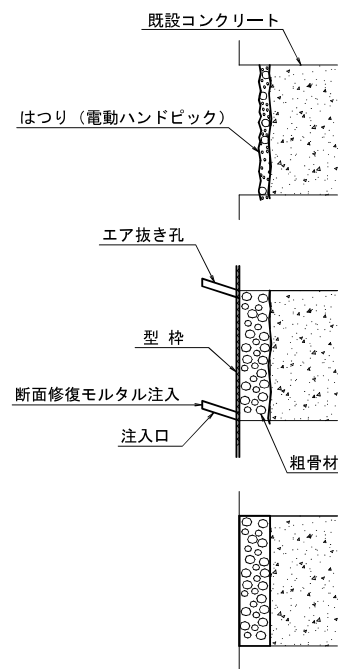
A1橋台 S=1:30

損傷の凡例

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		うき	
剥離		漏水	
剥離・鉄筋露出		その他	
遊離石灰			



断面修復工(型枠・充填工法)

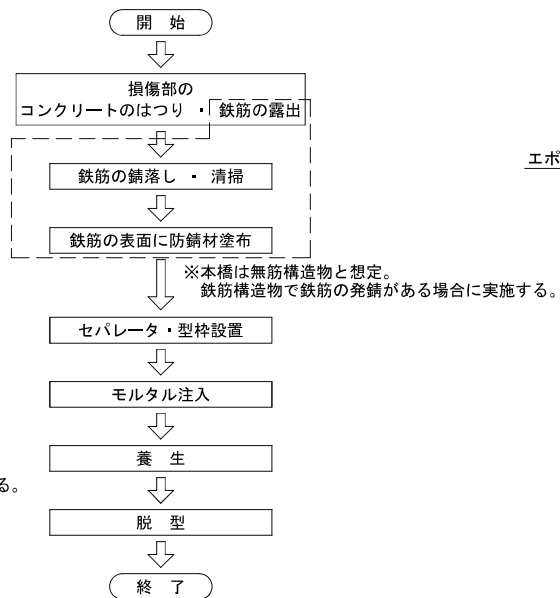


STEP.1 現況表面をはつり
脆弱部をハンドピックではつり取っていく。

STEP.2 セパレータ・型枠設置・モルタル注入
塗布厚が厚く広範囲のため、型枠充填工法とする。

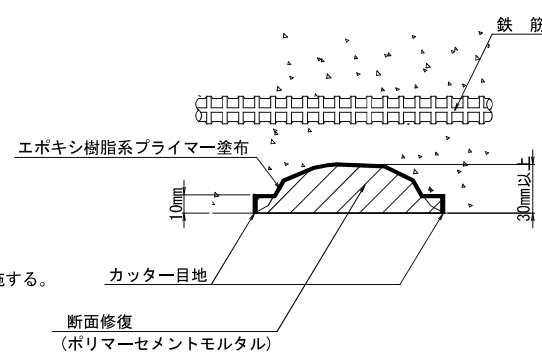
STEP.3 型枠脱型
現場養生の供試体強度で確認した後、型枠を脱型する。

施工フロー

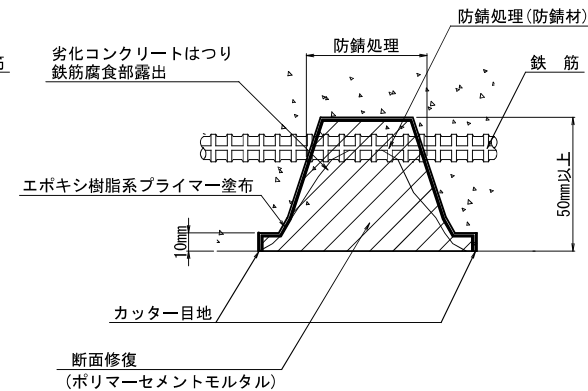


断面修復工

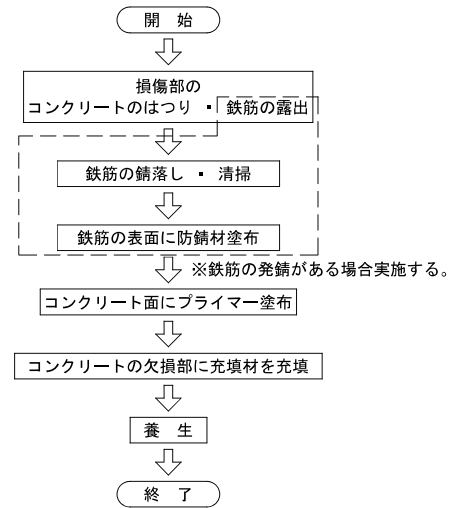
剥離(鉄筋防錆なし)



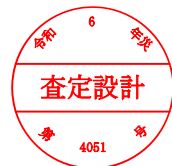
剥離・鉄筋露出、うき(鉄筋防錆あり)



施工フロー



- 注記)
- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 - 補修事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 - 本図以外の箇所と同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。
 - 断面修復工箇所の周辺でうきの有無を確認し、うきの有無、範囲に応じて補修範囲を拡げること。
 - コンクリートの脆弱部は確実にはつり落とし、断面修復を行うこと。
はつりは最低30mm以上は行うこと。
 - 本橋下部工の補修対象箇所は無筋構造物と想定しているが、鉄筋の有無を確認すること。
鉄筋構造物の場合のカッター及びはつり作業時は、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。



令和	年度
工 事 名	
路 線 名	市道740号線
箇 所	珠洲市上戸町北方
図 面	仮谷橋 下部工補修図(その1)
縮 尺	図 示
図面番号	3 / 16 枚の内
珠	洲 市

仮谷橋 下部工補修図(その2)

A2橋台 S=1:30

損傷の凡例

損傷の種類	表 示	損傷の種類	表 示
ひびわれ		うき	
剥離		漏水	
剥離・鉄筋露出		その他	
遊離石灰			

胸壁 再構築にて計上

胸壁 再構築にて計上

NTT管

仮谷川

縦壁:②3変形・欠損-e
断面修復工(左官工法)① [400mm×800mm×100mm]
(鉄筋防錆なし)

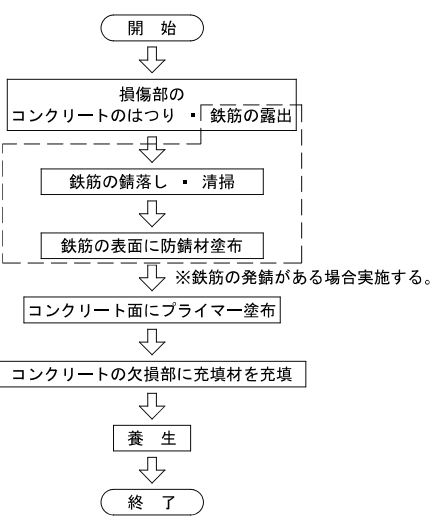
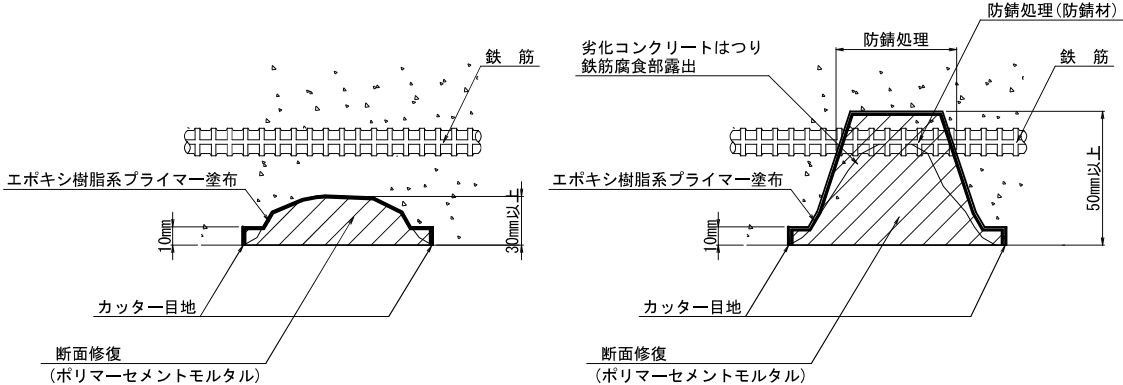
縦壁:②3変形・欠損-e
断面修復工(左官工法)② [600mm×300mm×50mm]
(鉄筋防錆なし)

断面修復工

剥離(鉄筋防錆なし)

剥離・鉄筋露出、うき(鉄筋防錆あり)

施工フロー



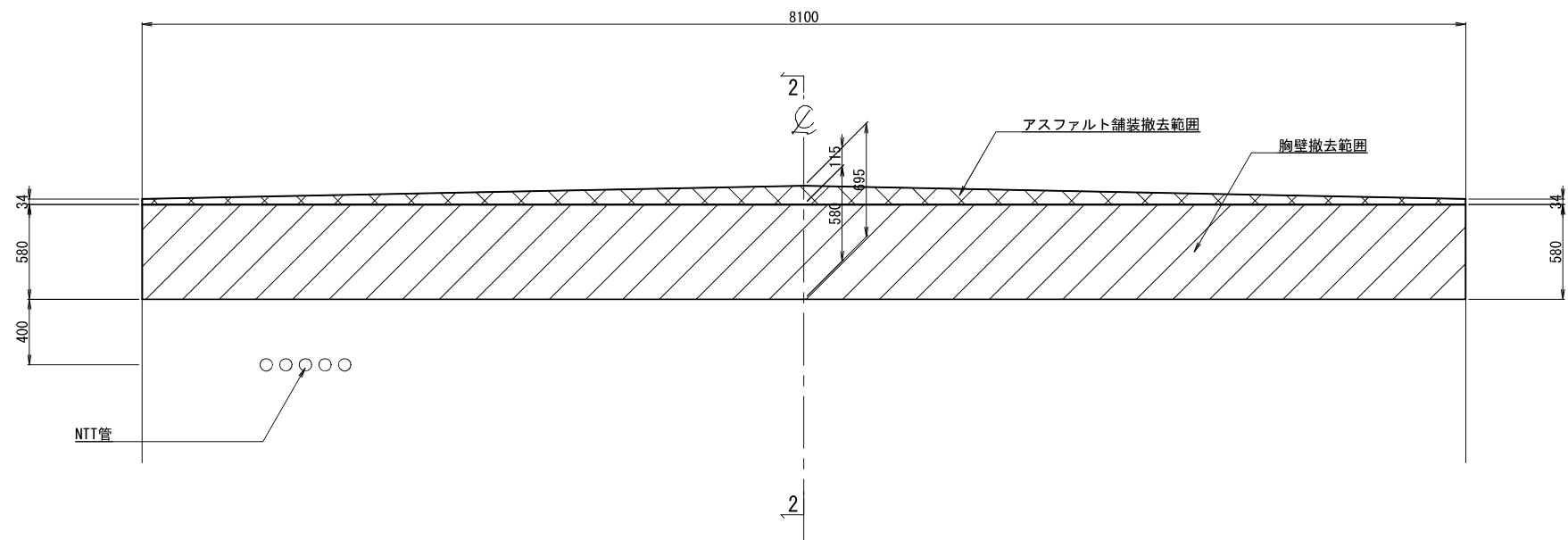
- 注記)
- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 - 補修事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 - 本図以外の箇所と同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。
 - 断面修復工箇所の周辺でうきの有無を確認し、うきの有無、範囲に応じて補修範囲を拡げること。
 - コンクリートの脆弱部は確実にはつり落とし、断面修復を行うこと。
はつりは最低30mm以上は行うこと。
 - 本橋下部工の補修対象箇所は無筋構造物と想定しているが、鉄筋の有無を確認すること。
鉄筋構造物の場合のカッター及びはつり作業時は、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。

令和	年度
工 事 名	
路 線 名	市道740号線
箇 所	珠州市上戸町北方
図 面	仮谷橋 下部工補修図(その2)
縮 尺	図 示
図面番号	4 / 16 枚の内
珠 洲 市	

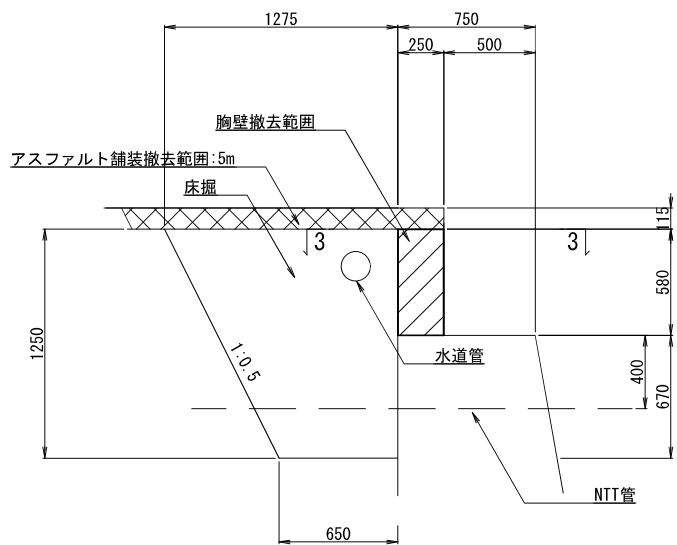
仮谷橋 A1橋台胸壁再構築図(その1) S=1:20

既設胸壁撤去図

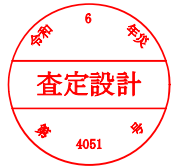
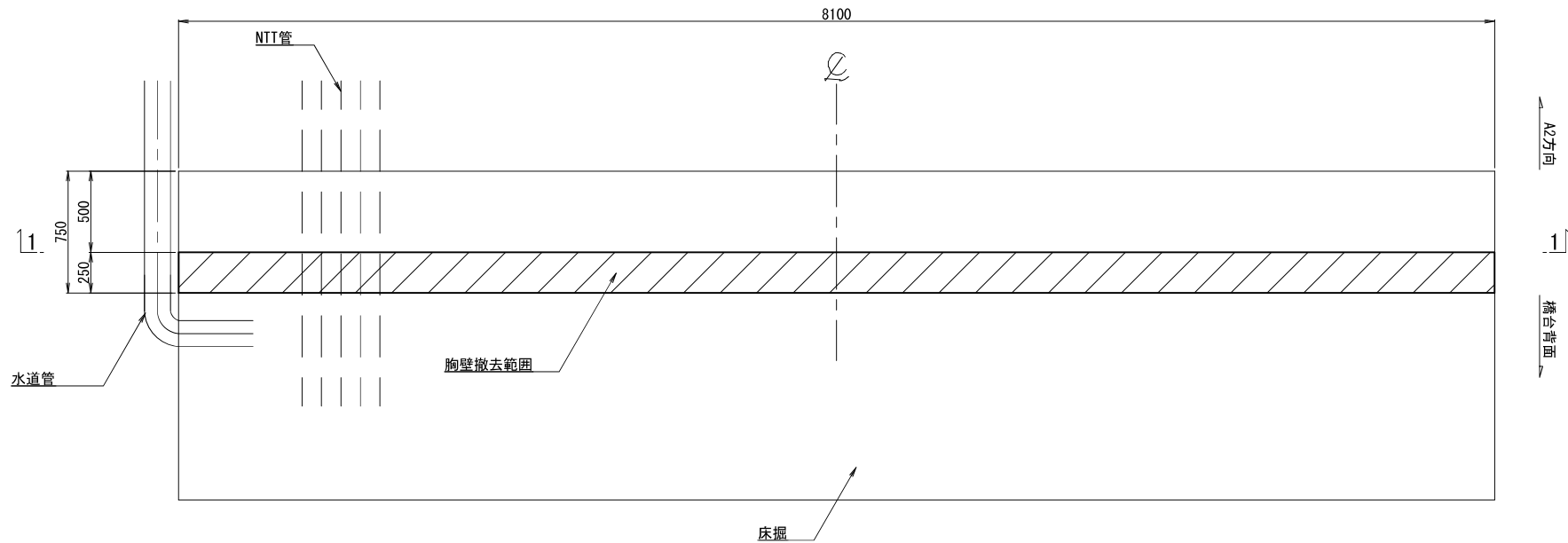
1 - 1



2 - 2



3 - 3

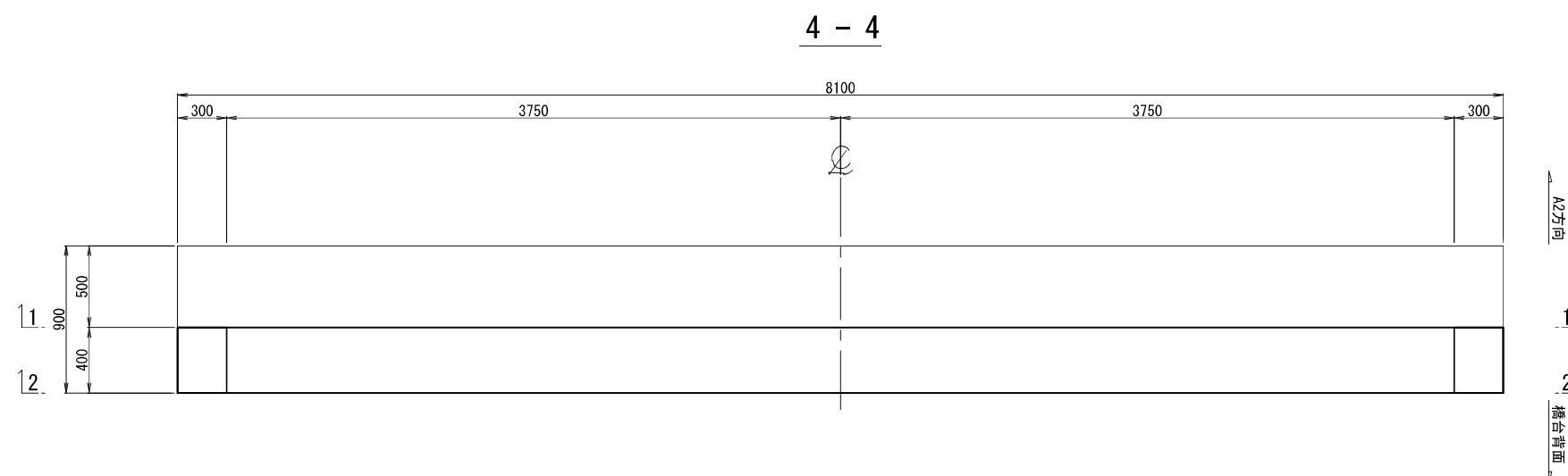
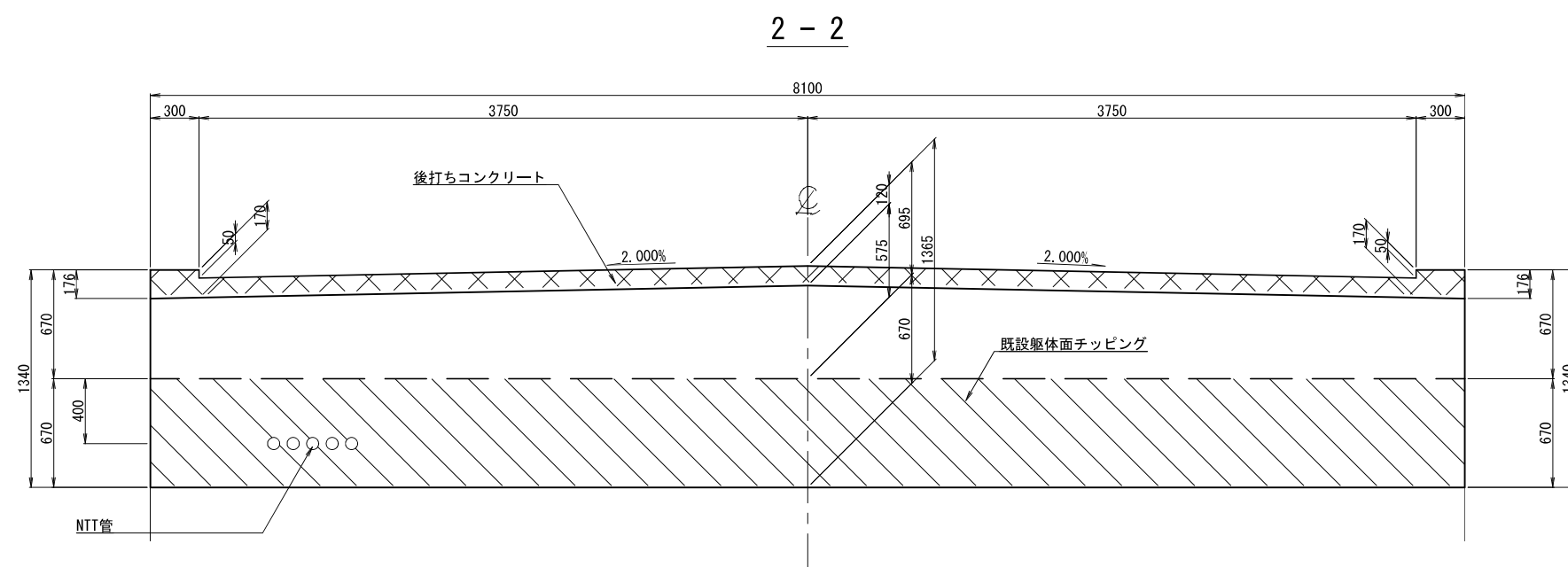
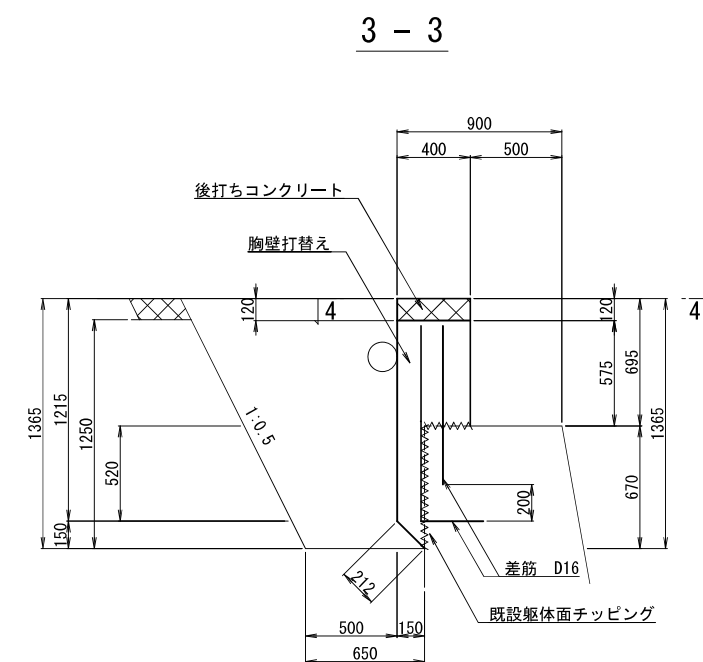
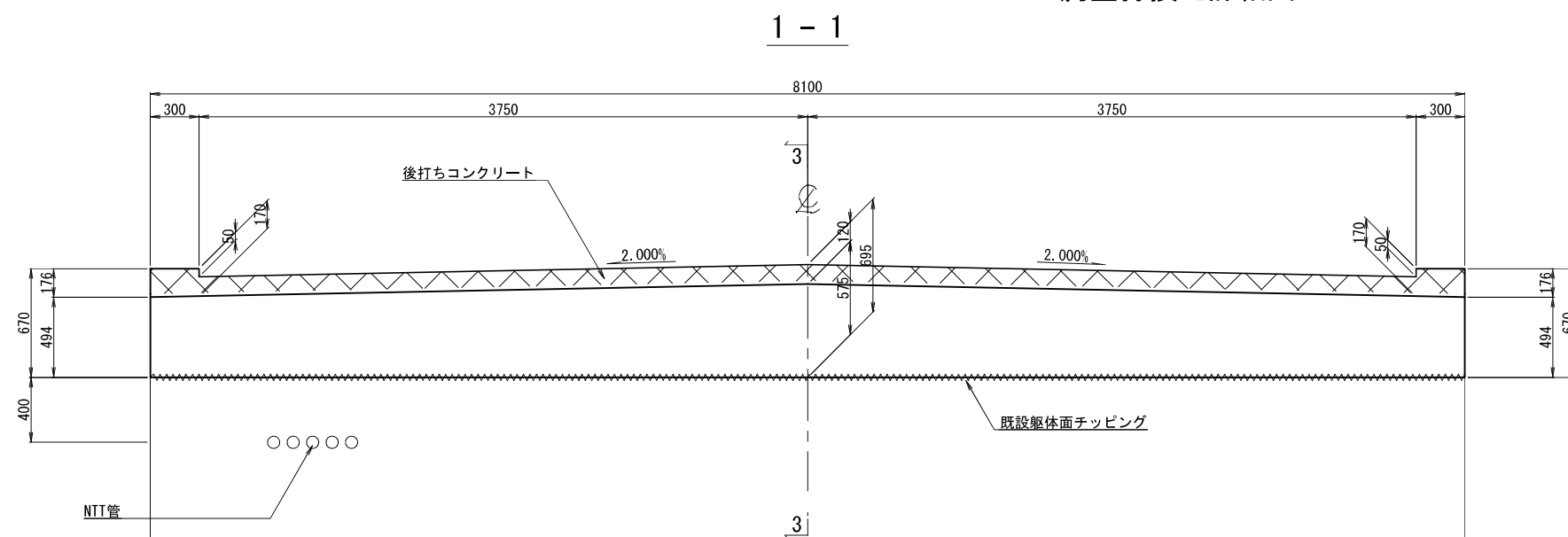


- 注記)
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 3. 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
 4. 添架管に十分留意して撤去を行うこと。

令和 年度		
工 事 名		
路 線 名	市道740号線	
箇 所	珠洲市上戸町北方	
図 面	仮谷橋 A1橋台胸壁再構築図(その1)	
縮 尺	図 示	
図面番号	5 / 16 枚の内	
珠 洲 市		

仮谷橋 A1橋台胸壁再構築図(その2) S=1:20

胸壁打換え詳細図

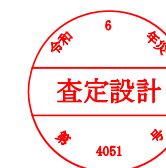


使用材料一覽表

使用区分	コンクリート設計基準強度	鉄筋種別
軀 体	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	SD345
後打ちコンクリート	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	—

注記)

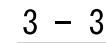
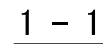
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
4. 添架管に十分留意して撤去を行うこと。



令和	年度	
工 事 名		
路 線 名	市道740号線	
箇 所	珠洲市上戸町北方	
図 面	仮谷橋 A1橋台胸壁再構築図(その2)	
縮 尺	図 示	
図面番号	6 / 16 枚の内	
珠 洲 市		

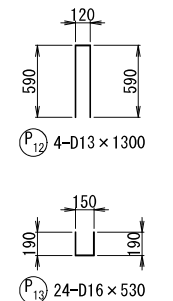
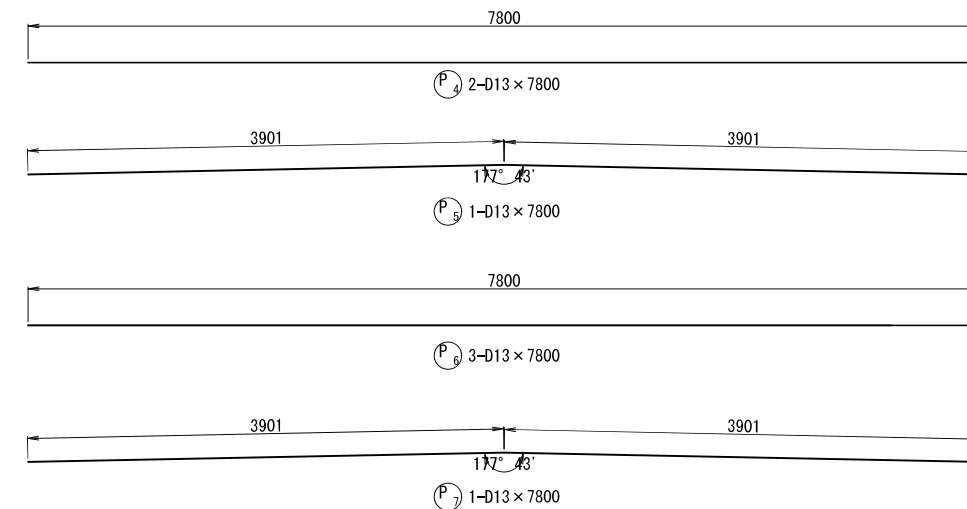
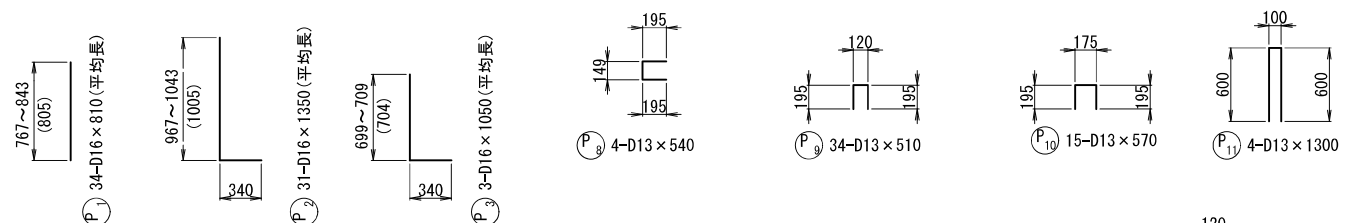
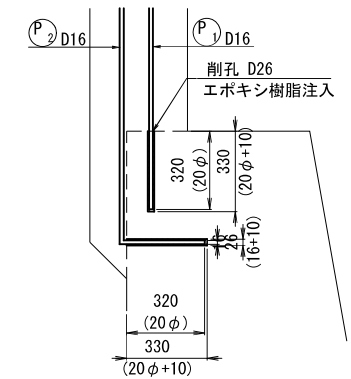
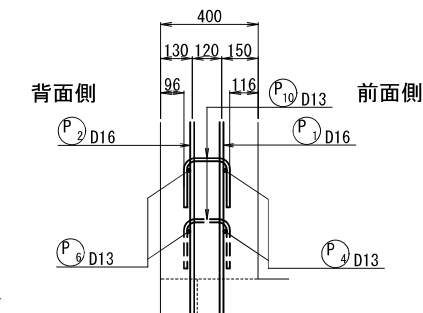
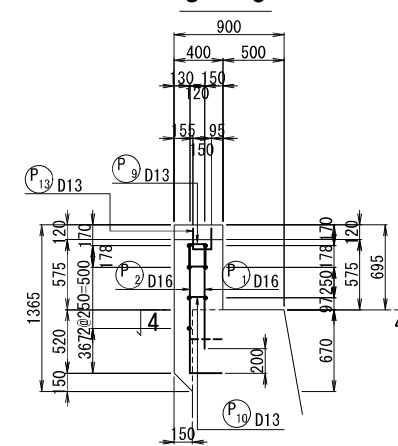
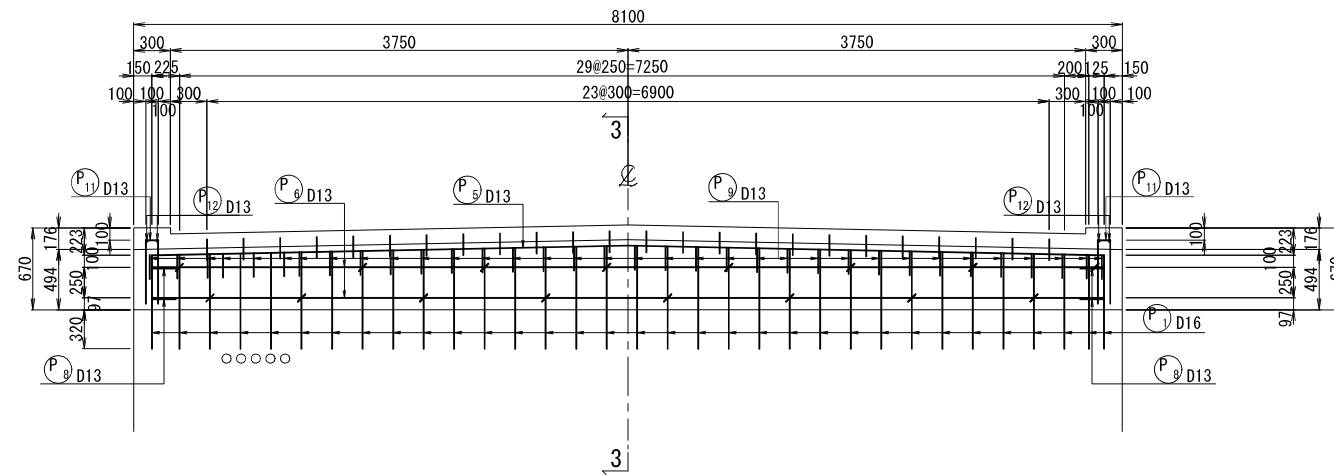
仮谷橋 A1橋台胸壁再構築図(その3) S=1:30

配筋図

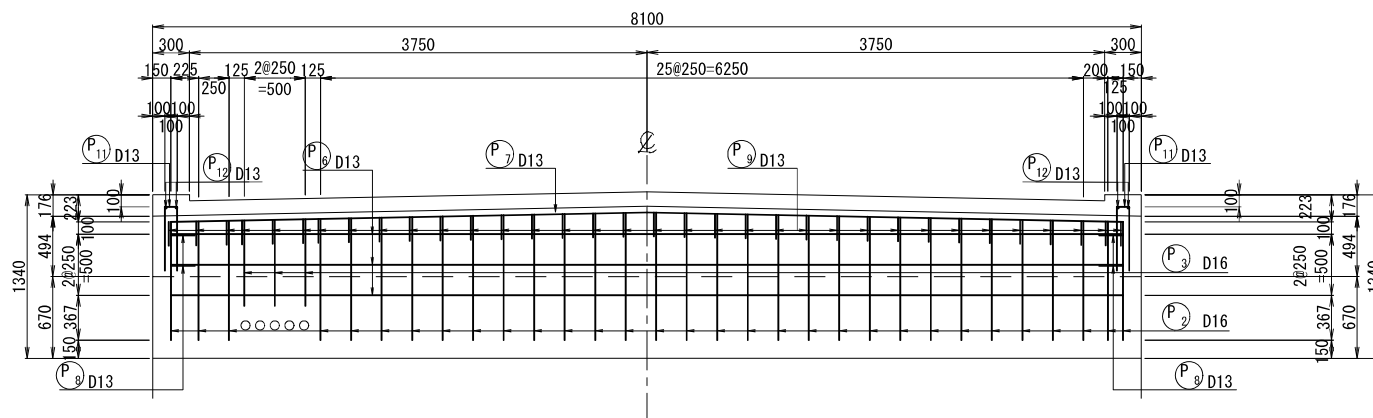


パラペットかぶり詳細図 S=1:10

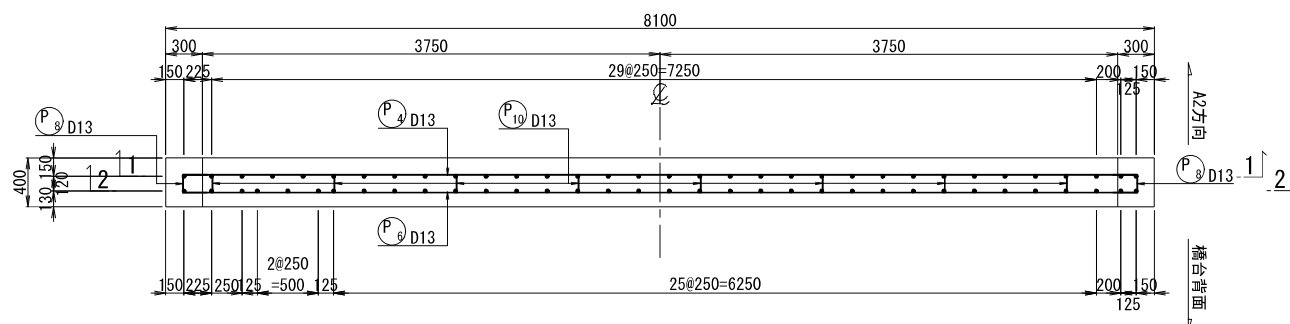
パラペット鉄筋定着詳細図 S=1:10



2 - 2



4 - 4



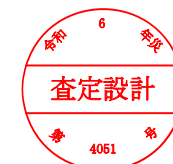
鉄筋表

[illegible]

注記)

1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
4. NTT管付近でのコンクリート削削の際には、十分に留意すること。
5. エポキシ樹脂脂塗装鉄筋を使用し、扱いには十分に留意すること。

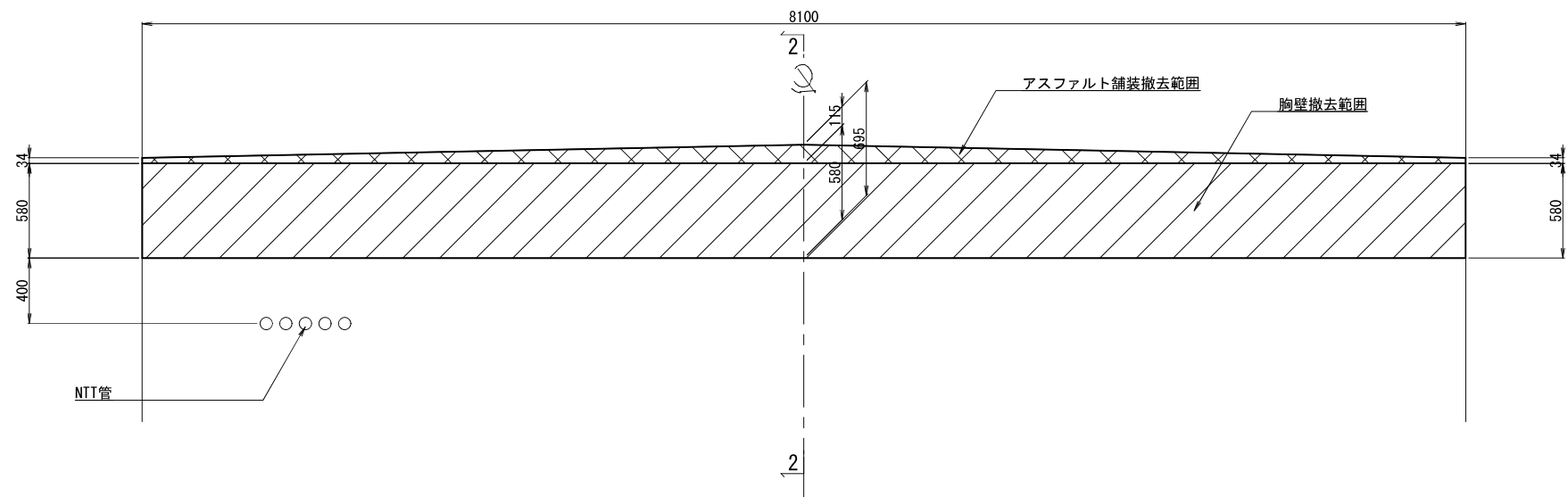
令和	年度
工 事 名	
路 線 名	市道740号線
箇 所	珠洲市上戸町北方
図 面	仮谷橋 A1橋台胸壁再構築図(その3)
縮 尺	図 示
図面番号	7 / 16 枚の内
珠	洲 市



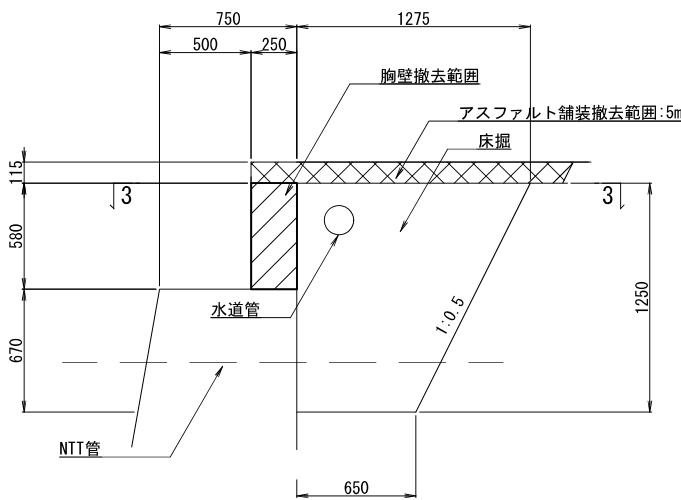
仮谷橋 A2橋台胸壁再構築図(その1) S=1:20

既設胸壁撤去図

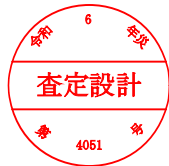
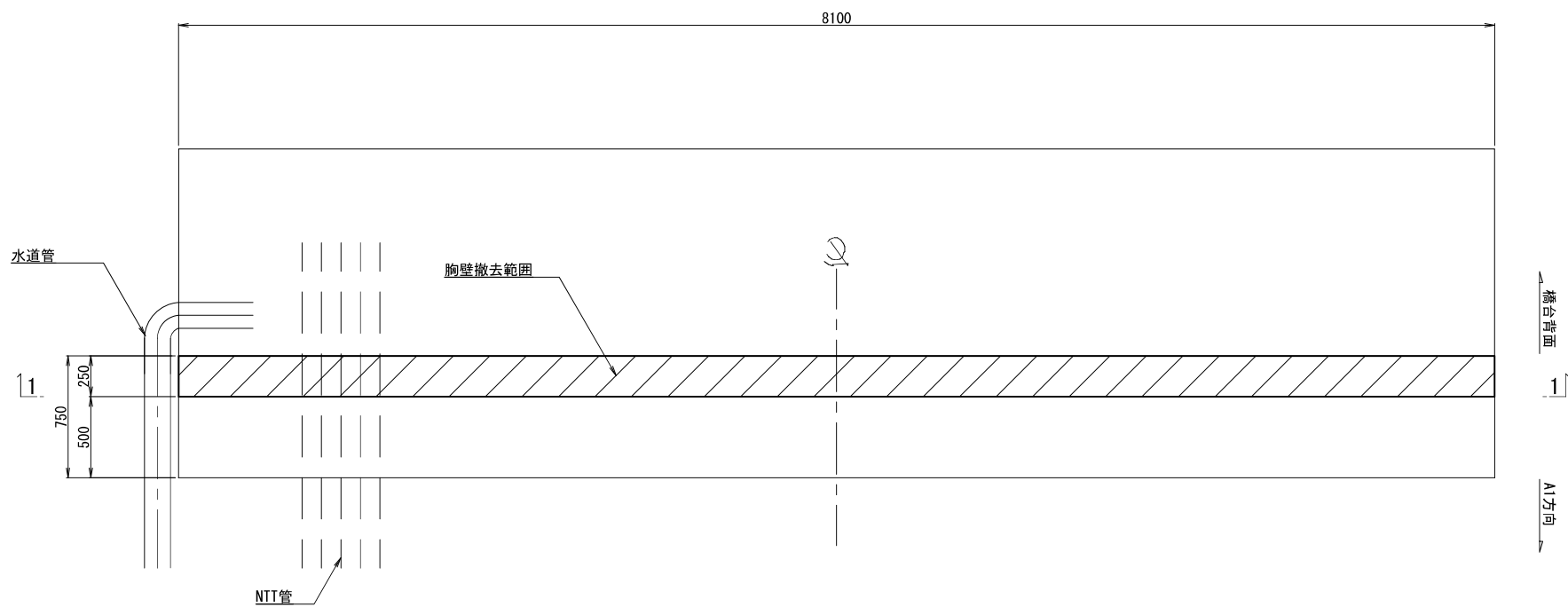
1 - 1



2 - 2



3 - 3



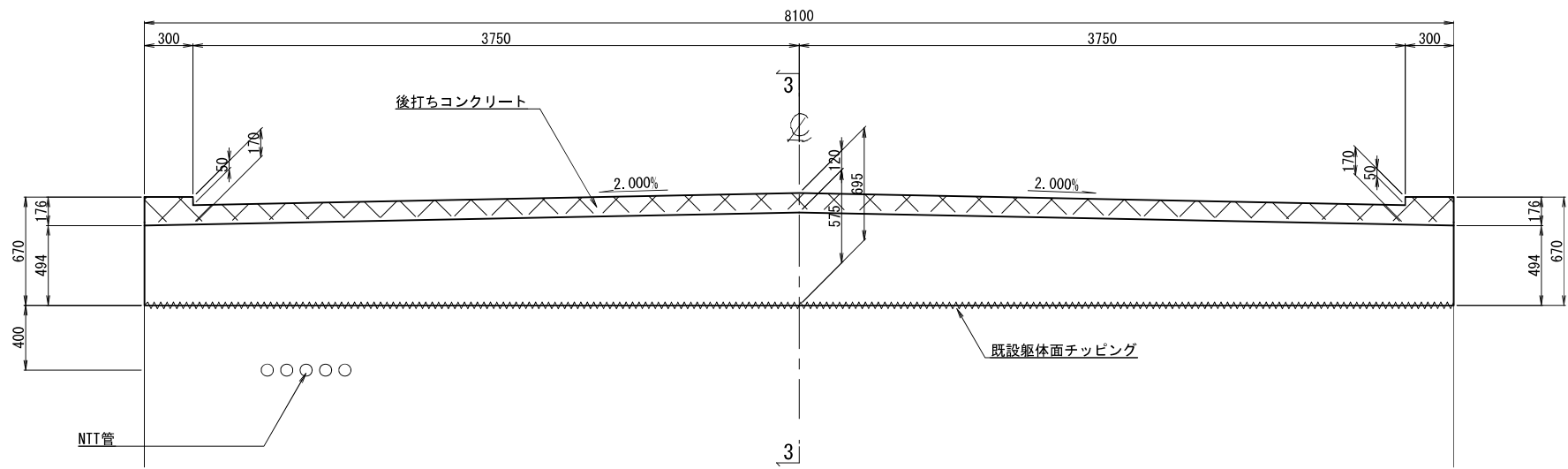
- 注記)
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 3. 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
 4. 添架管に十分留意して撤去を行うこと。

令和	年度
工事名	市道740号線
路線名	市道740号線
箇所	珠州市上戸町北方
図面	仮谷橋 A2橋台胸壁再構築図(その1)
縮尺	図示
図面番号	8 / 16 枚の内
珠 洲 市	

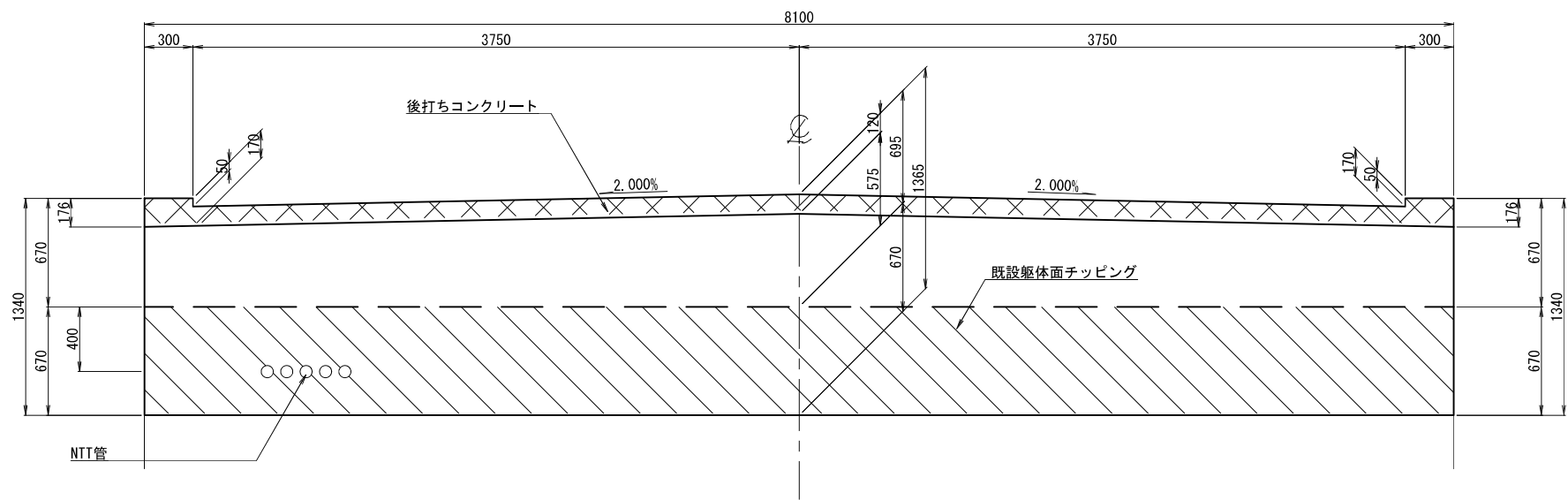
仮谷橋 A2橋台胸壁再構築図(その2) S=1:20

胸壁打換え詳細図

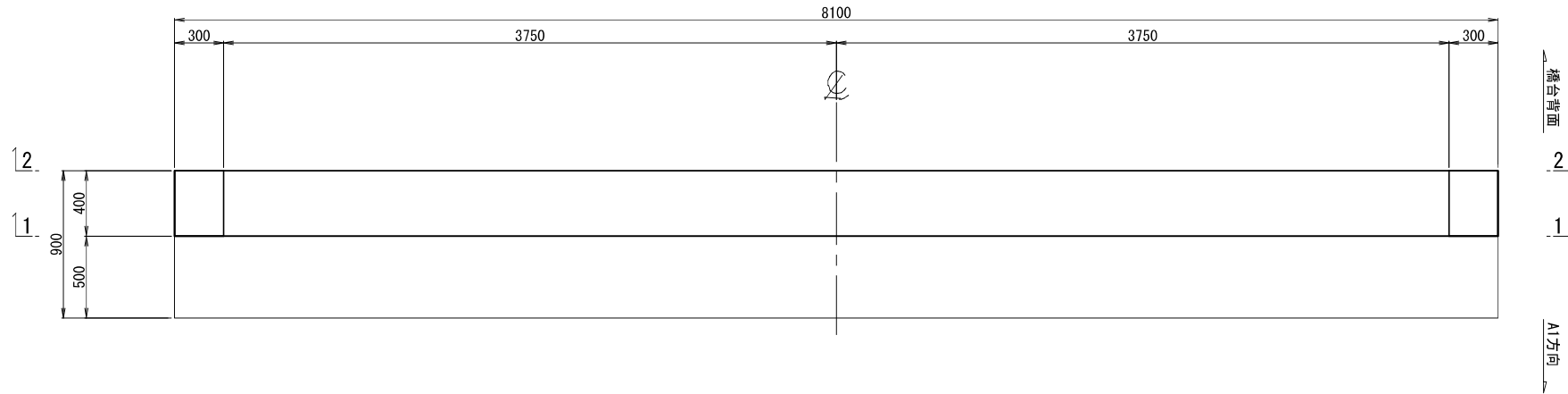
1 - 1



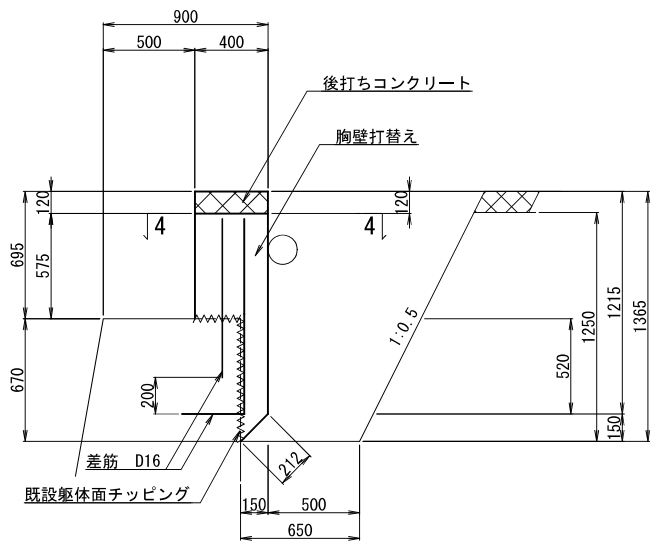
2 - 2



4 - 4



3 - 3



使用材料一覧表

使用区分	コンクリート設計基準強度	鉄筋種別
躯体	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	SD345
後打ちコンクリート	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$	—

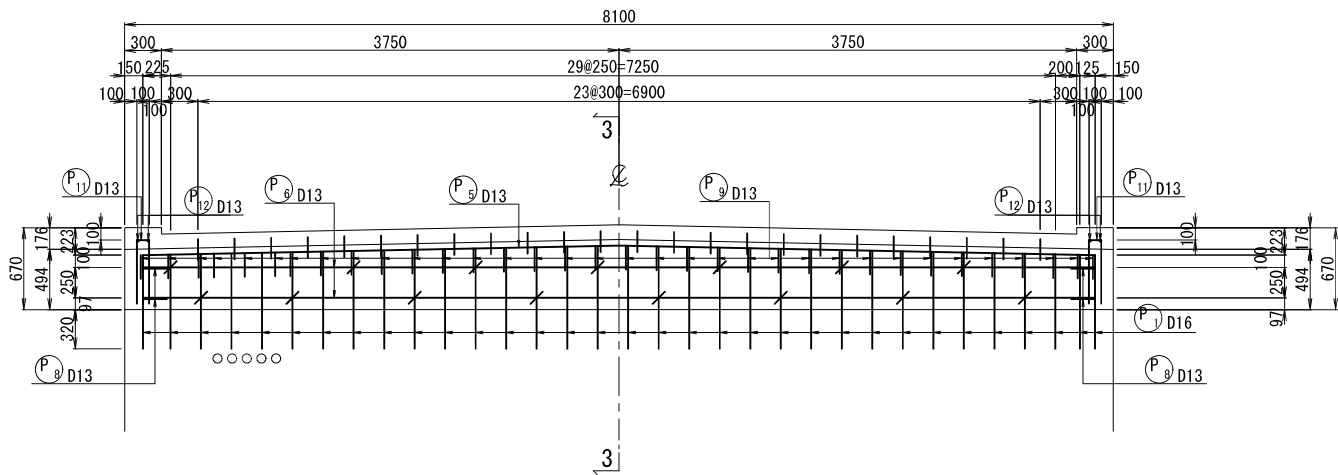
- 注記)
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 3. 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
 4. 添架管に十分留意して撤去を行うこと。

令和	年度	
工 事 名		
路 線 名	市道740号線	
箇 所	珠洲市上戸町北方	
図 面	仮谷橋 A2橋台胸壁再構築図(その2)	
縮 尺	図 示	
図面番号	9 / 16 枚の内	
珠	洲	市

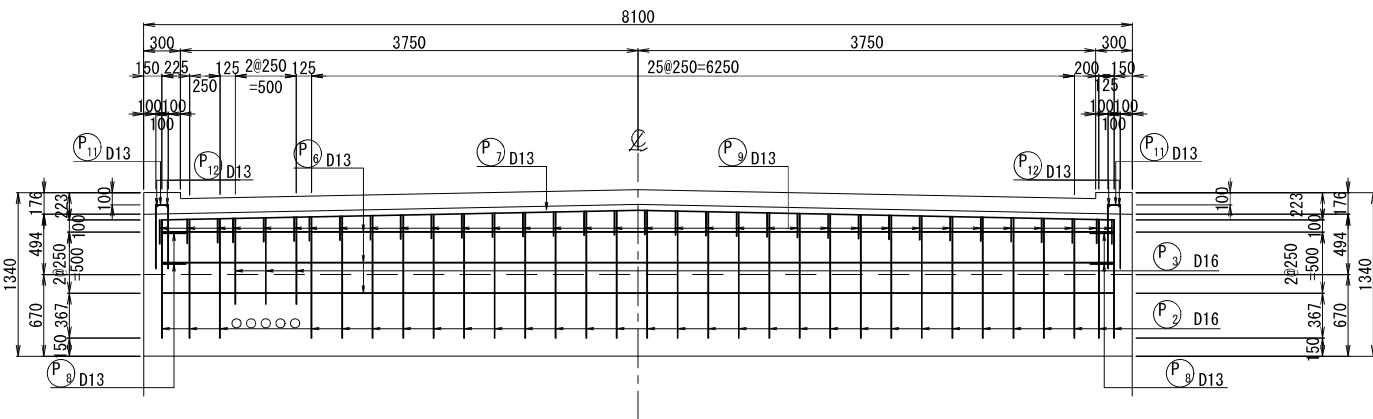
仮谷橋 A2橋台胸壁再構築図(その3) S=1:30

配筋図

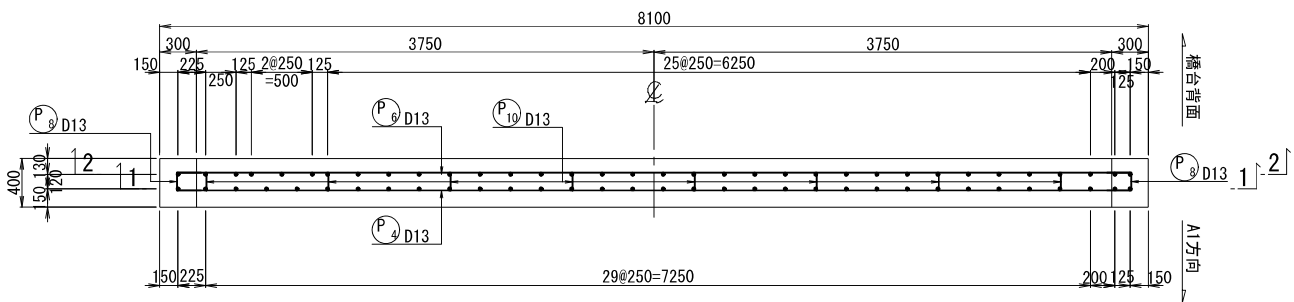
1 - 1



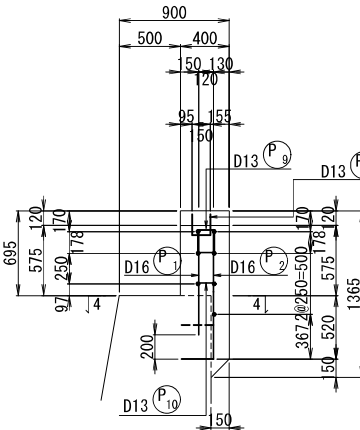
2 - 2



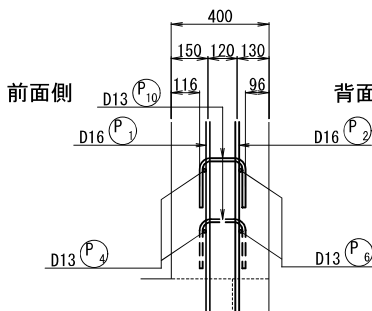
4 - 4



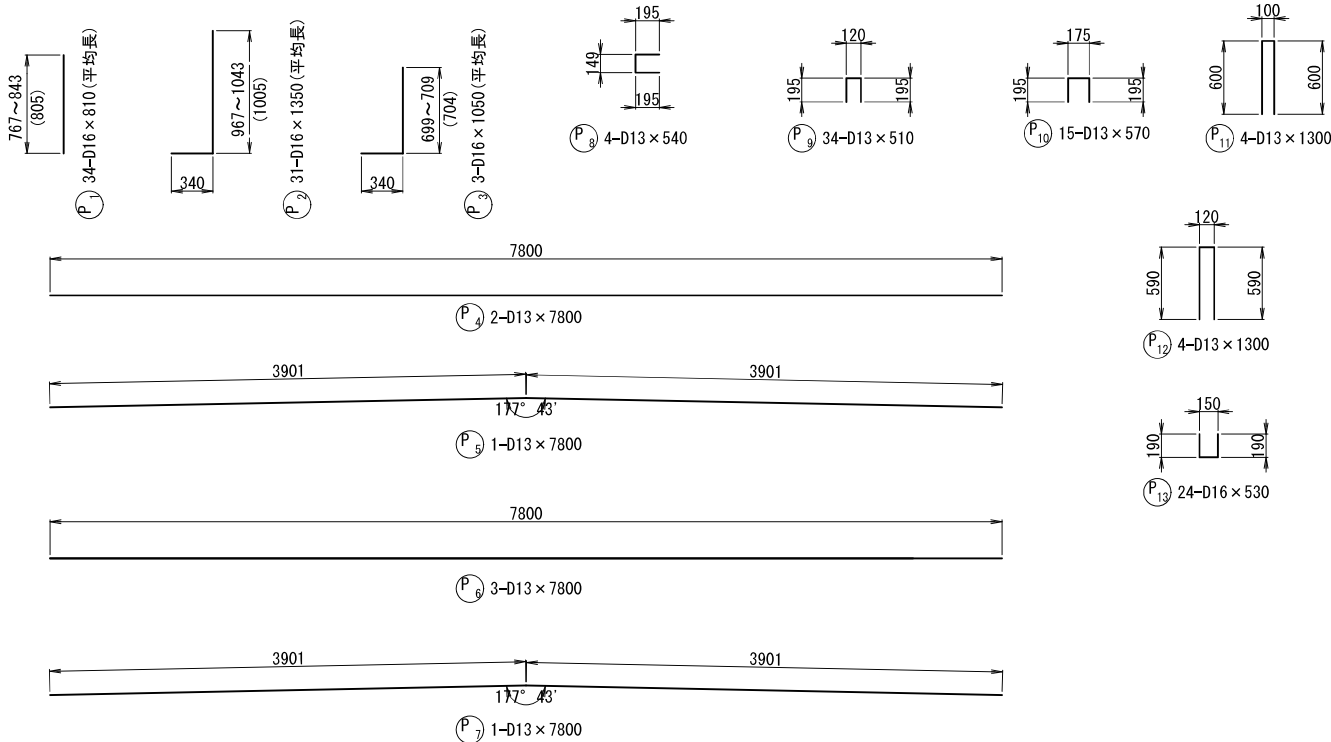
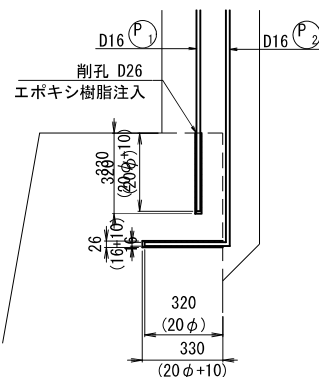
3 - 3



パラペットかぶり詳細図 S=1:10



パラペット鉄筋定着詳細図 S=1:10



鉄筋表

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
P1	D16	810	34	1.56	1.26	43	(平均長)
2	〃	1350	31	〃	2.11	65	(平均長)
3	〃	1050	3	〃	1.64	5	(平均長)
4	D13	7800	2	0.995	7.76	16	
5	〃	7800	1	〃	7.76	8	
6	〃	7800	3	〃	7.76	23	
7	〃	7800	1	〃	7.76	8	
8	〃	540	4	〃	0.54	2	
9	〃	510	34	〃	0.51	17	
10	〃	570	15	〃	0.57	9	
11	〃	1300	4	〃	1.29	5	
12	〃	1300	4	〃	1.29	5	
13	D16	530	24	1.56	0.83	20	
							226 kg
D16							133 kg
D13							93 kg
合計							266 kg

- 注記
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 3. 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
 4. NTT管付近でのコンクリート削孔の際には、十分に留意すること。
 5. エポキシ樹脂塗装鉄筋を使用し、扱いには十分に留意すること。



令和 年度	
工事名	市道740号線
路線名	市道740号線
箇所	珠洲市上戸町北方
図面	仮谷橋 A2橋台胸壁再構築図(その3)
縮尺	図示
図面番号	10 / 16 枚の内
珠 洲 市	

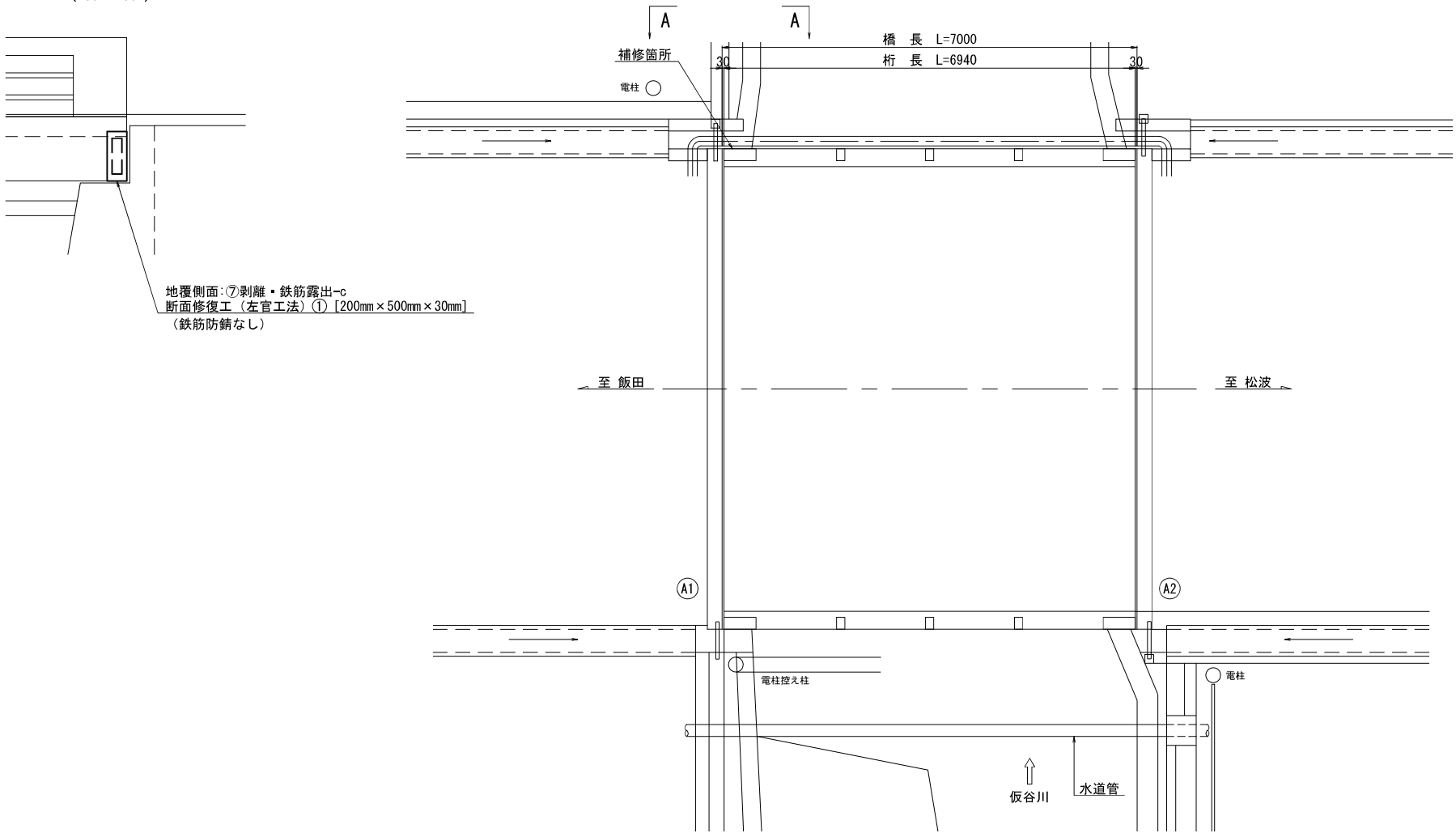
仮谷橋 地覆補修図

損傷の凡例

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		うき	
剥離		漏水	
剥離・鉄筋露出		その他	
遊離石灰			

側面図 S=1:30
(A-A)

平面図 S=1:50

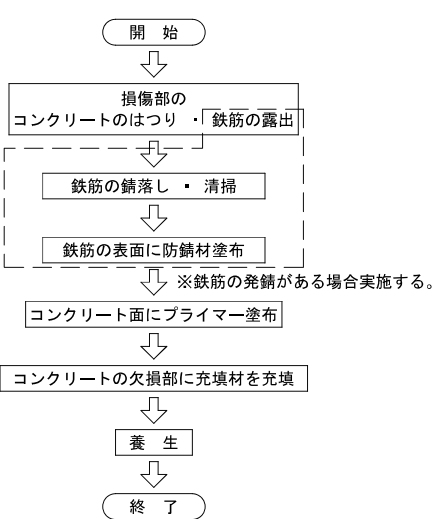
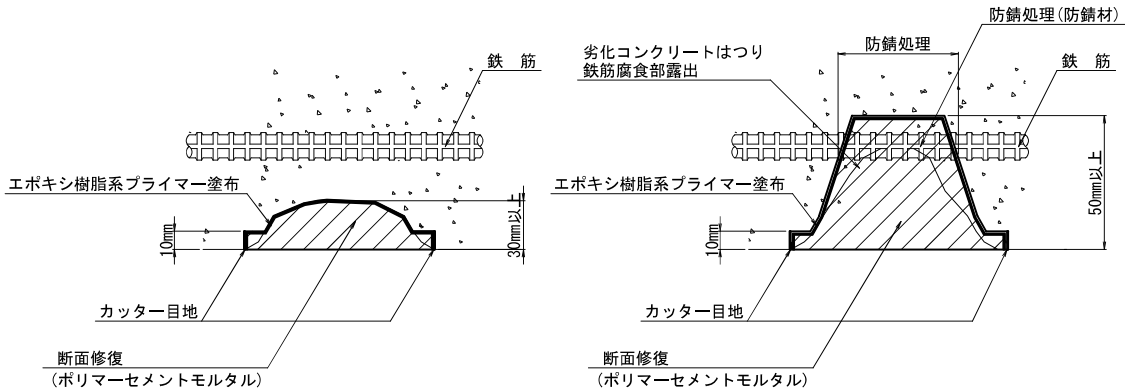


断面修復工

剥離 (鉄筋防錆なし)

剥離・鉄筋露出、うき (鉄筋防錆あり)

施工フロー



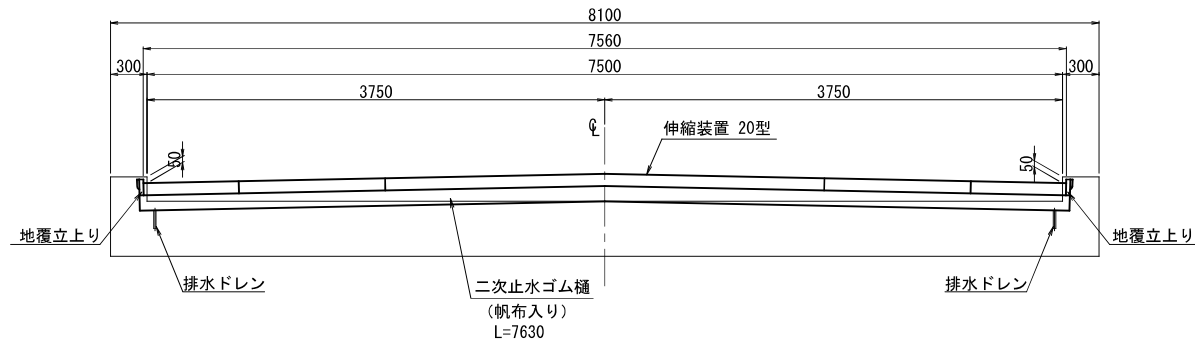
- 注記)
- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 - 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 - 本図以外の箇所と同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。
 - 断面修復工箇所の周辺でうきの有無を確認し、うきの有無、範囲に応じて補修範囲を拡げること。
 - コンクリートの脆弱部は確実にはつり落とし、断面修復を行うこと。
はつりは最低30mm以上は行うこと。
 - カッター及びはつり作業時は、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。



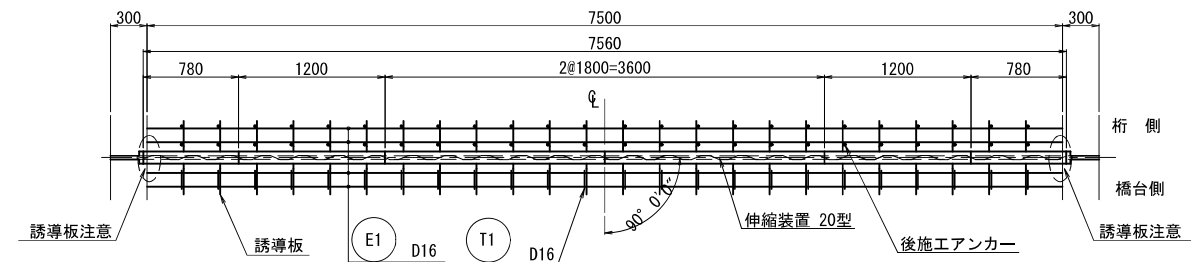
令和	年度
令和6	年度
工事名	市道740号線
路線名	市道740号線
箇所	珠洲市上戸町北方
図面	仮谷橋 地覆補修図
縮尺	図示
図面番号	11 / 16 枚の内
珠	洲
市	

仮谷橋 伸縮装置補修図(参考図)

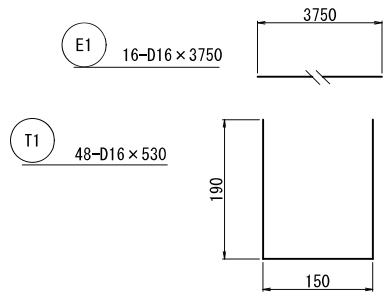
横断面図 S=1:30



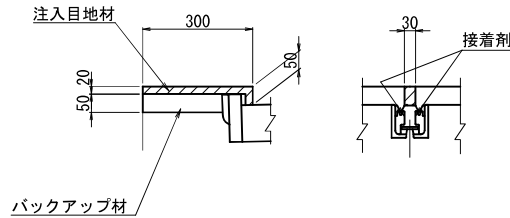
平面图 S=1:30



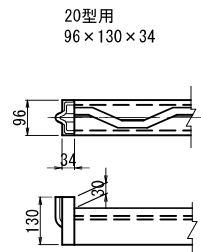
補強鉄筋加工図



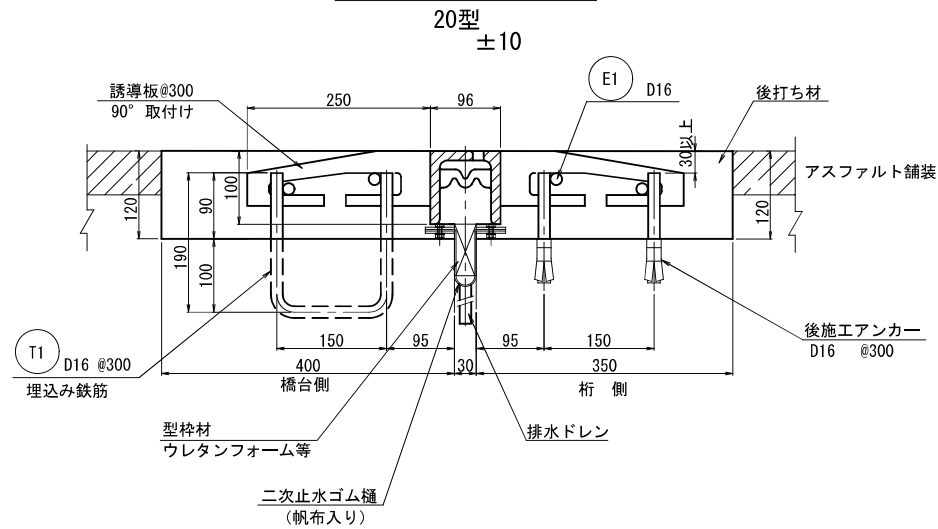
地覆部止水工詳細図 S=1:10



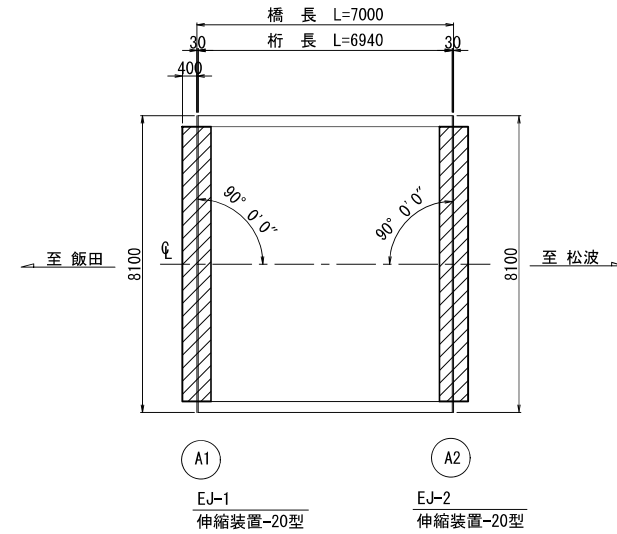
地覆立上り部詳細図 S=1:10



取付断面図 S=1:5



配置図 S=1:100



伸縮装置取付工事材料表

材 料 名	種 類	寸 法	数 量	摘 要
鋼製橋型ジョイント	20型	96×100×1800	4 本	合計 15.1 m 地覆立上げ付き
	誘導板：90° 取付け	96×100×1200	4 本	
		96×100×780	4 本	
地覆立上り	20型用	96×130×34	4 本	
補強鉄筋	E1	16-D16×3750	94 kg	
後施工アンカー	D筋アンカー	D16	96 本	
埋め込み鉄筋	T1	48-D16×530	40 kg	
後打ち材	超速硬コンクリート	2×750×120×7500	1.4 m3	
注入目地材	シール材	2×30×20×700	0.8 ℓ	
接着剤	プライマー No.40 相当品		500 g	最小ロット
バックアップ材	ウレタンフォーム	60×50	4.2 ℓ	
接着剤	A・862B 相当品		100 g	最小ロット

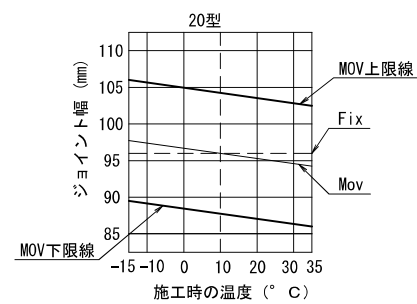
※ 伸縮装置の切断寸法及び切断角度は現地実測結果を反映して決定する。

二次止水装置取付工事材料表

材 料 名	種 類	寸 法	数 量	摘 要
二次止水ゴム樋	ゴム樋帆布入り	7.63 m	2 式	排水ドレン 付き

※ 二次止水装置排水ドレン等の流末処理管については現地状況に合わせて別途協議にて決定のこと。

初圧縮グラフ



※ 上限、下限線には施工余裕量各 5mm 含まず。

注記)

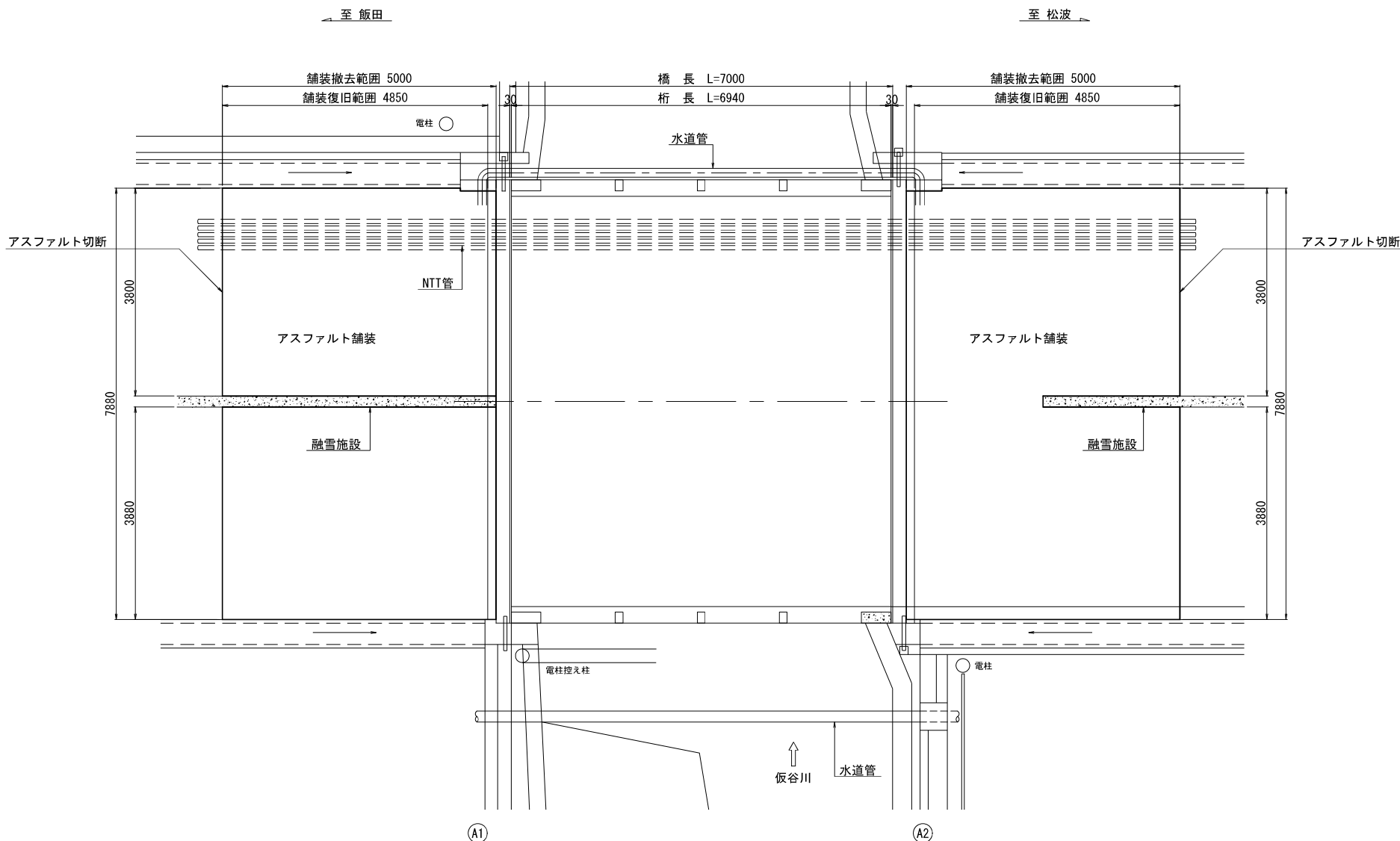
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 胸壁再構築と伸縮装置の埋め込み鉄筋設置について調整すること。



令和	年度	
工 事 名		
路 線 名	市道740号線	
箇 所	珠洲市上戸町北方 地内	
図 面	仮谷橋 伸縮装置補修図(参考図)	
縮 尺	図 示	
図面番号	12 / 16 枚の内	
珠	洲	市

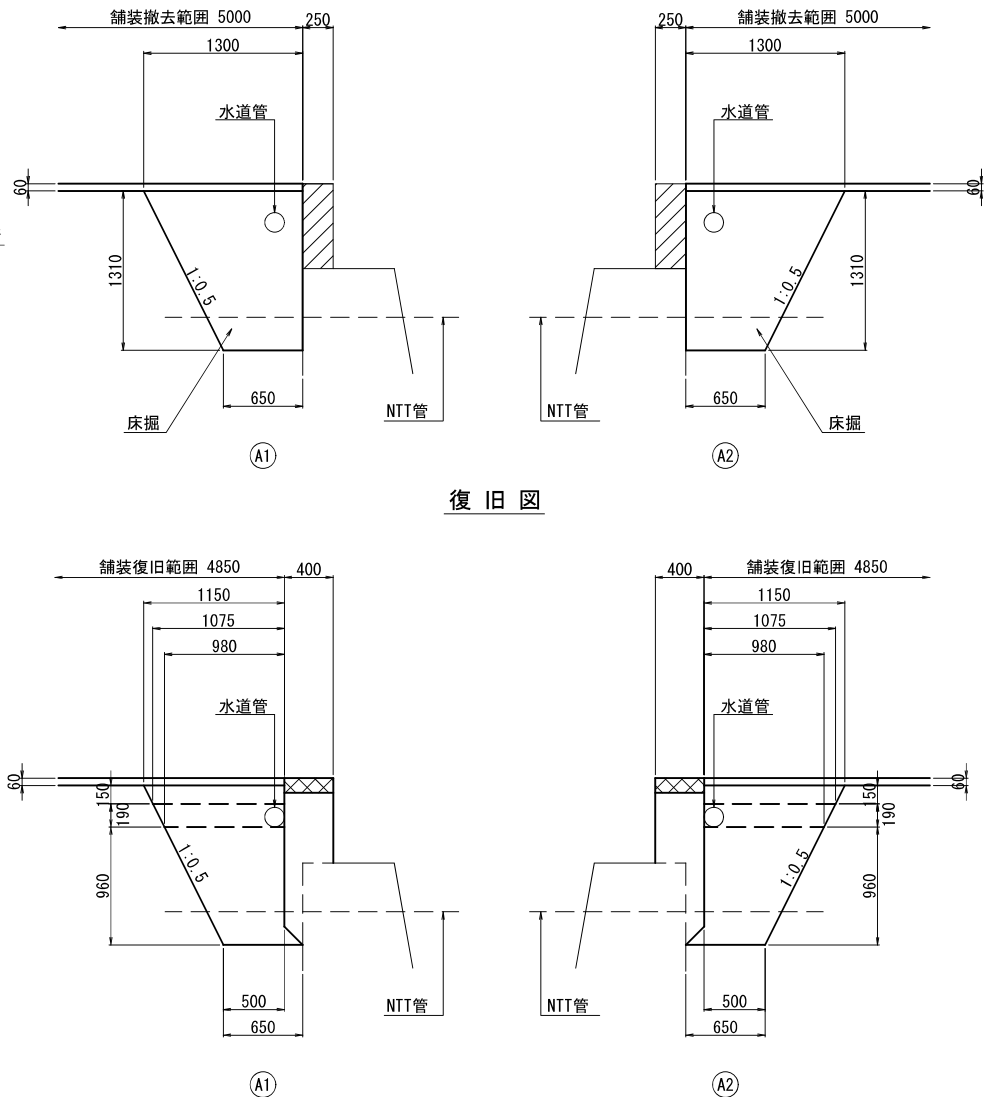
仮谷橋 舗装復旧図

平面図 S=1:50

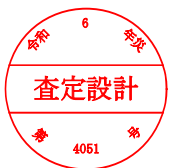
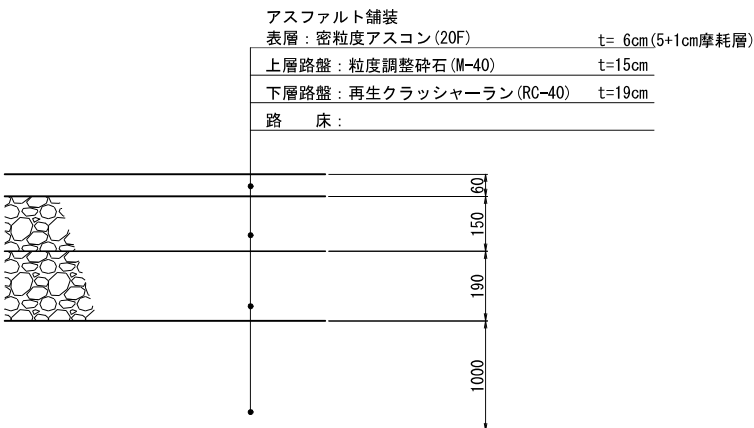


断面図 S=1:30

胸壁背面施工時



舗装構成図 S=1:10



注記)

1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。

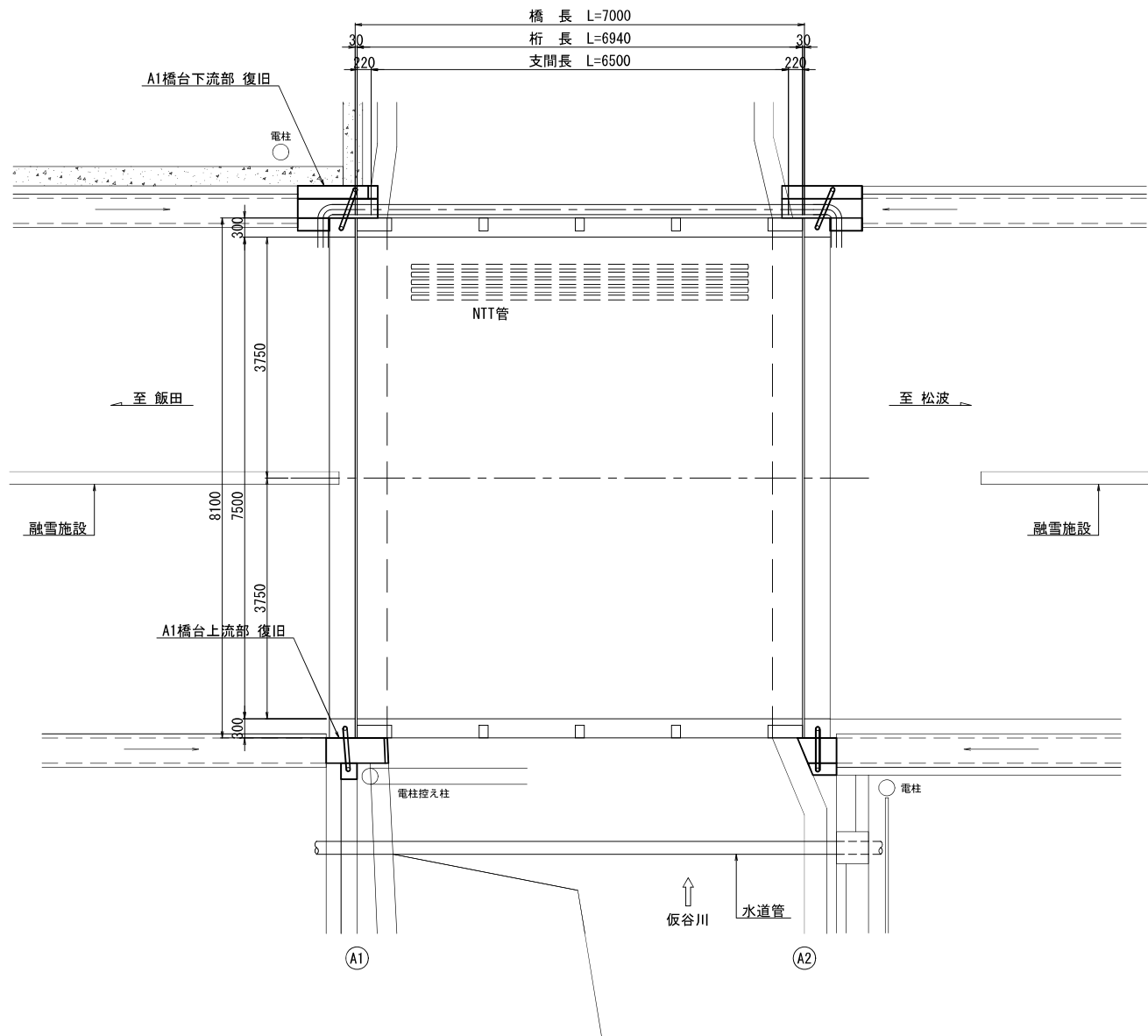
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

3. 水道管、NTT管、融雪施設等を傷つけないよう注意すること。

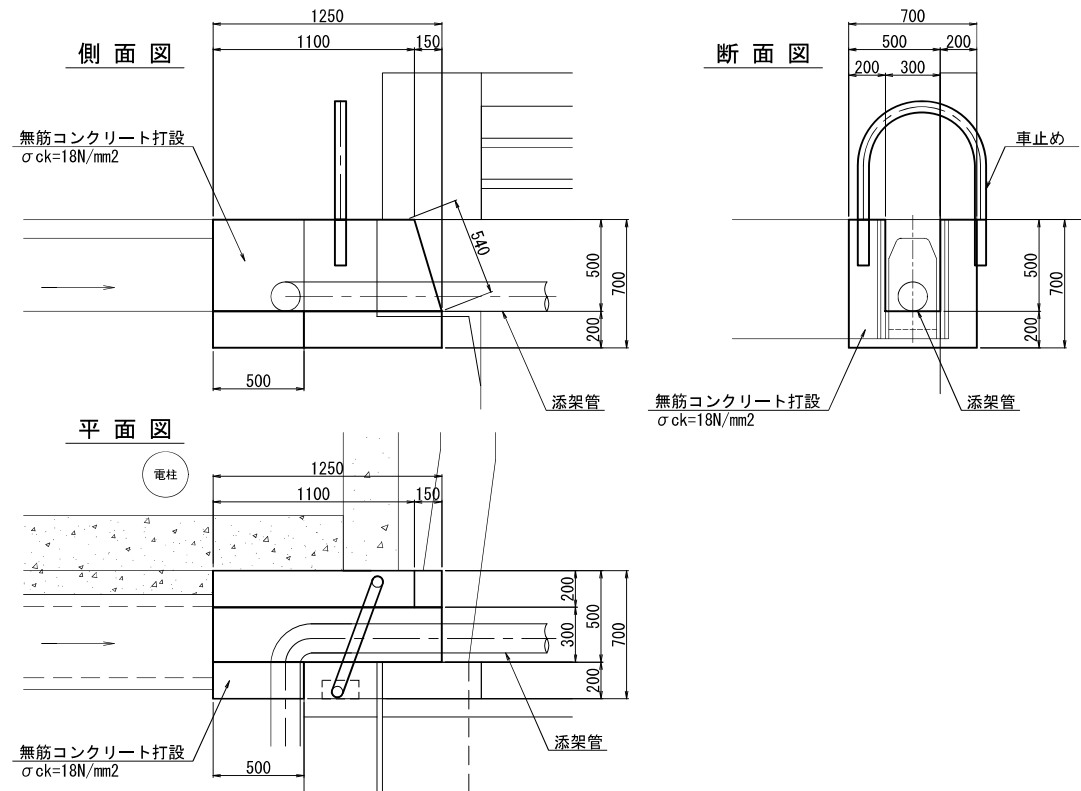
令和	年度
工 事 名	
路 線 名	市道740号線
箇 所	珠洲市上戸町北方
図 面	仮谷橋 舗装復旧図
縮 尺	図 示
図面番号	13 / 16 枚の内
珠 洲 市	

仮谷橋 道路付属物補修図(その1)

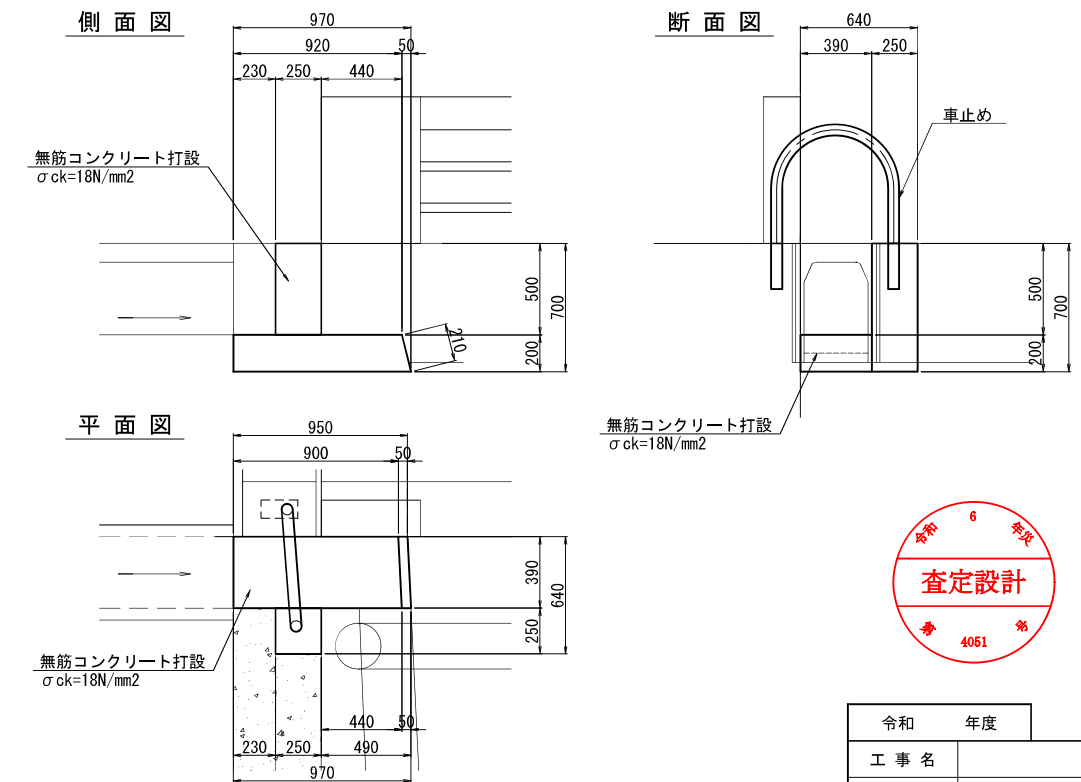
平面図 S=1:50



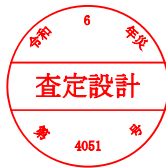
A1橋台下流部 復旧 S=1:20



A1橋台上流部 復旧 S=1:20



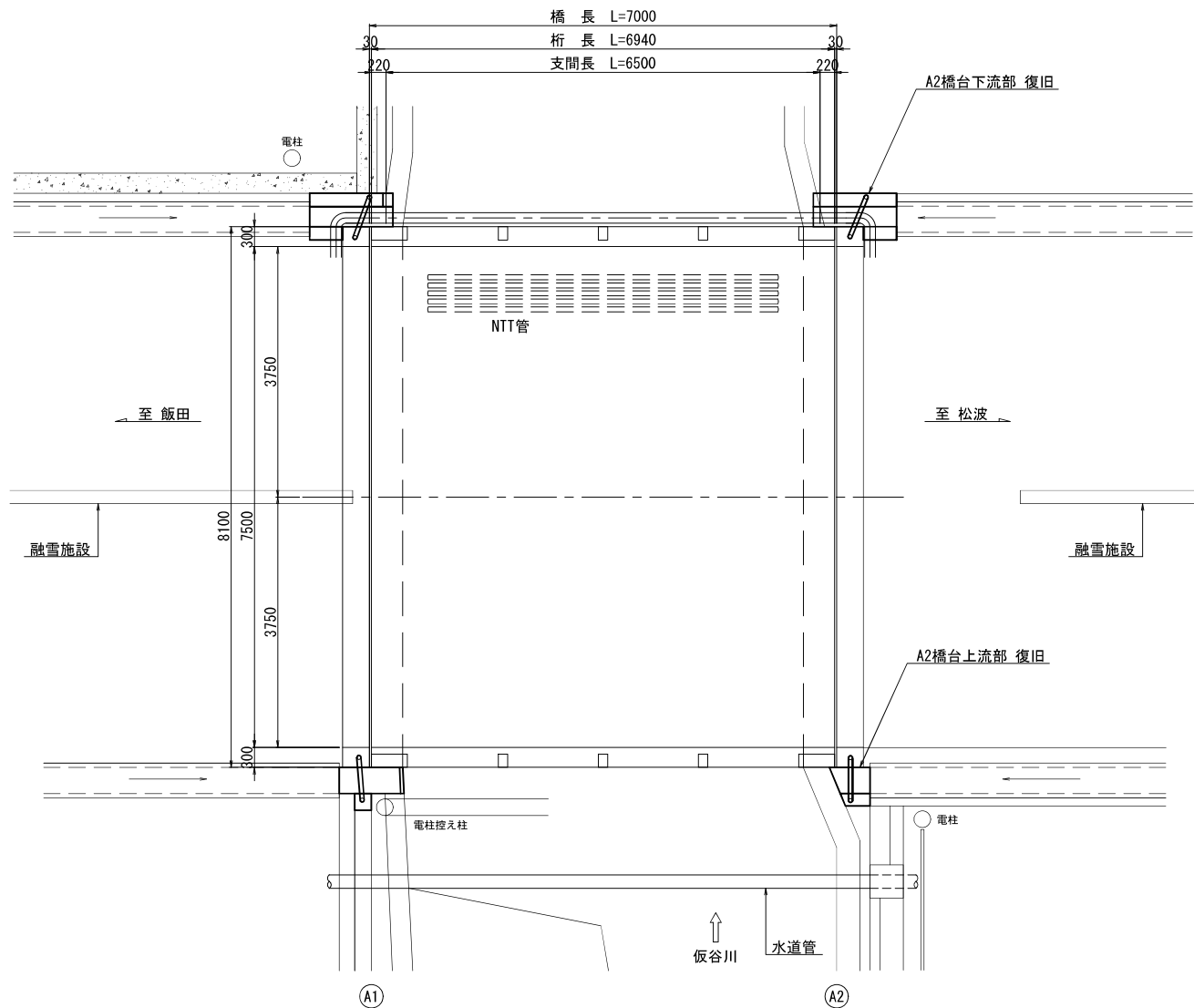
- 注記)
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 3. 車止めは胸壁(地覆)の鉄筋に接触しない位置に設置すること。
 4. 添架管とコンクリートとの接触面はシーリング材にて保護すること。



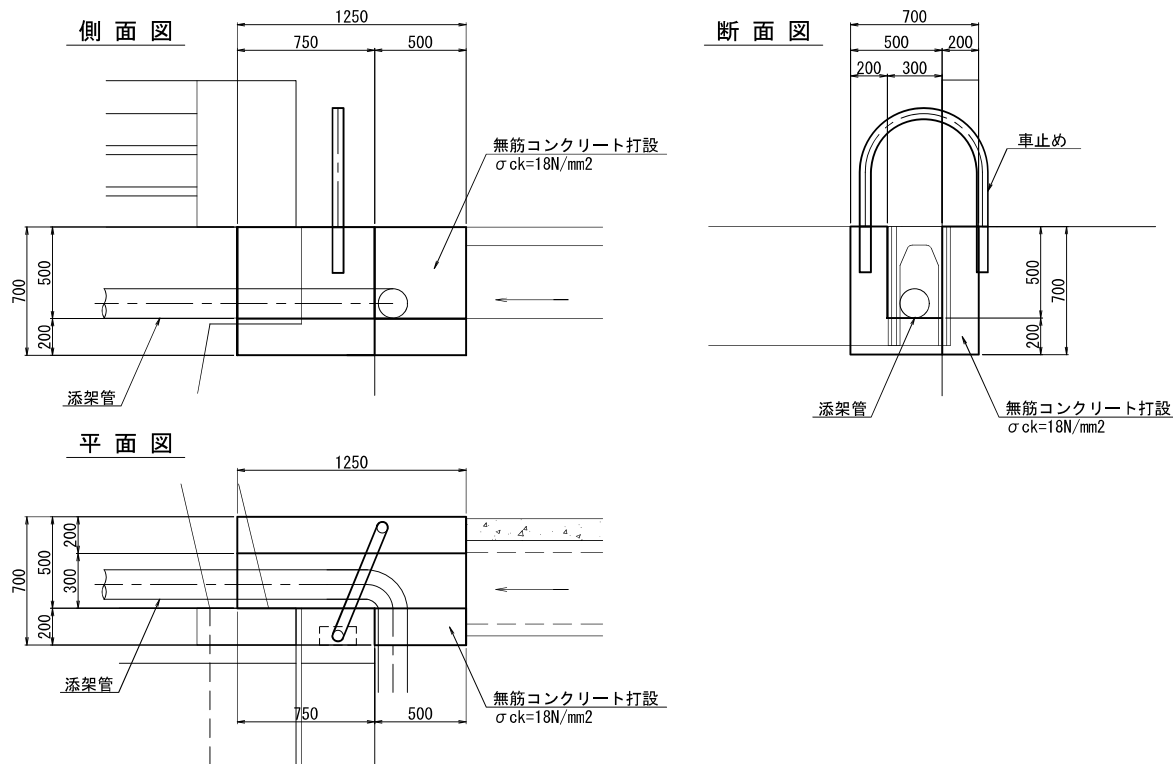
令和	年度
工事名	市道740号線
路線名	市道740号線
箇所	珠州市上戸町北方
図面	仮谷橋 道路付属物補修図(その1)
縮尺	図示
図面番号	14 / 16 枚の内
珠 洲 市	

仮谷橋 道路付属物補修図(その2)

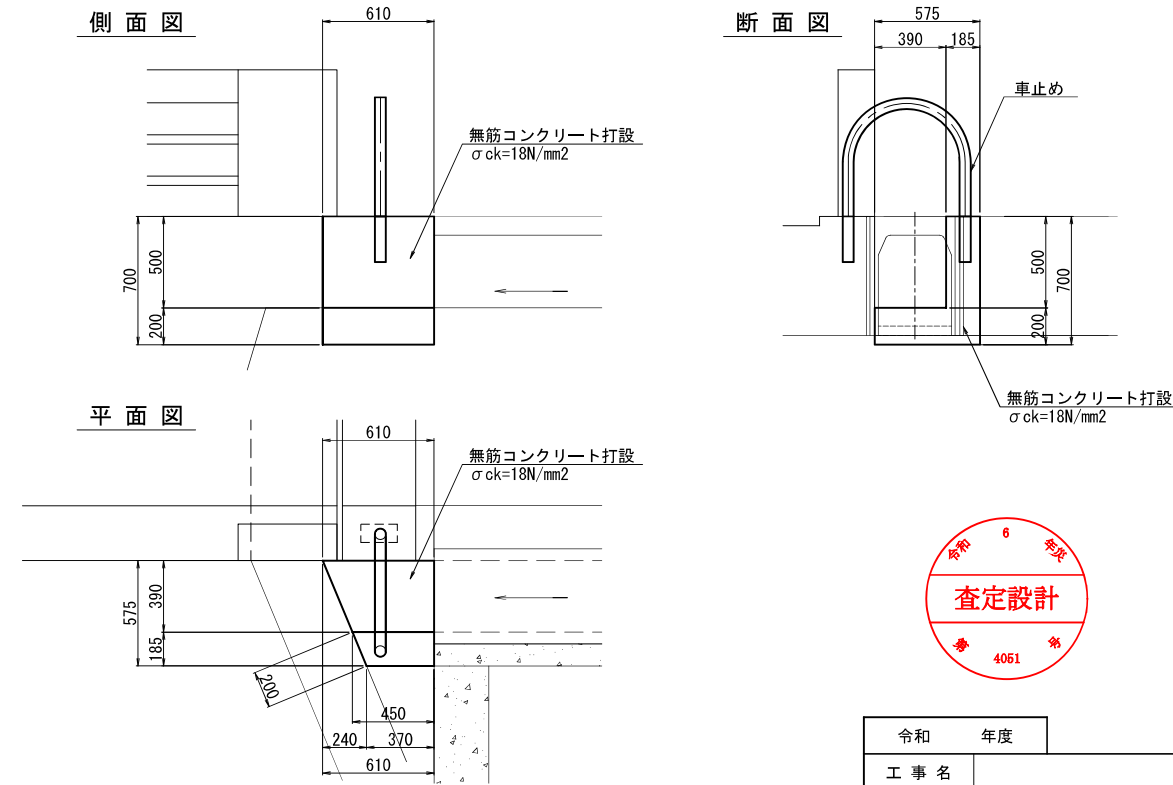
平面図 S=1:50



A2橋台下流部 復旧 S=1:20



A2橋台上流部 復旧 S=1:20



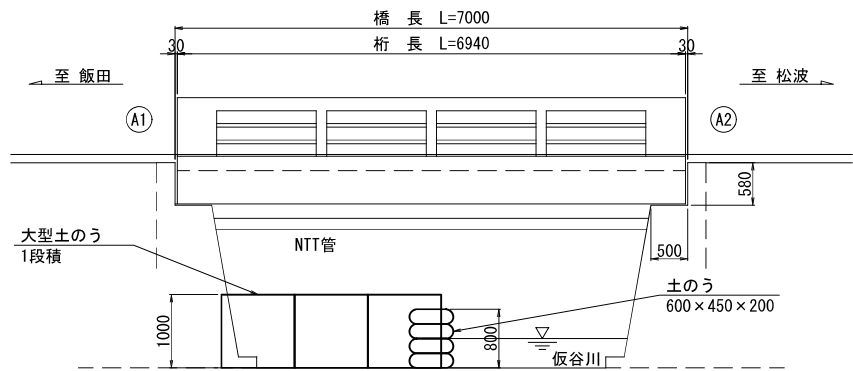
- 注記)
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 3. 車止めは胸壁(地覆)の鉄筋に接触しない位置に設置すること。
 4. 添架管とコンクリートとの接触面はシーリング材にて保護すること。



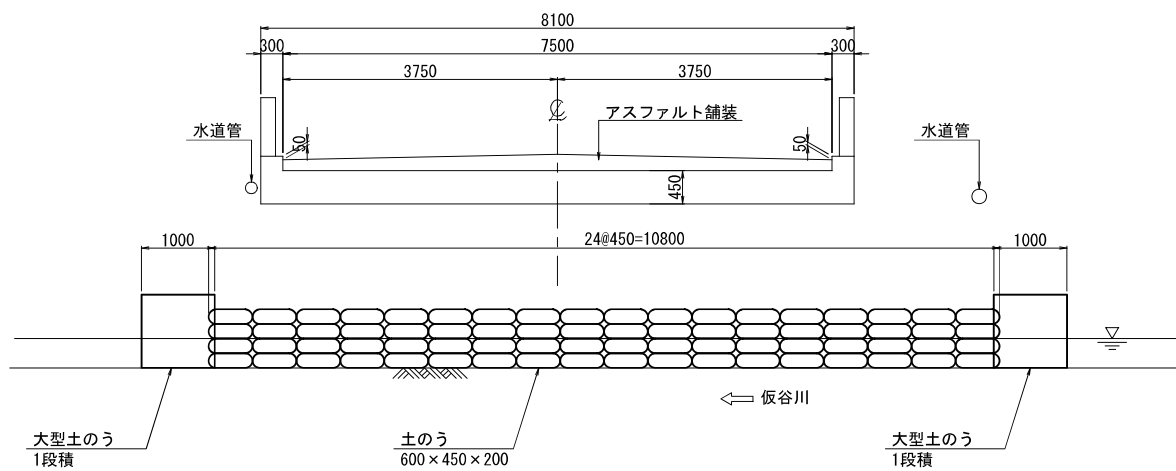
令和	年度
工事名	市道740号線
路線名	市道740号線
箇所	珠州市上戸町北方
図面	仮谷橋 道路付属物補修図(その2)
縮尺	図示
図面番号	15 / 16 枚の内
珠	洲
市	

仮谷橋 施工計画図(参考図)

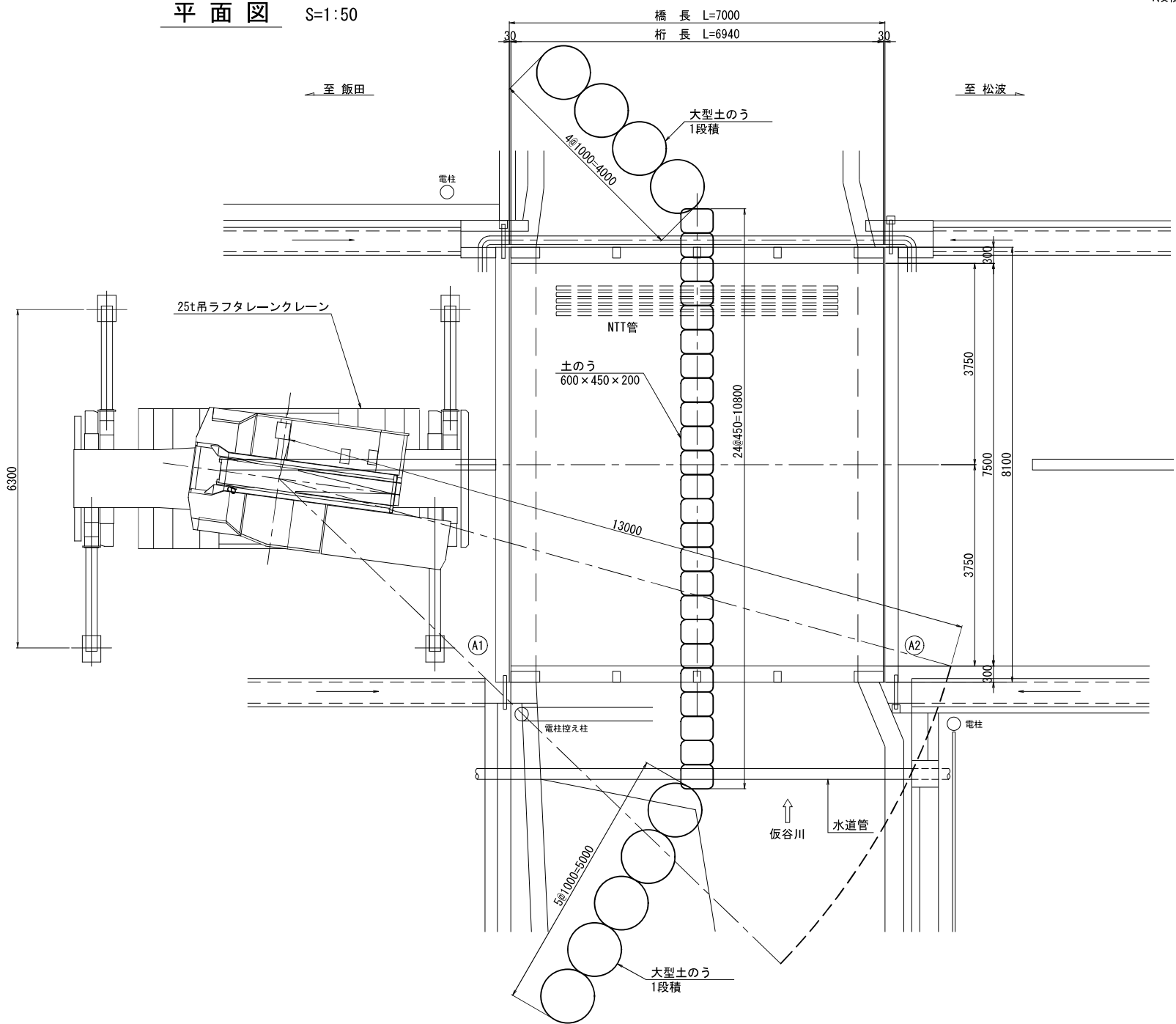
側面図 S=1:50



断面図 S=1:50



平面図 S=1:50



25t吊ラフタレーンクレーン
吊能力の検討

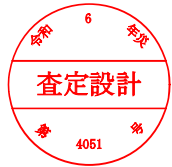
吊 荷	重量(t)
大型土のう	1.8
フック、玉掛ワイヤー等(20%)	0.4
合 計	2.2

礫質土:17kN/m³, 砂質土:15kN/m³, 粘性土:10kN/m³のうち、安全側として礫質土を採用

定格総荷重表 (単位: t)

作業半径 (m)	ブーム長 (m)		
	16.5	23.5	30.5
12.0	4.80	5.45	4.70
13.0	4.10	4.70	4.35
13.5	3.80	4.40	4.20

アウトリガー最大張出: 6.3m
(SR-250: 参考)



- 注記)
1. 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 3. 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
 4. 施工時は、河川の水位、天候に十分注意すること。
 5. A2側を施工時は、大型土のうの位置を変えて締めきること。

令和	年度
工 事 名	市道740号線
路 線 名	市道740号線
箇 所	珠洲市上戸町北方
図 面	仮谷橋 施工計画図(参考図)
縮 尺	図 示
図面番号	16 / 16 枚の内
珠 洲 市	

工事発注図面

6災4086号 市道114号 第二橋

事前打合せ資料 珠洲市道_市道114号第二橋（珠洲市宝立町上戸北方）



橋梁諸元と被災前状況（定期点検時写真）	
橋梁名	市道114号第二橋(だいはし)
路線名	市道114号線
所在地	珠洲市宝立町上戸北方
橋長/全幅員/径間数	2.30m/5.20m/1径間
上部構造形式	RC橋 R C 中実床版
下部構造形式	重力式橋台
基礎形式	
河川名	普通河川 山王川(さんのうがわ)
河川管理者	
竣工年	1980年（昭和55年）
最新点検年	2021年（令和3年）
補修履歴	—
備考	迂回路：無
	緊急輸送路：指定無し
	占用物件：

主桁下面



写真①橋面（起点側より）



写真②側面（上流側より）



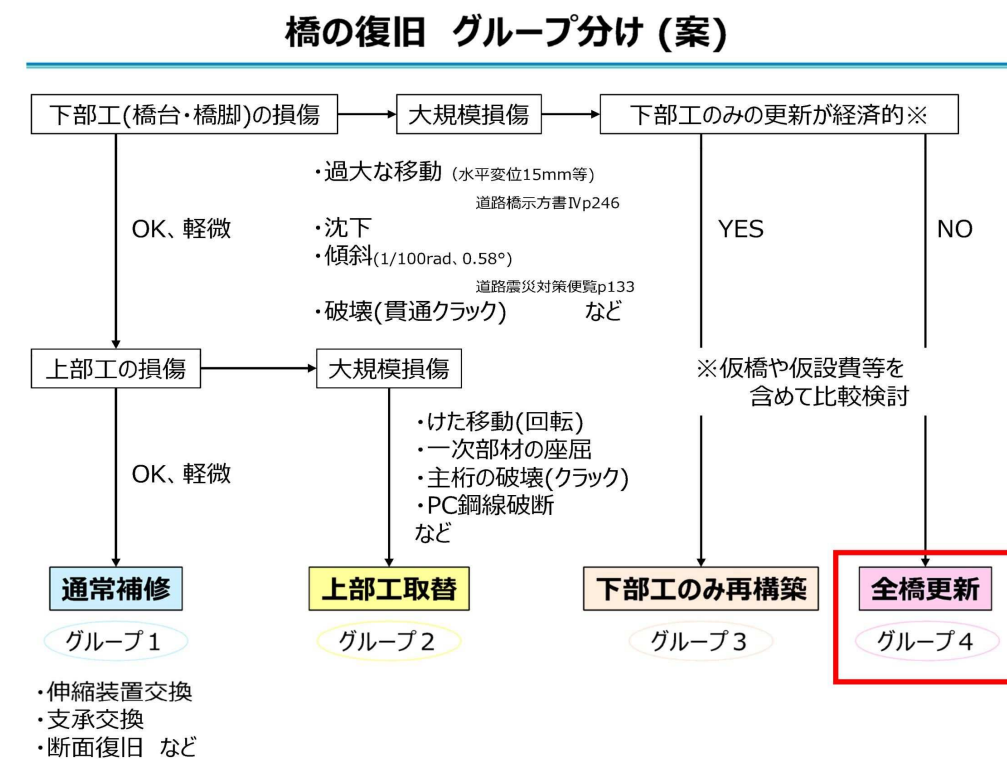
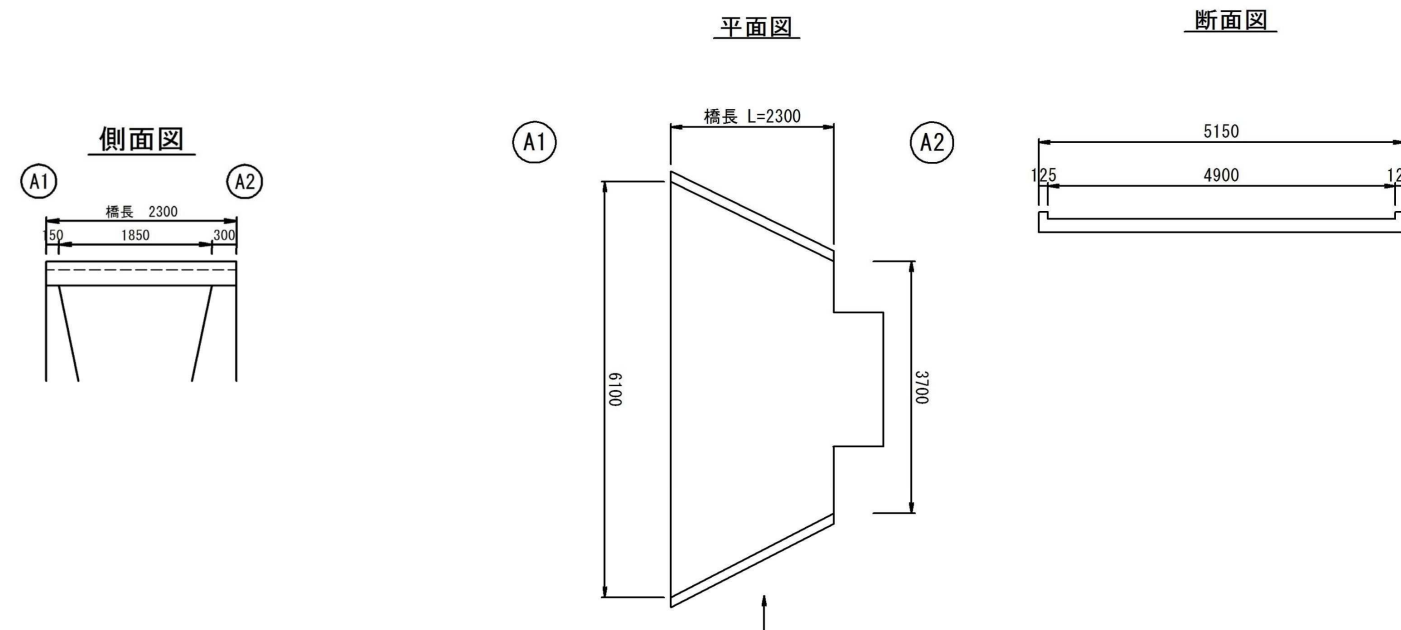
A1橋台



A2橋台



一般図



事前打合せ資料 珠洲市道_市道114号第二橋（珠洲市宝立町上戸北方）

被災メカニズムと現況

- ・A1A2ともに橋台の沈下が見られる(①②)ことより、護岸と橋台が一体となり沈下していると考えられる。
- ・A1橋台打継目に地震時外力により著しい欠損が生じて目違いが生じている(⑤)。A2橋台部は堅壁前面に地震時外力によるひびわれが生じている(③)。
- ・主桁下面にひびわれが見られるが、地震の影響により進行したものと考えられる(④)。橋面上にもひびわれ貫通している(⑥)。
- ・橋台背面に沈下による段差が見られる(⑦)

対策方針

- ・A1A2橋台と護岸が一体となり沈下していること、上部工にも損傷が生じていることにより、上下部ともに架替えとする。

その他検討事項

2km以内に迂回路が確保できないため、仮橋の構築が必要である。



①左岸A1橋台：沈下(50mm)
移動(170mm)



②A2橋台：沈下(50mm)



③右岸A2橋台：ひび割れ



④主桁：ひび割れ

凡 例	
	: 慣性力
	: 地盤の流動・沈下
	: 部材の移動

[illegible]

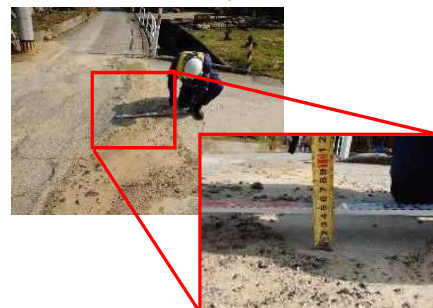
・ 直接工事費	10,686,000 円
・ 共通仮設費	2,919,000 円
・ 現場管理費	8,839,000 円
・ 一般管理費	5,290,000 円
・ 税	2,773,000 円
・ 合計（工事費）	30,507,000 円



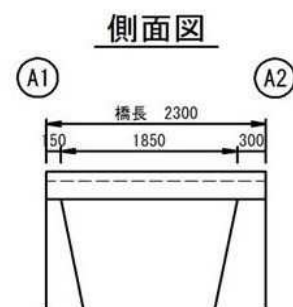
⑤橋面（コンクリート舗装）：ひびわれ
[幅10mm、深さ100mm以上]



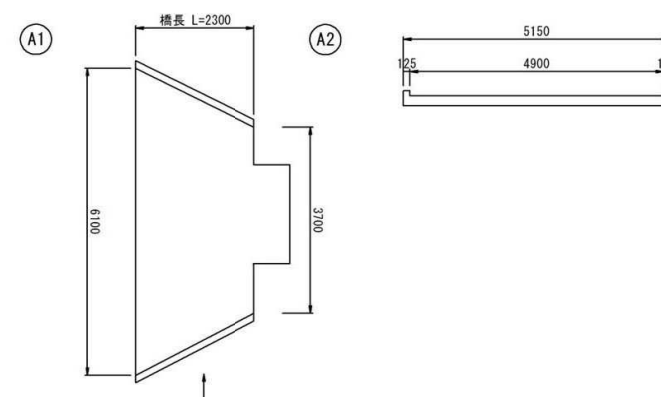
⑥左岸A1橋台：欠損[2000×200×200mm]



⑦A1橋台橋面：段差



側面図



平面图 断面图

平面图 断面图

更新方針

